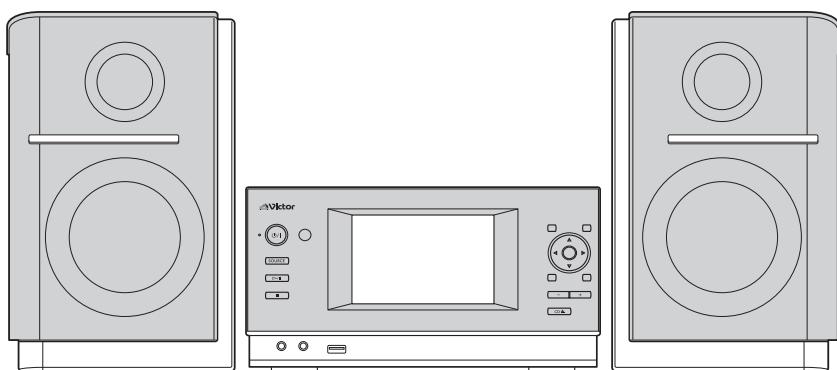
コンパクトコンポーネントシステム

型名 **NX-TC40-B**
NX-TC40-W

USB
Digital Media Streaming

MP3/WMA
RECORDING

－お買い上げありがとうございます－

ご使用の前に
この「取扱説明書／保証書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に2～5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

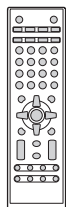
お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

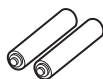
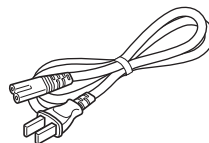
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

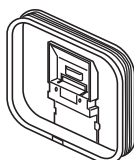
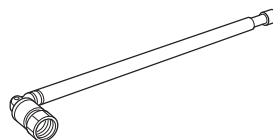
取扱説明書／保証書

GVT0337-001A

■付属品の確認

- リモコン(1個)

RM-SNXTC40-S

- リモコン動作確認用単4形乾電池(2本)

- 電源コード(1本/約1.5m)

- FM簡易型アンテナ(1本)

- AMループアンテナ(1個)

- ワンセグ受信用ロッドアンテナ(1本)

■安全上のご注意 —はじめにお読みください—

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
説明項目の中には、本製品に該当しない内容が含まれている場合があります。

▶ 絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	⚠注意
この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。	この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

▶ 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない、カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かない。

火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

表示された電源電圧以外で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。
安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

付属の電源コード以外は使用しない。

火災や感電の原因となることがあります。

付属の電源コードを本機以外には使用しない。

火災や感電の原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。
電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動するときには、アンテナをたたむ。

けがの原因となることがあります。

電池を、小さなお子様の手の届くところに置かない。

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。

欧州連合のリサイクルマークです。

⚠ 注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

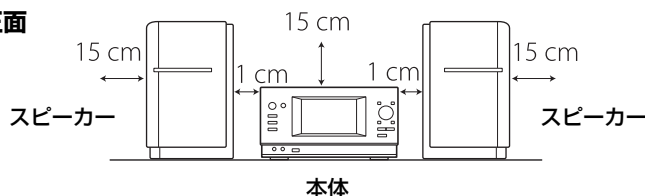
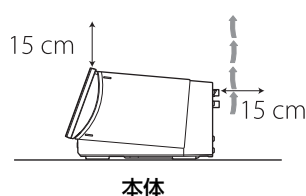
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通気孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

正面

15 cm
15 cm
1 cm
1 cm
15 cm
スピーカー
スピーカー
本体

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス1レーザー製品です。
2. **注意**：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。
3. 機器内部には、以下のラベルがあります。

CAUTION	ATTENTION	AVISO	VARNING	注意	CAUTION
VISIBLE AND/OR INVISIBLE CLASS 1M LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS. IEC60825-1:2001 (ENG)	RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET/OU INVISIBLE DE CLASSE 1M UNE FOIS OUVERT. NE PAS REGARDER DIRECTEMENT AVEC DES INSTRUMENTS OPTIQUES. (FRA)	RADIACIÓN LÁSER DE CLASE 1M VISIBLE Y/O INVISIBLE CUANDO ESTÁ ABIERTO. NO MIRAR DIRECTAMENTE CON INSTRUMENTAL ÓPTICO. (ESP)	SYNLIG OCH/ELLER OSYNLIG LASERSTRÅLNING, KLASS 1M, NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. BETRAKTA EJ STRÅLEN MED OPTISKA INSTRUMENT. (SWE)	ここを開くと可視及び/または不可視のクラス1Mレーザー放射が出ます。光学装置で直接見ないでください。(JPN)	VISIBLE AND/OR INVISIBLE CLASS Ⅱ LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM. FDA 21 CFR (ENG) LV44603-003A

注意：ここを開くと可視及び／または不可視のクラス1Mレーザー放射が出ます。光学装置で直接見ないでください。

■使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- 他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

データのお取り扱いについて

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生･録音において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での録音（移動）･再生のときに、データ（本体メモリー、USB接続機器、iPod）の消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

もくじ

10ページ 準備する

16ページ 基本操作・再生

51ページ ワンセグテレビを見る

58ページ 写真を見る

67ページ 録音する

76ページ 再生する(応用編)

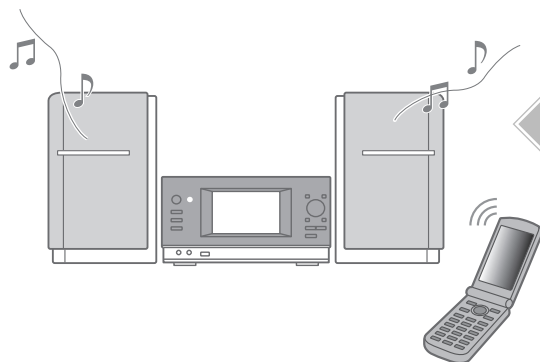
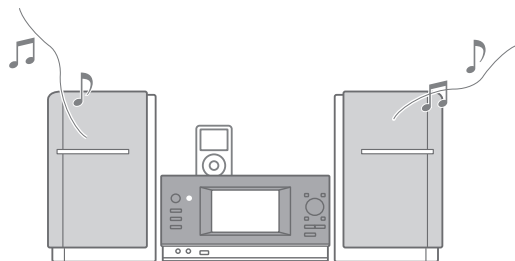
■本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本文中のボタン名は、数字ボタン、表示、決定以外は[ボタン名]で表示します。
- メニュー項目など画面に表示されるものは、「項目名」で表示します。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張することがあります。
- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhoneとiPod touchを含めます。iPhoneとiPod touchを指すときは、「iPhone」「iPod touch」と表記します。

こんなことができます

iPodを再生する

➡24ページ

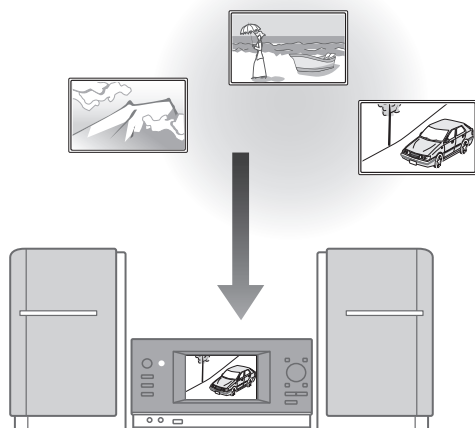
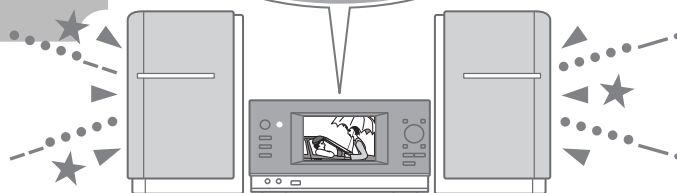
iPodの音楽をデジタル再生できる！
iPodのビデオをディスプレイに表示できる！

ワイヤレスで音楽を楽しむ

➡46ページ

BLUETOOTH®対応のオーディオプレーヤー、携帯電話などを無線接続して聞ける！

ワンセグテレビを見る

➡51ページ

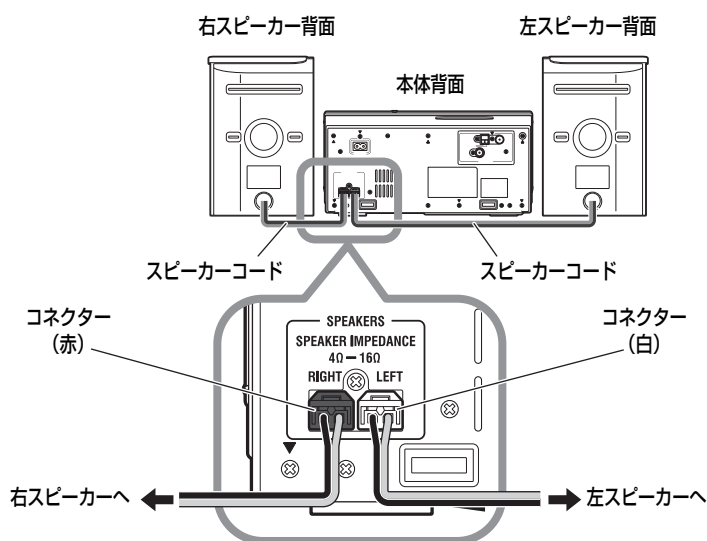
番組表一覧から探したり、
視聴予約したりできる！

写真を見る/壁紙にする

➡58、64ページ

デジタルフォトフレームとして使用できる！

■接続する

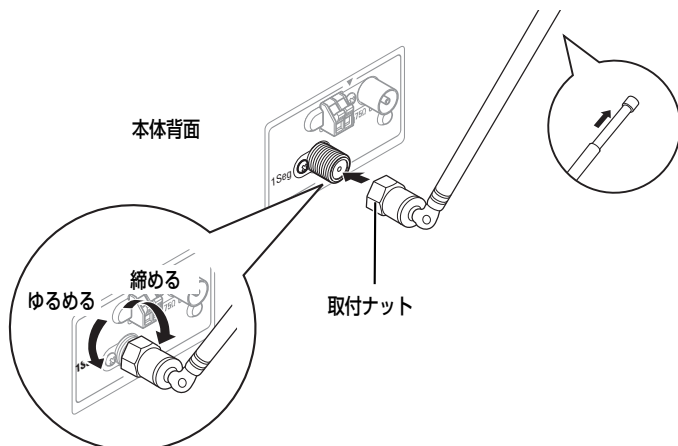
ーすべての接続が終わるまで電源プラグを差し込まないでくださいー

スピーカーの接続

ご注意

- 本機の内部で発生した熱を放出するために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上の間隔をあけてください。
- 本機のスピーカーは防磁設計になっておりません。ブラウン管(CRT)テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。
- 付属のスピーカー以外は接続しないでください。

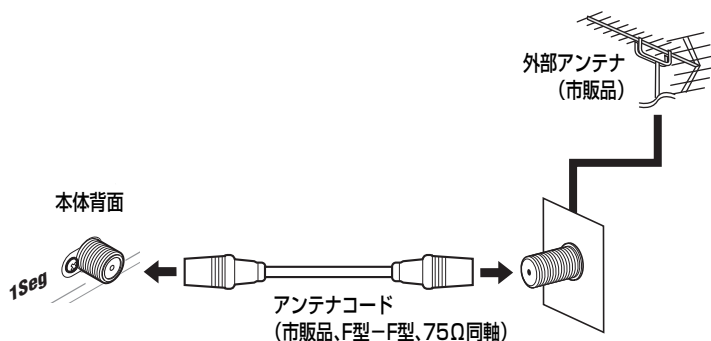
コネクターの向きを合わせて奥まで差し込んでください。

ワンセグ受信用アンテナの接続

▶ ロッドアンテナ(付属品)を接続する

- 工具を使って取付ナットを締め、確実に取り付けてください。
- 取りはずす場合は、工具を使って取付ナットをゆるめてください。

お知らせ
- 地域、受信環境、設置場所によっては受信できない場合があります。
- ワンセグテレビの視聴時は、ロッドアンテナを受信状態が最も良い角度に調節してください。
(➡53ページ)
- 本機の設置場所、アンテナの角度を変えても放送を受信できないときは、外部アンテナを接続してください。(➡下記)

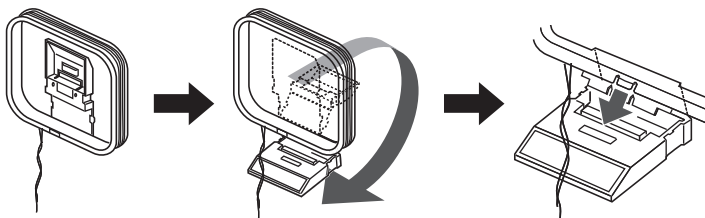
▶ 外部アンテナ(市販品)を接続する

良好な受信のため、外部アンテナの使用をおすすめします。

お知らせ
- 外部アンテナ使用時は、UHFアンテナをご使用ください。
- CATV(ケーブルテレビ)に接続の際は、ケーブルテレビ会社の送信方法が同一周波数パススルー方式である必要があります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

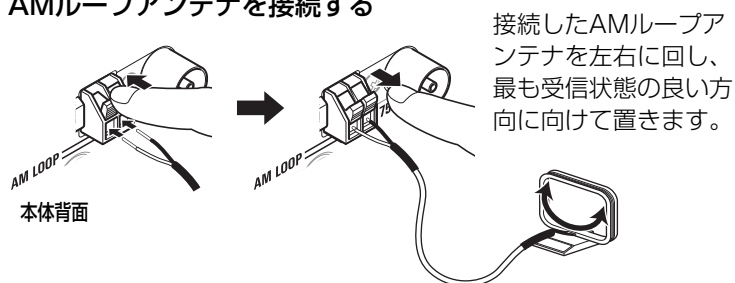
ラジオアンテナの接続

一般に、アンテナは窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

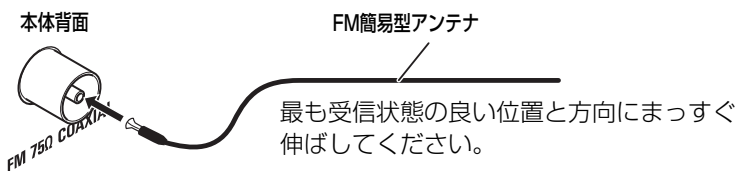
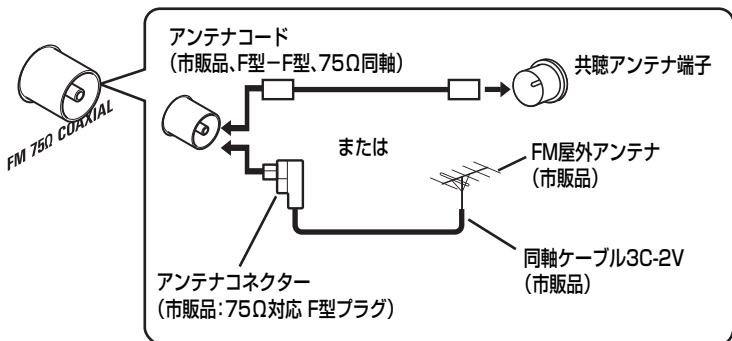
▶ AMループアンテナ(付属品)を接続する

AMループアンテナを組み立てる

> **ご注意**
>
> AMループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

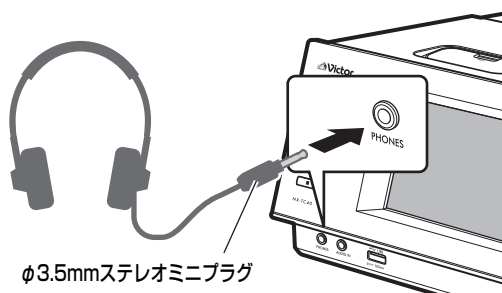
AMループアンテナを接続する

接続したAMループアンテナを左右に回し、最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

> **ご注意**
>
> アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

▶ FM簡易型アンテナ(付属品)を接続する

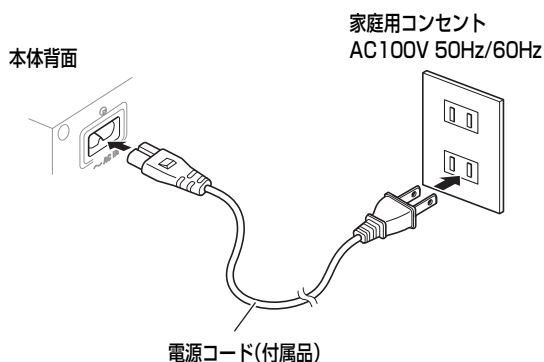
最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。

付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

> **お知らせ**
>
> - 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書をご覧ください。
> - アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください(➡40ページ「ラジオを聞く」)。
> - ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続している場合は、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

ヘッドホンの接続

ヘッドホン(市販品)を接続して聞くことができます。

ご注意

- 聴力保護のため、ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎないでください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

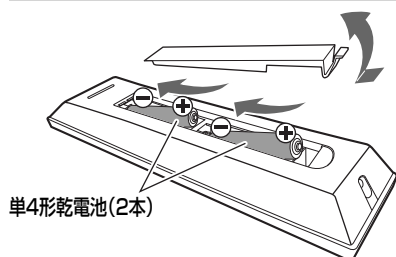
電源プラグの接続

電源プラグは、すべての接続が終わってから差し込んでください。

お知らせ

電源プラグを抜いたり、停電したときは、時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります(タイマーの設定内容は保持されます)。それ以外の設定は電源が切れても記憶されます。

ご注意

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。
- 動作中にいきなり電源プラグを抜くと、記録されているデータが破損することがあります。必ず電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

リモコンに電池を入れる

リモコン内部の極性表示(⊕/⊖)に合わせて正しく入れてください。

ご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(➡2〜5ページ)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

▶ リモコンを使うときは

- リモコンを使うときは、リモコン受光部に向けて操作してください。(➡15ページ)
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい乾電池と交換してください。

■各部の名前とはたらき

リモコン

本体

リモコン受光部

[STANDBY（スタンバイ） ⏻/|]
電源の入/切
（➡**16**ページ）

スタンバイランプ
（➡**16**ページ）

[SOURCE（ソース）]
ソース（音源）の選択
（➡**16**ページ）

[▷/❚❚]
再生/一時停止

[■]
再生の停止

PHONES（ホーンズ）端子
ヘッドホンを接続（➡**13**ページ）

AUDIO IN（オーディオ イン）端子
外部機器を接続（➡**44**ページ）

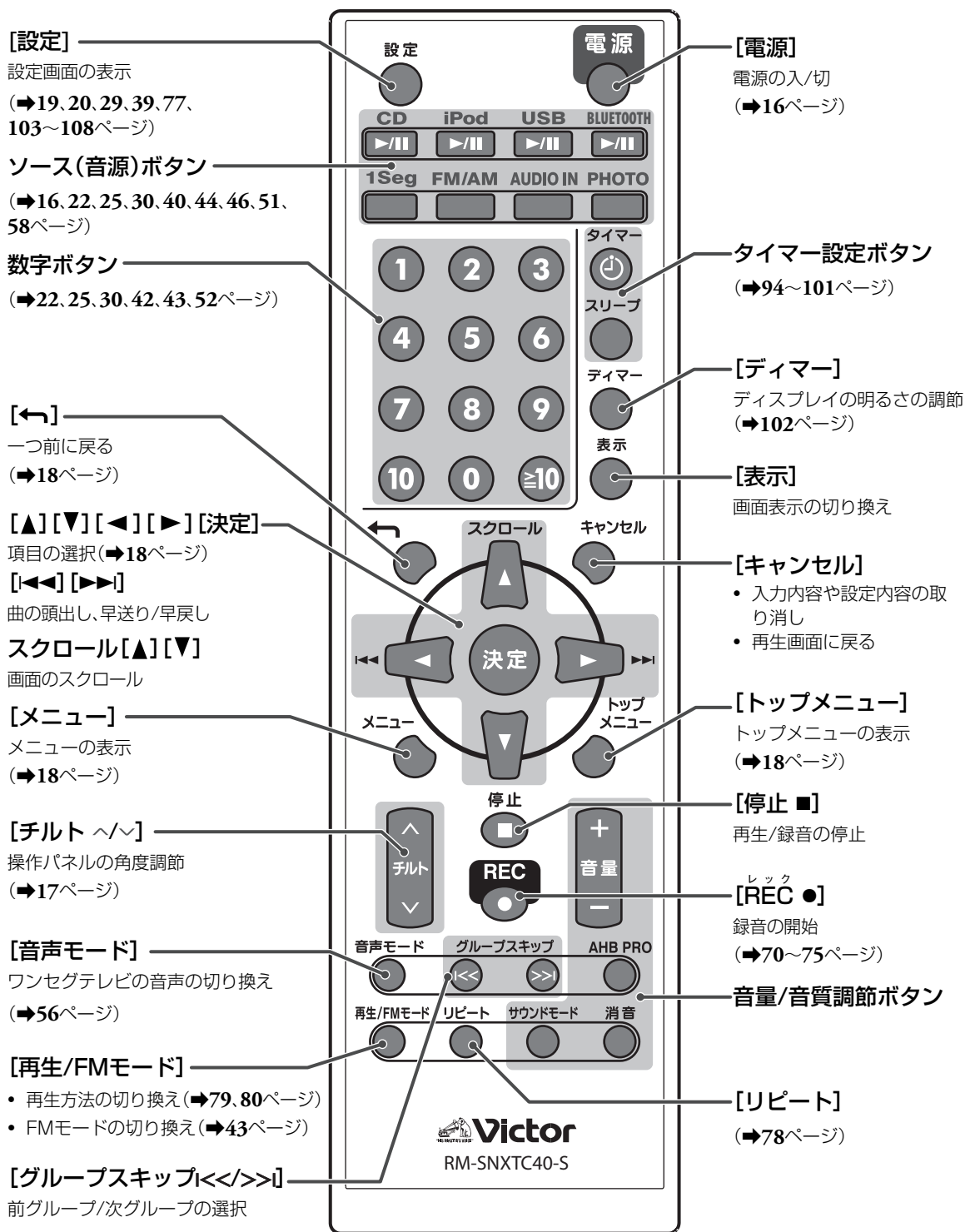
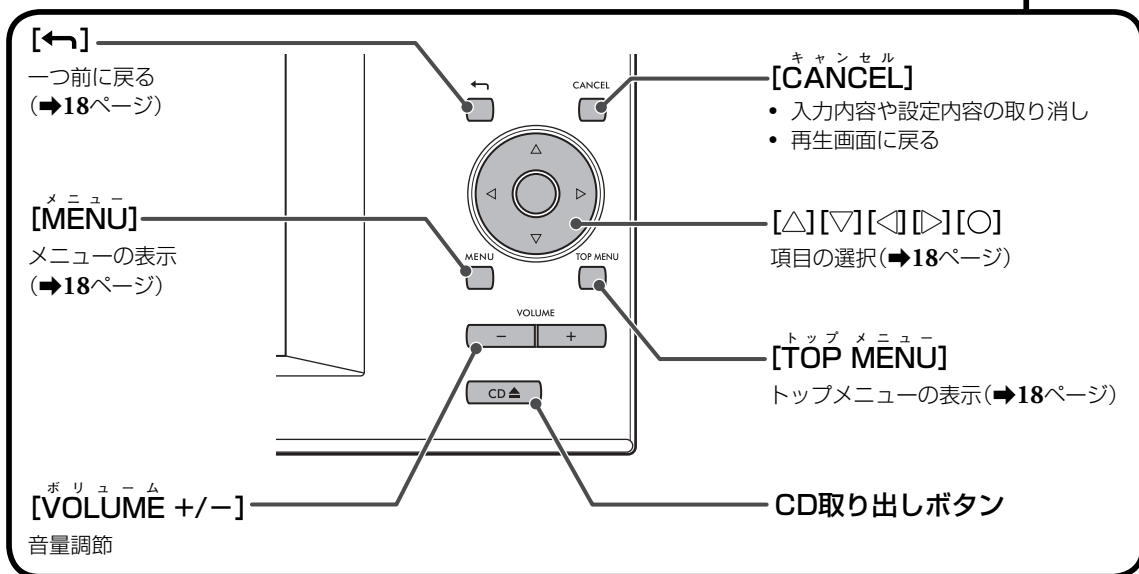
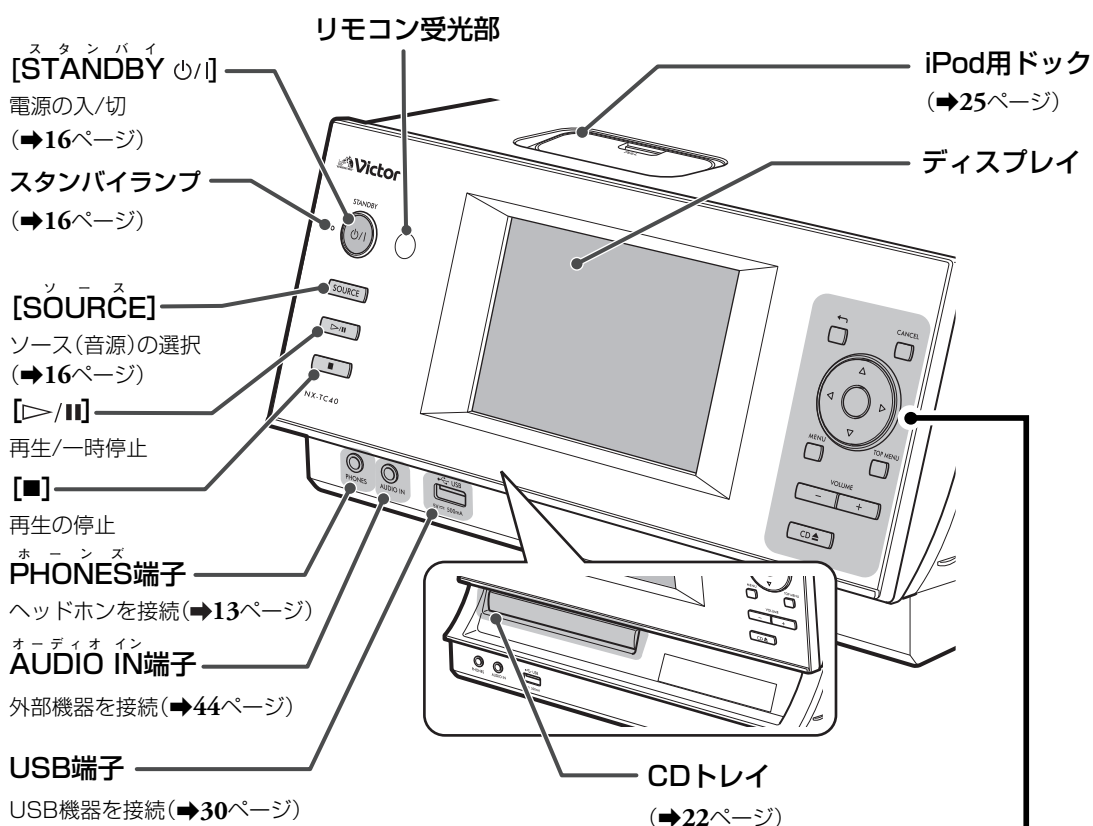
USB端子
USB機器を接続（➡**30**ページ）

iPod用ドック
（➡**25**ページ）

ディスプレイ

CDトレイ
（➡**22**ページ）

■電源を入れる/切る

1 （または本体の ）を押す

お知らせ

電源が入っていないときに、次のいずれかのボタンを押しても電源が入ります。

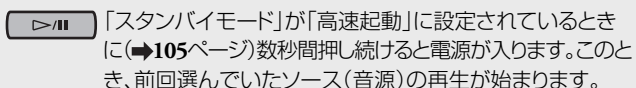
- リモコン

CD ►/II　iPod ►/II　USB ►/II　BLUETOOTH ►/II
1Seg　FM/AM　AUDIO IN　PHOTO

それぞれのソース（音源）の再生が始まります。

- 本体

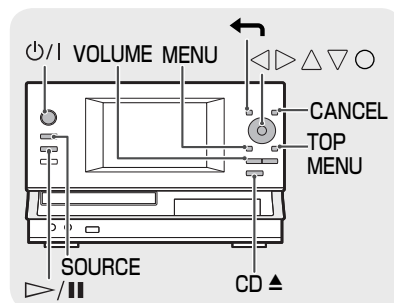
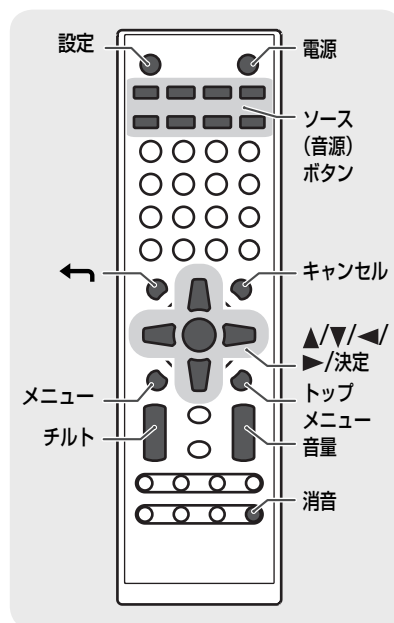
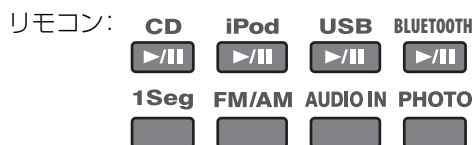
 「スタンバイモード」が「高速起動」に設定されているときに（➡105ページ）数秒間押し続けると電源が入ります。このとき、前回選んでいたソース（音源）の再生が始まります。

  CDトレイが出ます。

- 「チャイルドロック」の設定が「オン」のときは（➡106ページ）、電源は入りません。

電源が入っていないとき、スタンバイランプが赤く点灯します。録音タイマー（➡95ページ）または再生タイマー（➡97ページ）が「オン」のときはオレンジ色に点灯します。

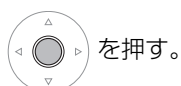
■ソース（音源）を選ぶ

リモコン：

CD ►/II　iPod ►/II　USB ►/II　BLUETOOTH ►/II
1Seg　FM/AM　AUDIO IN　PHOTO

本体：　SOURCE をくり返し押してソース（音源）を選び、

 を押す。

■音量を調節する

1

(または本体の VOLUME ー ＋)を押す

- 0〜40の範囲で調節できます。

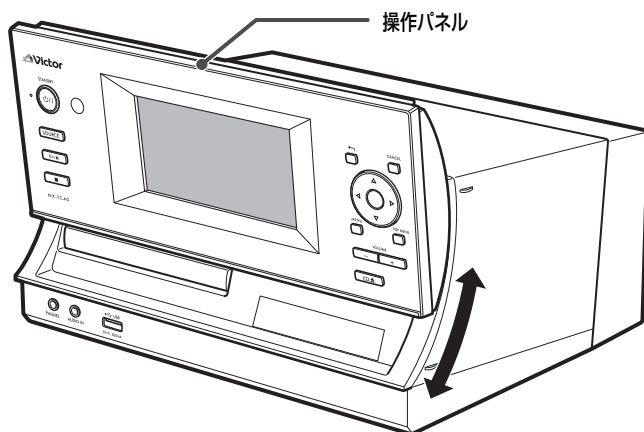
▶ 音を一時的に消す

消音 を押す　表示が点灯します。

- もう一度押すと元の音量に戻ります。

■操作パネルの角度を調節する

1

チルト を押す

ボタンを押すごとに、操作パネルの角度が変わります。

- 角度は6段階に調節できます。

お知らせ

本機は｢はさみ込み防止機能｣を搭載しています。操作パネルが下に移動したときに指などが操作パネルに当たると、はさみ込まないように操作パネルが一番上の位置まで移動します。

■トップメニュー/メニューを操作する

本機には、トップメニュー(「TOP MENU」)とメニューがあります。
トップメニューでは、曲を一覧から探したり、本機の全般的な設定ができます。
メニューでは、曲の操作･編集や、現在のソース(音源)に関する設定などができます。
メニューの表示内容は、ソース(音源)や再生状態によって変わります。

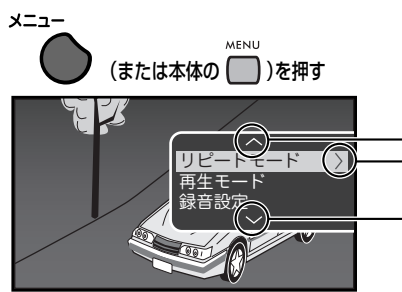
- トップメニュー項目の一覧(➡**109**ページ)
- メニュー項目の一覧(➡**110**ページ)

トップメニュー/メニューを表示する

▶ トップメニューを表示する

トップメニュー (または本体の TOP MENU)を押す

▶ メニューを表示する

メニュー (または本体の MENU)を押す

︿: 見えていない項目が上にあるときに表示されます。
﹀: 見えていない項目が下にあるときに表示されます。
〉: 次の選択項目があるときに表示されます。

トップメニュー/メニューを操作する

操作		リモコン	本体
項目を選ぶ	トップメニュー	▲ ▼ ◄ ►	△▽◁▷
	メニュー	▲ ▼	△▽
次の選択項目を表示する	トップメニュー	決定	中央ボタン
	メニュー	► または 決定	▷ または 中央ボタン
決定する		決定	中央ボタン
一つ前に戻る		⮌ または ◄	⮌ または ◁
• メニューから再生画面に戻る • 設定を中止して再生画面に戻る (設定内容は取り消されます)		キャンセル	CANCEL

お知らせ

- 本書では、トップメニュー/メニューの項目を「選ぶ」と書いてある場合、その項目を「色が反転した状態にする」ことを表しています。
- 本書では、項目を選んで 決定 を押して次の項目を表示させる操作を「項目名」➔「次の項目名」と説明しています。

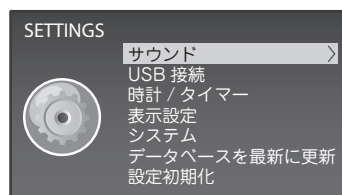
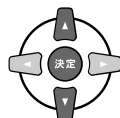
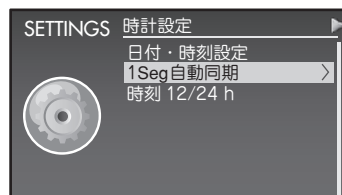
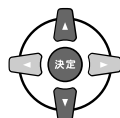
■日付/時刻を合わせる

日付/時刻を合わせる

お知らせ
- 電源プラグが抜かれたり、停電したときは、時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
- 録音中および電源が切れているときは、時計の設定はできません。

▶ 自動で設定する

ワンセグテレビ放送の時刻放送を利用して、本機の日付/時刻の設定･補正を自動で行います。
- あらかじめワンセグテレビのチャンネルをプリセットしておいてください。(➡51ページ)

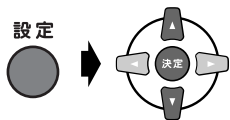
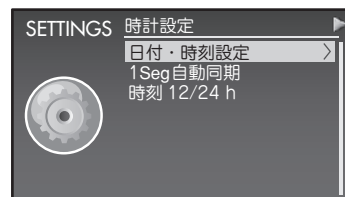
1 設定 を押す

2 「時計/タイマー」➔「時計設定」➔「1Seg自動同期」を選び、決定 を押す

1Seg自動同期画面が表示されます。

3 「オン」を選んで 決定 を押す

時計設定画面に戻ります。

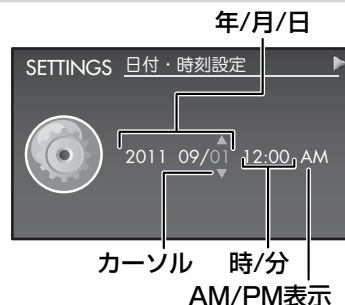
4 ソース(音源)を「1Seg」に切り換える

ワンセグテレビ放送を受信すると、日付/時刻が自動で設定されます。

お知らせ
- トップメニューから「SETTINGS」を選んで 決定 を押しても設定画面を表示することができます。
- ワンセグテレビ放送が受信できない場合は、自動で日付/時刻を設定･補正することはできません。
- 「1Seg自動同期」の設定が「オフ」のときは、本機で設定した時刻と、ワンセグテレビの視聴画面に表示される時刻(➡52ページ)が、異なる表示をすることがあります。

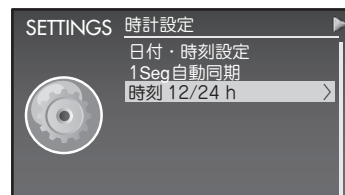
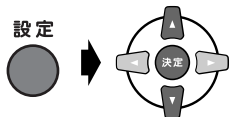
▶ 手動で設定する

1 [設定]を押して「時計/タイマー」→「時計設定」→「日付・時刻設定」を選び、決定を押す

日付・時刻設定画面が表示されます。

2 [◄]/[►]で設定する項目にカーソルを合わせ、[▲]/[▼]で日付と時刻を合わせ、決定を押す

- AM/PM表示は、24時間表示に設定しているときは表示されません。(➡下記)

お知らせ

- 再生画面に戻るには、[キャンセル]を押します。
- 「1Seg自動同期」の設定が「オフ」のときは(➡**19**ページ)、月に1分程度のずれが生じます。定期的に時計を合わせ直してください。

12時間表示/24時間表示を切り換える

1 [設定]を押して「時計/タイマー」→「時計設定」→「時刻12/24 h」を選び、決定を押す

2 「12h」または「24h」を選び、決定を押す

お知らせ

再生画面に戻るには、[キャンセル]を押します。

■CDを聞く

音楽CDや、CD-R/-RWディスク上のMP3ファイル、WMAファイルを再生することができます。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	説明
音楽CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD-DA規格に準拠したディスク
CD-R/-RW COMPACT disc Recordable　COMPACT disc ReWritable	• 音楽CDフォーマットで作成したディスク • 本機で再生できるファイル(➡下記)が記録されたディスク

ご注意

- ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズ汚れ・結露などにより再生できないことがあります。
- CDテキストの表示には対応していません。

【CD-R/-RWについて】

- CD-R/-RWディスクを使用されるときは、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- パケットライト方式(UDFフォーマット)で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- 記録フォーマットについては、お手持ちのCD-R/-RWドライブまたは記録用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

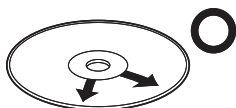
【音楽CDについて】

- CDロゴマークの有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠したディスクであることをお確かめください。
- CD-DA規格に準拠していないCDは動作の保証はできません。

▶ CDの取り扱いかた

- CDにテープやシールなどを貼ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

▶ CDのお手入れ

ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ。

連続したキズは音飛びの原因となります。

ご注意

シンナーやベンジンなどは絶対に使用しないでください。

再生できるファイルについて

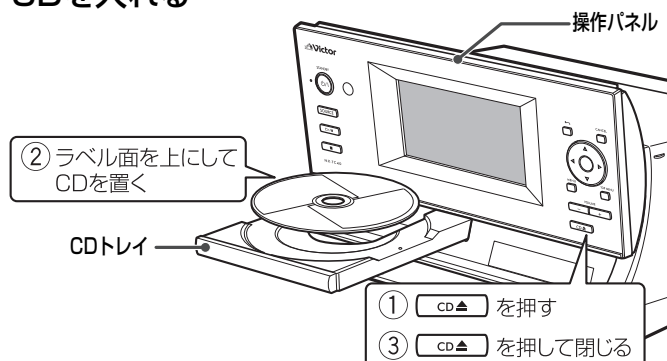
フォーマット	拡張子
MP3(8kbps〜320kbps、8kHz〜48kHz、VBR*)	「.MP3」 「.mp3」
WMA(32kbps〜320kbps、32kHz〜48kHz、VBR*)	「.WMA」 「.wma」

* VBR:可変ビットレート

お知らせ

- サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
- 本機は、MP3iおよびMP3 PROファイルには対応していません。
- WMA Lossless、Proおよびボイスには対応していません。

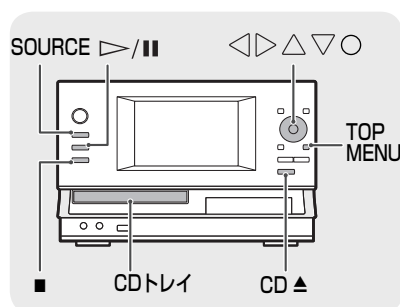
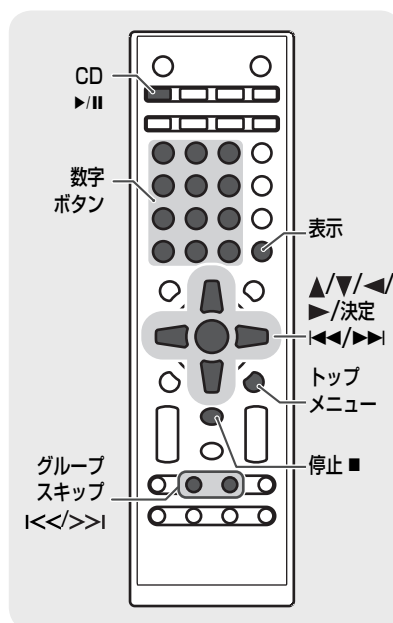
CDを再生する

1 CDを入れる

- 8センチCDは内側の凹部に置きます。

CDトレイを閉じると、操作パネルは自動的に元の設定位置に戻ります。

2 CDを再生する

リモコン: [CD ▶/II] を押す

本体: [SOURCE] をくり返し押して「CD」を選び、[○] を押す

頭出し(スキップ)

- 現在の曲の頭出し: [⏮] を押す
- 前の曲の頭出し: [⏮] を2回押す
- 次の曲の頭出し: [⏭] を押す

早戻し・早送り

- 早戻し: [⏮] を押しつづける
- 早送り: [⏭] を押しつづける

グループスキップ

- 前のグループにスキップする: [グループスキップ I<<] を押す
- 次のグループにスキップする: [グループスキップ >>I] を押す

一時停止: [CD ▶/II] を押す

停止: [停止 ■] を押す

CDの取り出し: 本体の[CD ⏏]を押す

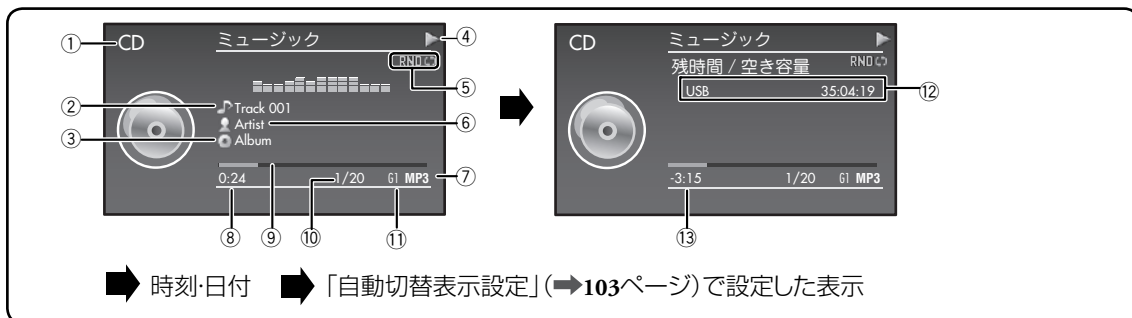
トラック番号を直接指定する

- 「3」を選ぶ: ③を押す
- 「10」を選ぶ: ⑩を押す
- 「20」を選ぶ: ≧10→②→⓪と押す
- 「23」を選ぶ: ≧10→②→③と押す
- 「123」を選ぶ: ≧10→≧10→①→②→③と押す

お知らせ

- 音楽CDの再生を停止すると、次の再生は1曲目から始まります。
- MP3/WMAファイルの再生を停止すると、次の再生は前回聞いていた曲の頭から始まります。
  以下の場合は、位置情報が消去され、再生は1曲目から始まります。
  – 「スタンバイモード」の設定が「通常」のときに(➡105ページ)電源を切った場合
  – CDを取り出した場合

▶ 画面表示

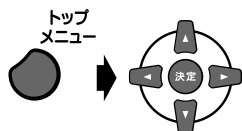
表示 または 決定 を押すごとに、時刻表示やUSB機器の録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

①ソース(音源)名
②曲名(曲情報がないときはファイル名またはTrack01、Track02・・・と表示)
③アルバム名(曲情報がないときは表示なし)
④動作アイコン(►:再生、■:停止、❚❚:一時停止、►►:早送り、◄◄:早戻し)
⑤再生モード/リピートモード(➡78〜80ページ)
⑥アーティスト名(曲情報がないときは表示なし)
⑦音楽CDのとき: 表示なし
MP3/WMAのとき: ファイルの種類(停止時:表示なし)
⑧再生経過時間(停止時:音楽CDのときは総再生時間を表示、MP3/WMAのときは0:00と表示)
⑨音楽CDのとき: 再生経過表示
MP3/WMAのとき: 表示なし
⑩トラック番号/トラック総数(停止時:トラック総数)
⑪グループ番号
⑫USB機器の録音残り時間*
⑬音楽CDのとき: 再生中の曲の残り時間
MP3/WMAのとき: 再生経過時間

* USB機器を接続していないときは、録音残り時間は「-:- -」と表示されます。

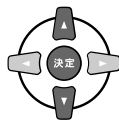
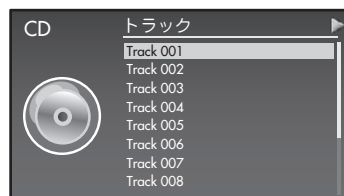
▶ トラックの一覧から曲を選ぶ

1

①トップメニューを表示して「CD」を選び、決定 を押す

②「トラック」を選び、決定 を押す

トラックの一覧が表示されます。

2

曲を選び、決定 を押す

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

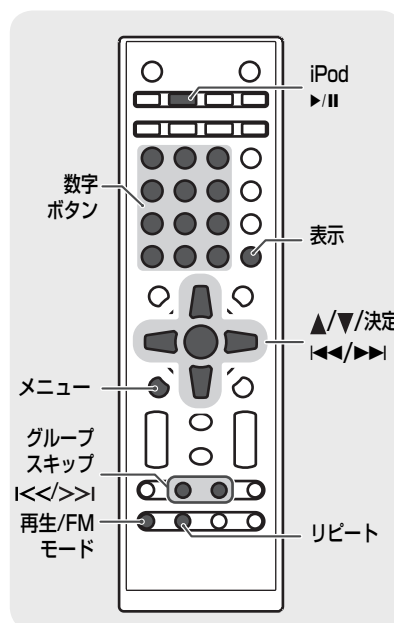
MP3/WMAのとき、トップメニューから「CD」を選んで 決定 を押し、「グループ」を選んで 決定 を押すと、グループの一覧からグループと曲を選ぶことができます。(➡81ページ)

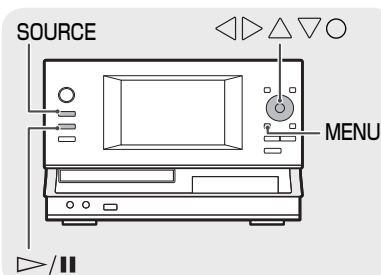
■iPodを再生する

iPodの音楽を高音質のデジタル再生で楽しむことができます。また、動画や写真のスライドショーを、本機ディスプレイで楽しむことができます。

再生できるiPodについて

Made for（対応iPod）	音楽	ビデオ
iPod nano (第6世代)	○	○*
iPod nano (第5世代)	○	○
iPod nano (第4世代)	○	○
iPod nano (第3世代)	○	○
iPod nano (第2世代)	○	–
iPod touch (第4世代)	○	○
iPod touch (第3世代)	○	○
iPod touch (第2世代)	○	○
iPod touch	○	○
iPod classic	○	○
iPhone 4	○	○
iPhone 3GS	○	○
iPhone 3G	○	○

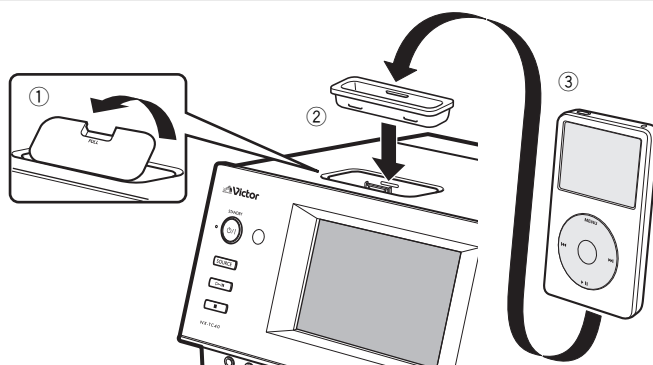
* 静止画のみ

お知らせ

- iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  - iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>
- iPodの最新の対応状況については、弊社ホームページをご覧ください。
- iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- 本機からiPodに録音することはできません。

iPodを再生する

1 iPodを接続する

① iPod用ドックのふたを取りはずす
- ふたは保管してください。

② ドックアダプター(iPodに付属またはApple社で販売)を本機に取り付ける

③ iPodを差し込む

2 iPodを再生する

リモコン: を押す

本体: をくり返し押して「iPod」を選び、◎を押す

メニュー項目の選択:[メニュー]/[▲]/[▼]で項目を選び、決定 を押す

頭出し(スキップ)
- 現在の曲の頭出し: [I◀◀] を押す
- 前の曲の頭出し: [I◀◀] を2回押す
- 次の曲の頭出し: [▶▶I] を押す

早戻し・早送り
- 早戻し: [I◀◀] を押しつづける
- 早送り: [▶▶I] を押しつづける

グループスキップ
- 前のグループにスキップする: [グループスキップ I<<] を押す
- 次のグループにスキップする: [グループスキップ >>I] を押す

一時停止: [iPod ▶/II] を押す

リピート:[リピート]をくり返し押して「1曲」、「すべて」または「オフ」を選ぶ

シャッフル:[再生/FMモード]をくり返し押して「曲」、「アルバム」または「オフ」を選ぶ

トラック番号を直接指定する
- 「3」を選ぶ: ③を押す
- 「10」を選ぶ: ⑩を押す
- 「20」を選ぶ: ≧10→②→⓪と押す
- 「23」を選ぶ: ≧10→②→③と押す
- 「123」を選ぶ: ≧10→≧10→①→②→③と押す

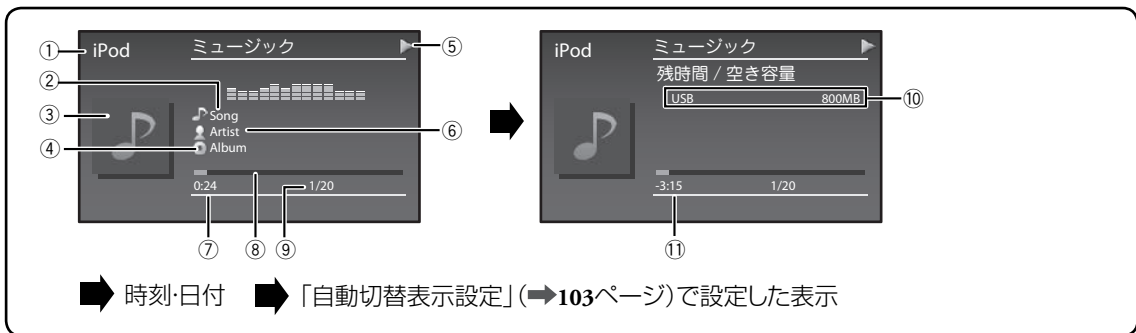
iPodをスリープさせる: [iPod ▶/II] を5秒以上押しつづける

お知らせ
- iPodの機種(iPod nano 6Gなど)によってはドックアダプターが不要な製品もあります。
- iPodの種類により、動作が異なることがあります。
- 一部のiPodでは、メニュー画面の操作を行なうときは、iPodで操作してください。
- 曲の選択、リピート、シャッフルの設定やメニュー操作はiPodの画面を見ながら行なってください。
- グループスキップは、iPodのモデルによっては機能しないことがあります。
- iPhoneまたはiPod touchの接続中に次の操作を行なうときは、iPhoneやiPod touchで操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする
- iPodの写真を本機ディスプレイに表示するには、写真をスライドショー再生してください。

▶ iPodの接続について

- iPodを接続するときは、ドックアダプター(iPodに付属またはApple社で販売)を使用してください。
- iPod用カバーやアクセサリーを装着している場合は、外してから接続してください。
- iPodはしっかりと差し込んでください。
- iPodは、まっすぐ抜き差ししてください。
- iPodを抜き差しするときは、あらかじめ本機の電源を切ってください。
- 本機のコネクター部分に直接さわったり、物を当てたりしないでください。破損の原因になります。
- 本機の電源が入っているとき、接続しているiPodを充電することができます。
  本機の電源が切れているときも、「スタンバイモード」(➡105ページ)が「高速起動」に設定されていると、iPodを充電できます。
- 本機の電源を入れなくても、本機にiPodを接続しただけでiPod側の電源が入ることがあります。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPodが落下して、破損するおそれがあります。
- iPod用ドックからドックアダプターを取りはずすときは、指の爪や先の細い物をスロット部にかけて、ドックアダプターをひきあげてください。
  その際に、爪を傷つけたり、iPod用ドックの端子を破損しないように気をつけてください。

▶ 画面表示(音楽ファイル)

表示 を押すごとに、時刻表示やUSB機器の空き容量などに表示を切り換えることができます。

①ソース(音源)名
②曲名(曲情報がないときはファイル名を表示)
③アートワーク(データがないときは ♪ を表示)
④アルバム名(曲情報がないときは表示なし)
⑤動作アイコン(►:再生、❚❚:一時停止、►►:早送り、◄◄:早戻し)
⑥アーティスト名(曲情報がないときは表示なし)
⑦再生経過時間*[1]
⑧再生経過表示
⑨曲番号/グループ内の総曲数
⑩USB機器の空き容量*[2]
⑪再生中の曲の残り時間*[1]

*[1] アートワークデータをiPodからロードしている間、時間表示が点滅します。このとき、リモコン／本体キーを使用しての再生·一時停止などの操作を行なうことはできません。
*[2] USB機器を接続していないときは、空き容量は「- - -MB」と表示されます。

USB

■USB機器を再生する

再生できるUSB機器について

▶ USBフラッシュメモリー

MSC(USBマスストレージ規格)に対応している機器

▶ デジタルオーディオプレーヤー

MSC(USBマスストレージ規格)またはMTPに対応し、Microsoft® Windows Media® Playerで音楽ファイルを転送できるプレーヤー

• 日本ビクター製デジタルオーディオプレーヤー 対応機種
(すでに生産を完了しています。)

種類	対応USB形式
XA-C210/XA-C110/XA-C51、XA-C109/XA-C59、XA-Vシリーズ、XA-Mシリーズ	MTP/MSC
XA-S/XA-F/XA-E/XA-MPシリーズ	MSC

お知らせ

- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、本機のAUDIO IN端子に接続して再生してください。(➡44ページ)
- セキュリティ機能付きのUSB機器は、機能を解除してからご使用ください。
- USB機器の容量は4GB以下を推奨します。
- 2GB以上のファイルは再生できません。
- すべての機器についての動作を保証するものではありません。

再生できるファイルについて

フォーマット	拡張子
MP3(8kbps～320kbps、8kHz～48kHz、VBR*[1])	「.MP3」「.mp3」
WMA/WMA-DRM10(8kbps～320kbps、8kHz～48kHz、VBR*[1])	「.WMA」「.wma」
WAV(16bit、リニアPCM、8kHz～48kHz)	「.WAV」「.wav」
WMV • 映像 プロファイル:WMV9 シンプル・メイン プロファイル、画像サイズ:QVGA(320 x 240ピクセル)以下*[2]、フレームレート:最大30fps、ビットレート:最大512kbps • 音声 プロファイル:WMA9、ビットレート:最大128kbps	「.WMV」「.wmv」
JPEG*[3](ベースライン、最大16メガピクセル)	「.JPEG」「.jpeg」 「.JPG」「.jpg」

*[1] VBR:可変ビットレート

*[2] 表示画面サイズWQVGA(480 x 272ピクセル)のWMVを使用する場合には、フレームレートを20fps以下に落としてください。

*[3] JPEGの再生については、58ページの「写真を見る」をご覧ください。

お知らせ

- サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
- 本機は、MP3iおよびMP3 PROファイルには対応していません。
- WMA Lossless、Proおよびボイスには対応していません。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- WMVファイルを再生中に情報表示(➡38ページ)を行なうと、規格範囲内のファイルであっても正常に再生できない場合があります。

データ数の制限について

- 最大再生対応ファイル数　：　5000
- 1フォルダあたりの最大ファイル数　：　999
- ファイルとフォルダの最大総数　：　20000
- 最大フォルダ階層数　：　7
- プレイリスト最大登録数　：　5000

WMVファイル、JPEGファイルを再生するには

WMVファイル、JPEGファイルを再生するには、本機と接続機器をMSC（USBマスストレージ規格）接続する必要があります。
接続するデジタルオーディオプレーヤーがMTPとMSCの両方に対応している場合は、「USB機器の接続モードを変更する」（➡29ページ）の手順で本機のUSBモードを「MSC」に変更してください。

WMA-DRM（著作権保護付き）ファイルをデジタル再生するには

WMA-DRM（著作権保護付き）をデジタル再生するには、接続するUSB機器と接続される機器が両方ともデジタルメディアストリーミングに対応している必要があります。本機はデジタルメディアストリーミングに対応しています。

デジタルメディアストリーミング対応機種

- **日本ビクター製デジタルオーディオプレーヤー**（すでに生産を完了しています。）

XA-C210/XA-C110/XA-C51、XA-C109/XA-C59、XA-Vシリーズ

デジタルオーディオプレーヤーを接続してWMA-DRMファイルを再生するには

デジタルメディアストリーミング対応のデジタルオーディオプレーヤーを本機に接続してWMA-DRMファイルを再生するには、本機のUSBモードを「オート」にしてMTPで接続する必要があります。
（「USB機器の接続モードを変更する」➡29ページ）

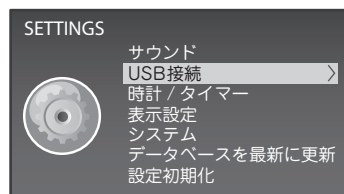
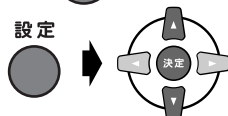
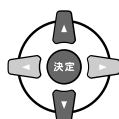
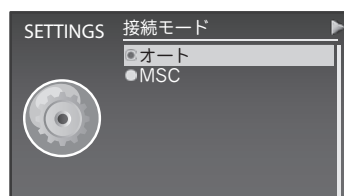
お知らせ

XA-C109/XA-C59については、ファームウェアをVer.1.03.0641以降にバージョンアップする必要があります。
以下のホームページの説明にしたがって、バージョンアップを行なってください。
http://www.victor.co.jp/audio_w/support/download/index.html

USB機器の接続モードを変更する

ご注意

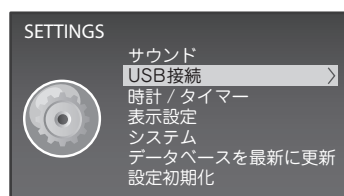
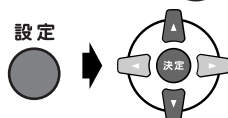
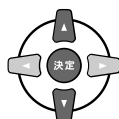
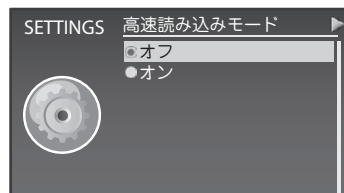
USB機器を接続していると、接続モードを切り換えることができません。接続モードを切り換える前に、電源を切ってからUSB機器をはずしてください。

1 [設定]を押して「USB接続」➔「接続モード」を選び、決定 を押す

2 「オート」または「MSC」を選び、決定 を押す

オート	MSC接続とMTP接続を自動的に切り換えます。（MTP優先）
MSC	MSCで接続します。

USB機器の読み込みモードを変更する

USB機器をはじめて接続したときの読み込み時間を短くすることができます。

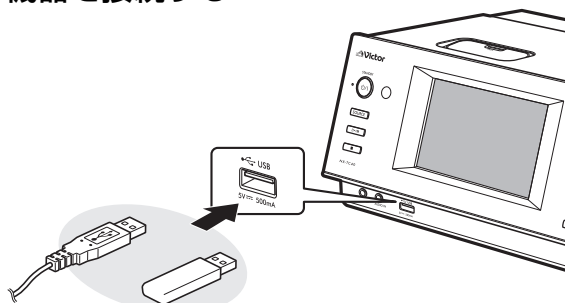
ご注意

USB機器を接続していると、読み込みモードを切り換えることができません。読み込みモードを切り換える前に、電源を切ってからUSB機器をはずしてください。

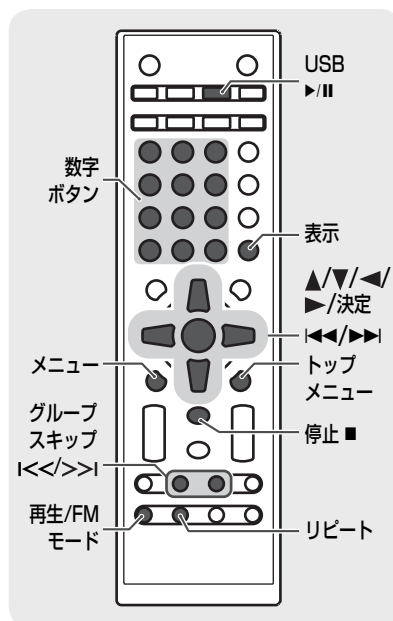
1 [設定]を押して「USB接続」➔「高速読み込みモード」を選び、決定 を押す

2 「オフ」または「オン」を選び、決定 を押す

オフ	初回の読み込みに時間がかかりますが、2回目以降は「オン」の場合と同じ速さで読み込みます。
オン	初回から高速で読み込みます。ただし、ミュージックメニュー（➡**32**ページ）で、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」が選べなくなります。

お知らせ

高速読み込みモードは、USB機器をMSCで接続しているときのみ有効です。MTP接続時には影響しません。

USB機器を再生する

1 USB機器を接続する

2 USB機器を再生する

リモコン: [USB ▶/II] を押す

本体: [SOURCE]をくり返し押して「USB」を選び、[○]を押す

頭出し(スキップ)

- 現在の曲の頭出し: [I◀◀] を押す
- 前の曲の頭出し: [I◀◀] を2回押す
- 次の曲の頭出し: [▶▶I] を押す

早戻し・早送り

- 早戻し: [I◀◀] を押しつづける
- 早送り: [▶▶I] を押しつづける

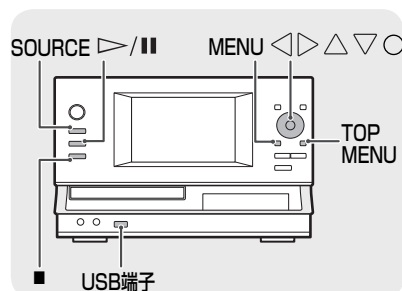
グループスキップ

- 前のグループにスキップする:[グループスキップ I<<]を押す
- 次のグループにスキップする:[グループスキップ >>I]を押す

一時停止: [USB ▶/II] を押す

停止: [停止 ■] を押す

トラック番号を直接指定する

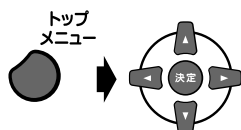
- 「3」を選ぶ: ③を押す
- 「10」を選ぶ: ⑩を押す
- 「20」を選ぶ: ≧10→②→⓪と押す
- 「23」を選ぶ: ≧10→②→③と押す
- 「123」を選ぶ: ≧10→≧10→①→②→③と押す

お知らせ

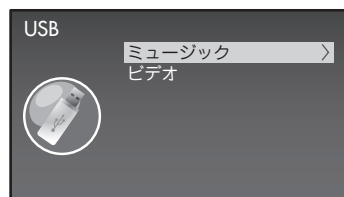
- デジタルオーディオプレーヤーをMTP接続しているときは、早戻し・早送りの操作ができません。
- 再生を停止すると、次の再生は前回聞いていた曲の頭から始まります。以下の場合は、位置情報が消去され、再生は1曲目から始まります。
  - 「スタンバイモード」の設定が「通常」のときに(➡105ページ)電源を切った場合
  - USB機器をはずした場合

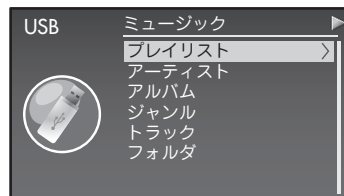
音楽ファイルを再生する

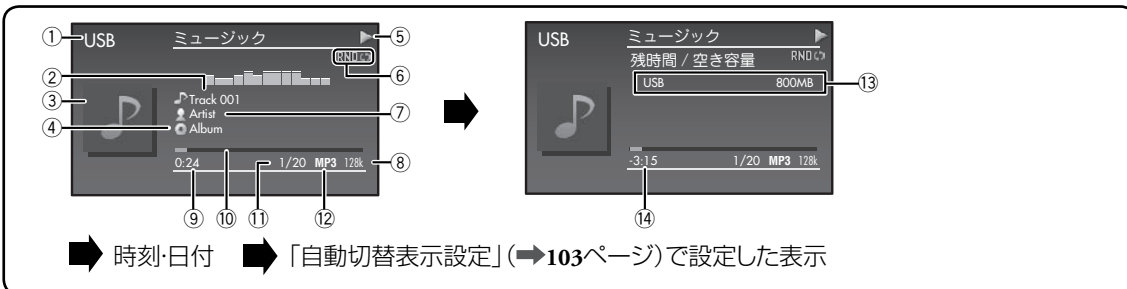
1

①トップメニューを表示して「USB」を選び、決定 を押す

②「ミュージック」を選び、決定 を押す

ミュージックメニューが表示されます。

2

曲を選び、再生する

- 曲の探しかたについては、**32**〜**36**ページをご覧ください。

▶ 画面表示(音楽ファイル)

表示 または 決定 を押すごとに、時刻表示やUSB機器の空き容量などに表示を切り換えることができます。

①ソース(音源)名
②曲名(曲情報がないときはファイル名を表示)
③ジャケット画像*(データがないとき、またはMTP接続時は ♪ を表示)
④アルバム名(曲情報がないときは表示なし)
⑤動作アイコン(▶:再生、■:停止、❚❚:一時停止、▶▶:早送り、◀◀:早戻し)
⑥再生モード/リピートモード(➡**78**、**79**ページ)
⑦アーティスト名(曲情報がないときは表示なし)
⑧ビットレート
⑨再生経過時間(停止時:総再生時間)
⑩再生経過表示
⑪曲番号/グループ内の総曲数
⑫ファイルの種類
⑬USB機器の空き容量
⑭再生中の曲の残り時間

* 画像データを含むトラック(ファイル)を再生すると、ジャケット画像として表示します。
　また、お好みの画像をジャケット画像として表示するには、表示させたいJPEGファイル(最大200キロバイト)を「Folder.jpg」というファイル名にして、USB機器の音楽ファイルが入っているフォルダに入れます。
　トラック(ファイル)内にジャケット画像が含まれている場合は、その画像が優先して表示されます。

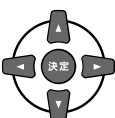
* ジャケット画像を壁紙や自動切替表示用として登録することができます。
　再生中に[メニュー]を押し、「プロパティ」の中のジャケット画像の項目を選び、決定 を押します。画像が画面に表示されたら[メニュー]を押し、「壁紙登録」または「フォト登録」を選んで 決定 を押します。併せて**64**ページもご覧ください。

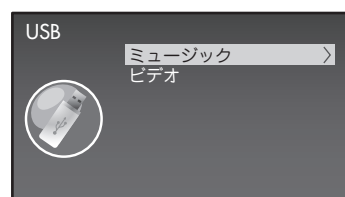
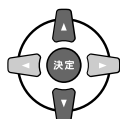
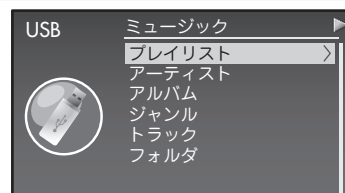
お知らせ

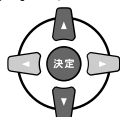
A-Bリピート再生中(➡**78**ページ)は、決定 を押して画面表示を切り換えることはできません。

ミュージックメニュー(アルバム、アーティストなど)から曲を探す

1

①トップメニューを表示して「USB」を選び、決定 を押す

②「ミュージック」を選び、決定 を押す

ミュージックメニューが表示されます。

2 曲の探しかたを選び、 を押す

曲情報を利用して、いくつかの方法で曲を探すことができます。

曲の探しかた	表示と構成
プレイリスト	お気に入りに登録済みの曲および作成済みのプレイリストを表示します。 ➡**82**ページ
アーティスト	アーティストごとに表示します。 「アーティスト名」➔「アルバム名」➔「曲名」
アルバム	アルバムごとに表示します。 「アルバム名」➔「曲名」
ジャンル	ジャンルごとに表示します。 「ジャンル名」➔「曲名」
トラック	すべてのトラックを名前順に表示します。
フォルダ	すべてのフォルダを名前順に表示します。 「フォルダ名」➔「曲名」

3 曲を選び、 を押す

選んだ曲から再生が始まります。

- アーティスト、ジャンル、トラックはおおむねアルファベット順に再生します。アルバムはトラック番号順に再生します。

お知らせ

- USB機器をMSCで接続していて「高速読み込みモード」が「オン」のときは、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」は選択できません。また、「トラック」の表示はファイル名となり、拡張子は表示されません。高速読み込みモードについては、**29**ページをご覧ください。
- アーティスト名は、曲情報がないときは録音元のソース(音源)名になります。
- 「アーティスト」で「すべて」を選ぶと、すべての曲がアーティスト名順(同一アーティストの中ではアルバム名順)に表示されます。
「アルバム」または「ジャンル」で「すべて」を選ぶと、すべての曲がアルバム名順またはジャンル名順に表示されます。
- アルバムの一覧を表示しているときに、表示 を押して一覧の表示形式を変更することができます。表示 を押すごとに、表示形式が変わります。(アルバム名のみ、アルバム名とジャケット画像、ジャケット画像のみ)
  - 一覧を表示しているときに、メニューから「アルバム表示形式」で表示したい形式(「アルバム名のみ」、「ジャケットあり」または「ジャケットのみ」)を選んでも、変更できます。
  - USB機器をMTPで接続しているときは、ジャケット画像は表示されません。

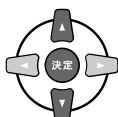
▶ アーティスト、アルバム、またはジャンルの曲をすべて再生する

1

①トップメニューを表示して「USB」を選び、決定を押す
②「ミュージック」を選び、決定を押す

ミュージックメニューが表示されます。

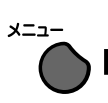
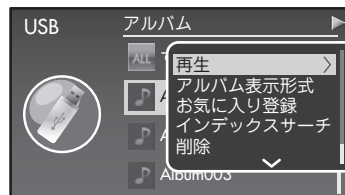
2

聞きたいアーティスト、アルバム、またはジャンルを選ぶ

例：アルバムを選ぶ場合

① **[▲]/[▼]で「アルバム」を選び、決定を押す**
② **[▲]/[▼]で聞きたいアルバムを選ぶ**

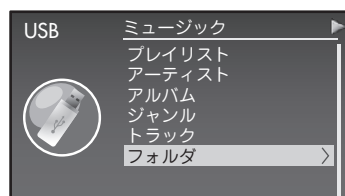
例：アルバムを選んだ場合

3

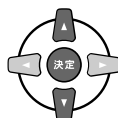
メニューを表示して「再生」を選び、 **を押す**

選んだ項目に含まれるすべての曲が再生されます。

フォルダから曲を探す

▶ ファイルを選んで再生する

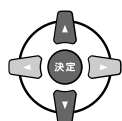
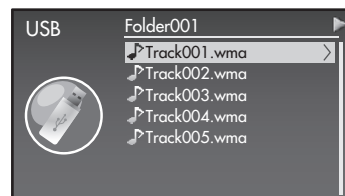
1

①トップメニューを表示して「USB」を選び、決定を押す
②「ミュージック」→「フォルダ」を選び、決定を押す

フォルダの一覧が表示されます。

2

再生したい曲の入っているフォルダを選び、決定を押す

曲の一覧が表示されます。

次のページにつづく

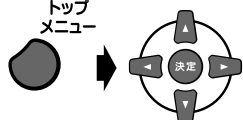
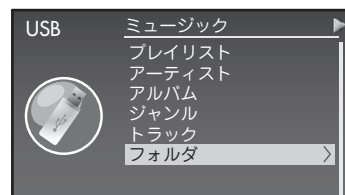
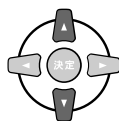
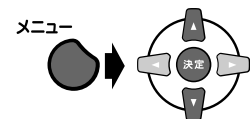
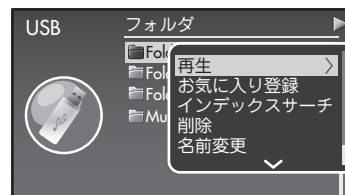
3 再生したい曲を選び、 を押す

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

- フォルダの中に、さらに別のフォルダが含まれていることがあります。この場合は、目的の曲を含むフォルダを選び、決定 を押すと、そのフォルダの内容が表示されます。
- :フォルダ / :ファイルを示します。

▶ フォルダに含まれる曲をすべて再生する

1

①トップメニューを表示して「USB」を選び、決定 を押す

②「ミュージック」➔「フォルダ」を選び、決定 を押す

フォルダの一覧が表示されます。

2 再生したいフォルダを選ぶ

3 メニューを表示して「再生」を選び、 を押す

フォルダに含まれるすべての曲が再生されます。

お知らせ

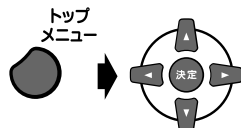
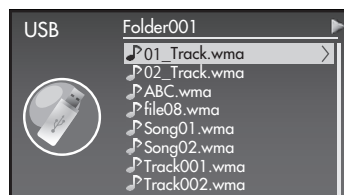
フォルダの中に別のフォルダが含まれている場合は、「サブフォルダを含むときの再生順序について」(➡**39**ページ)をご覧ください。

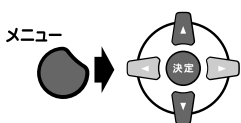
名前から曲を探す（インデックスサーチ）

例:「Folder001」フォルダの中の「01_Track」という曲を探す場合

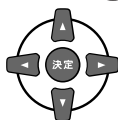
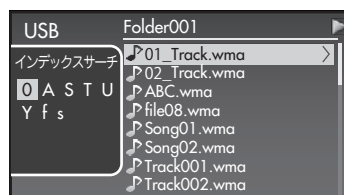
1

①トップメニューを表示して「USB」を選び、決定 を押す

②「ミュージック」→「フォルダ」→「Folder001」を選び、 を押す

「Folder001」フォルダの中の曲の一覧が表示されます。

2

メニューを表示して「インデックスサーチ」を選び、決定 を押す

検索可能な文字が表示されます

3

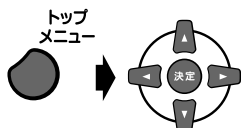
探したいフォルダまたは曲の名前の最初の文字を選び、決定 を押す

次に検索可能な文字が表示されます。探したいフォルダまたは曲が見つかるまで、くり返します。

お知らせ

プレイリスト、アーティスト、アルバム、ジャンル、トラック、フォルダの一覧を表示しているときもインデックスサーチが可能です。

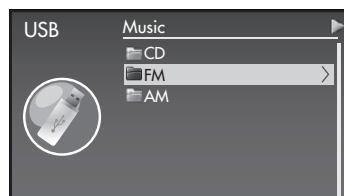
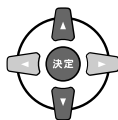
録音元のソース（音源）から曲を探す

1

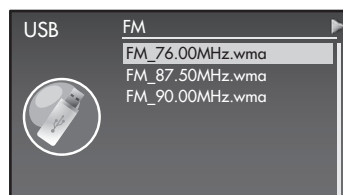
①トップメニューを表示して「USB」を選び、 を押す

②「ミュージック」→「フォルダ」→「Music」を選び、 を押す

録音元のソース（音源）名の一覧が表示されます。

2

録音元のソース（音源）を選び、 を押す

次のページにつづく

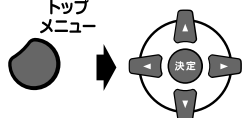
3 再生したい曲を選び、を押す

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

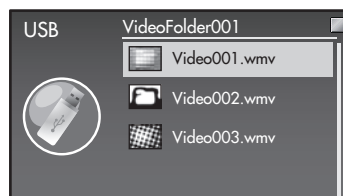
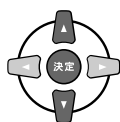
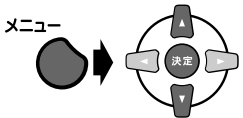
- 録音元のソース（音源）名のついたフォルダの中に、さらに別のフォルダが含まれていることがあります。この場合は、目的の曲を含むフォルダを選び、決定 を押すと、そのフォルダの内容が表示されます。
- 録音された曲の詳細については、**68**ページをご覧ください。

ビデオファイルを再生する

1

① トップメニューを表示して「USB」を選び、を押す

② 「ビデオ」を選び、決定 を押す

ビデオフォルダの一覧が表示されます。
- 音楽ファイルを再生していた場合は、再生が停止します。

2 フォルダを選んでを押し、ファイルを選ぶ

3 メニューを表示して「再生」➔「初めから再生」を選び、決定 を押す

ビデオの再生が始まります。
- 最近再生したビデオを見るには、「再生」➔「最近再生したビデオ」を選び、決定 を押します。

お知らせ

- 手順2のあとに 決定 を押しても、ビデオを再生することができます。
- ビデオファイルの入っているフォルダまたはビデオファイルの一覧を表示しているときに、表示 を押して一覧の表示形式を変更することができます。表示 を押すごとに、表示形式が変わります。（ファイル名のみ、ファイル名とサムネイル画像、サムネイル画像のみ）
  – 一覧を表示しているときに、メニューから「ファイル表示形式」で表示したい形式（「ファイル名のみ」、「サムネイルあり」または「サムネイルのみ」）を選んでも、変更できます。

ビデオの再生方法を変更する

お知らせ

ビデオ再生中にメニューを表示すると、再生が一時停止します。

▶ リピート再生する

再生中のビデオファイルをくり返し再生します。

1 **再生中に（リピート）をくり返し押して、「リピートモード オン」を選ぶ**

お知らせ

- メニューから「リピートモード」➔「オン」を選んでもリピート再生することができます。
- リピート再生をやめるには、「リピートモード オフ」を選びます。

▶ 連続再生する

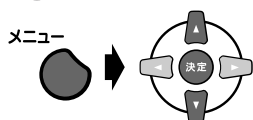
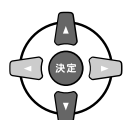
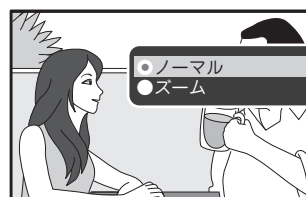
フォルダの中のすべてのビデオファイルを連続で再生することができます。

1 **再生中に（再生/FMモード）をくり返し押して、「連続再生オン」を選ぶ**

お知らせ

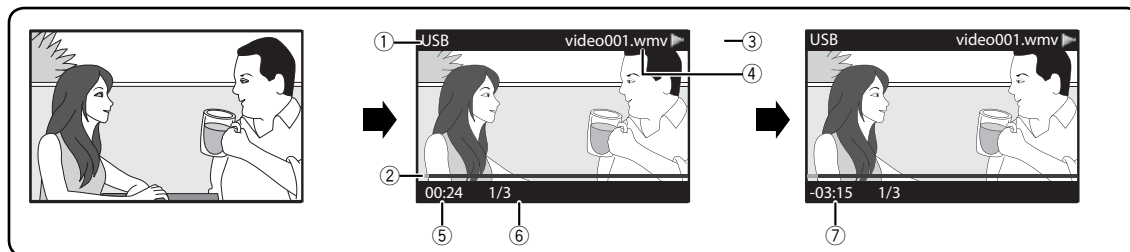
- メニューから「連続再生」➔「オン」を選んでも連続再生することができます。
- 連続再生をやめるには、「連続再生オフ」を選びます。

▶ 映像の表示サイズを変更する

1 再生中にメニューを表示して「表示方法」を選び、決定を押す

2 表示サイズを選び、 を押す

ノーマル	通常のサイズで表示します。
ズーム	映像を拡大します。

お知らせ

再生中に 表示 を押しても表示サイズを変更できます。

▶ 画面表示（ビデオファイル）

決定 を押すごとに、次のように表示が切り換わります。（数秒で元の表示に戻ります。）

①ソース（音源）名
②再生経過表示
③動作アイコン（►：再生、❚❚：一時停止、►►：早送り、◄◄：早戻し）
④ファイル名
⑤再生経過時間
⑥ファイル番号/ファイル総数（「連続再生が「オン」に設定されているときのみ）
⑦再生中のファイルの残り時間

▶ USB機器の接続について

- USBケーブル（市販品）を使って、本体前面のUSB端子にデジタルオーディオプレーヤー、USBフラッシュメモリーを接続することができます。
- USB機器は、停止状態または電源が切れた状態で取り外してください。
- USB機器を接続したり取り外したりするときは、本機の音量を最小にしておいてください。
- USBハブは使用しないでください。
- USB機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみを認識します。
- USB機器を接続するときは、USB機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機の電源が入っているとき、接続しているUSB機器を充電することができます。
  本機の電源が切れているときも、「スタンバイモード」（➡**105**ページ）が「高速起動」に設定されていると、USB機器を充電できます。
- USB機器の形状によっては、PHONES端子やAUDIO IN端子に干渉するため接続できない場合があります。

▶ USB機器の記憶について

本機は、接続されたUSB機器を3台まで自動的に記憶します。

- MTP接続されたUSB機器を記憶することはできません。

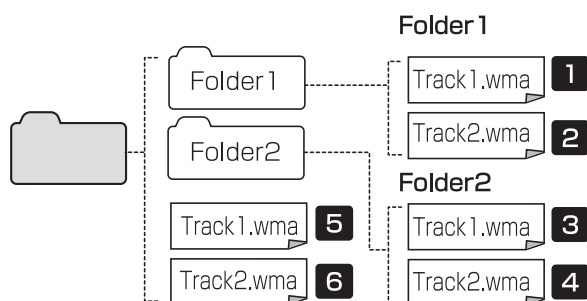
お知らせ

- 次の場合は、USB機器を本機に接続したあと、本機の記憶内容を更新してください。
  - USB機器を読み込み途中ではずした場合
    読み込みが途中で中断されたため、本機の記憶内容が途中までとなり、次に接続したときにUSB機器内にあるすべてのファイルが読み込まれず、曲数が正しく表示されません。
  - 本機が記憶したUSB機器に、本機以外の機器でファイルの追加や削除を行なった場合

  記憶内容を更新するには：

  [設定]を押して「データベースを最新に更新」を選び、決定 を押します。確認画面が表示されたら「はい」を選び、決定 を押します。
- 「高速読み込みモード」（➡**29**ページ）が「オフ」の場合、USB機器をはじめて接続したときは読み込みに時間がかかることがあります。
- 同一のUSB機器でも、「高速読み込みモード」が「オン」のときに読み込まれた情報と「オフ」のときに読み込まれた情報は、異なる機器の情報とみなされます。
- 本機がUSB機器を3台記憶しているときに、新しく別のUSB機器を接続すると、本機が記憶している3台のうち、最も古い1台の記憶内容が削除され、新しく接続されたUSB機器が記憶されます。
- USB機器に本機で再生できないファイルが多数入っていると、再生可能なファイル数が少なくても読み込みに時間がかかることがあります。再生できないファイルはできるだけ入れないことをお勧めします。

▶ サブフォルダを含むときの再生順序について

選んだフォルダの中に別のフォルダ（サブフォルダ）が含まれているときは、右のような順序で再生します。

■ラジオを聞く

FMまたはAMを受信します。

あらかじめアンテナを接続しておいてください。(➡12ページ)

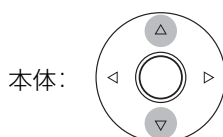
1 「FM」または「AM」を選ぶ

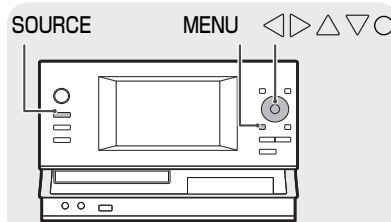
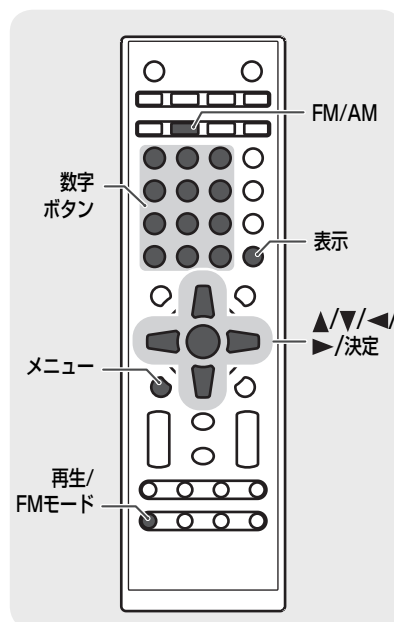
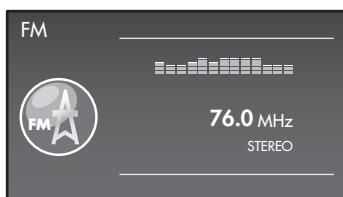
リモコン: FM/AM をくり返し押す

本体: SOURCE をくり返し押して「FM」または「AM」を選び、決定を押す

2 放送局を選ぶ

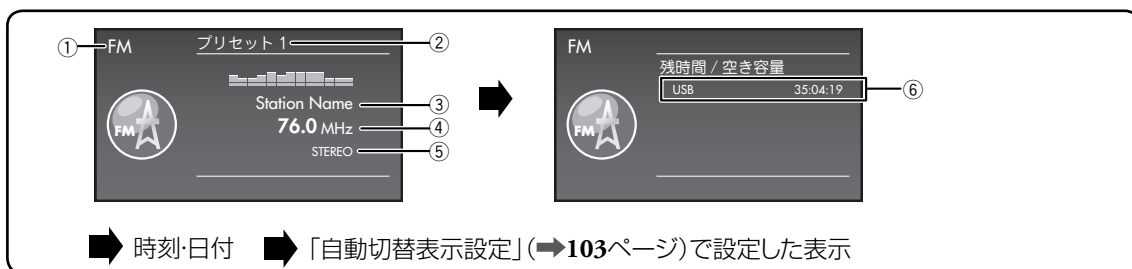
リモコン:

本体:

[▲]/[▼](または、本体の[△]/[▽])を押しつづけ、周波数が変わり始めたら離してください。受信できる放送局が見つかると、自動的に止まります。

- [▲]/[▼](または本体の[△]/[▽])をくり返し押すと、周波数がFMでは0.1MHzずつ、AMでは9kHzずつ変わります。

お知らせ

- トップメニューから「FM」または「AM」を選んで 決定 を押し、「マニュアル」を選んで 決定 を押しても放送局を選ぶことができます。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

▶ 画面表示

表示 または 決定 を押すと、時刻表示やUSB機器の録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

①バンド(FM:FM放送、AM:AM放送)
②プリセット番号(マニュアル選局時:表示なし)
③放送局名(未設定時:表示なし)
④周波数
⑤FMモード(「STEREO」または「MONO」➡43ページ)
⑥USB機器の録音残り時間*

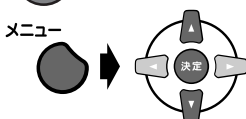
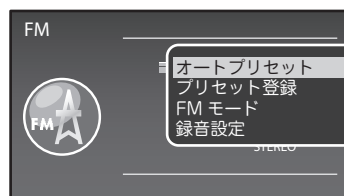
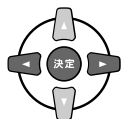
* USB機器を接続していないときは、録音残り時間は「-:- -」と表示されます。

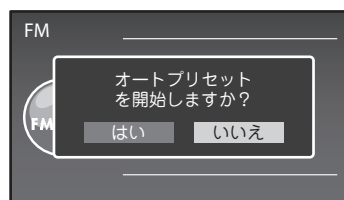
ラジオ局を登録する(プリセット)

FMを最大30局、AMを最大15局まで登録することができます。

▶ 自動で登録する(オートプリセット)

1 「FM」または「AM」を選ぶ(➡40ページ)

2 メニューを表示して「オートプリセット」を選び、決定を押す

確認画面が表示されます。

3 「はい」を選び、決定を押す

選局が始まり、受信できる放送局が周波数の低い順に登録されます。

- 登録が終了すると、プリセット番号1に登録されたラジオ局が受信されます。

お知らせ

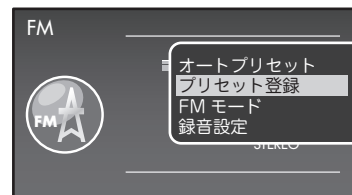
- オートプリセットの操作はFM、AMのそれぞれについて行なってください。
- オートプリセットを実行すると、それまでに登録されたラジオ局はすべて削除されます。
- オートプリセットでFMのラジオ局を登録すると、FMモードはすべて「オート」になります。(➡43ページ) 「モノラル」にしたい場合は手動で登録してください。(➡42ページ)
- 雑音の多いラジオ局も登録されることがあります。このようなときは、手動で登録し直してください。(➡42ページ)

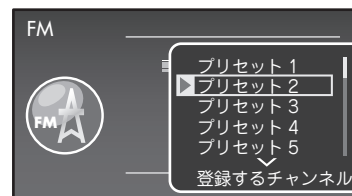
▶ 手動で登録する

1 登録したいラジオ局を受信する(➡40ページ)

必要に応じて、FMモードを切り換えてください。(➡43ページ)

2 メニューを表示して「プリセット登録」を選び、決定を押す

プリセット登録リストが表示されます。

3 登録したいプリセット番号を選び、を押す

「プリセットに登録しました」と表示され、登録したプリセット番号の受信画面になります。

お知らせ

手動でラジオ局を登録したときは、FMモードも記憶されます。(➡43ページ)

▶ プリセット登録したラジオ局を選ぶ(プリセット選局)

1 FMまたはAM受信中に、数字ボタンで聞きたいラジオ局のプリセット番号を押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10 0 ≧10

「3」を選ぶ: 3を押す
「10」を選ぶ: 10を押す
「23」を選ぶ: ≧10→2→3と押す

お知らせ

- トップメニューから「FM」または「AM」を選んで決定を押し、「プリセット」を選んで決定を押してもプリセットの一覧から選ぶことができます。
- プリセット登録したラジオ局を受信しているときに[◄]/[►]を押してもプリセット番号を選ぶことができます。

プリセット登録したラジオ局に名前を付ける

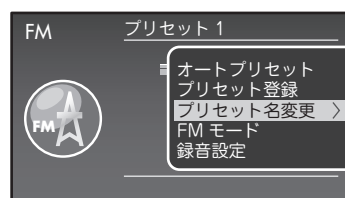
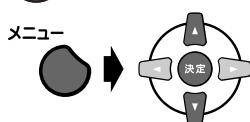
プリセット選局したときに表示させる名前(ラジオ局名など)をつけることができます。

1 名前を付けたい局をプリセット選局する

ご注意

[▲]/[▼]でラジオ局を選んだときは、名前を付けることはできません。数字ボタンで選局してください。

2 メニューを表示して「プリセット名変更」を選び、決定を押す

メニュー

3 名前を入力し、「決定」を選んで決定を押す

- 文字入力の方法は、「文字入力のしかた」(➡**89**ページ)をご覧ください。

お知らせ

名前をつけたあとで、再度オートプリセットや手動プリセットを行うと、名前は削除されます。

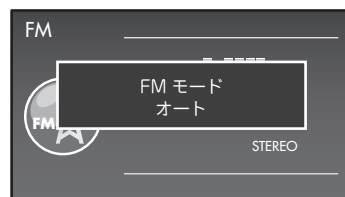
FMモードを切り換える

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、音声をモノラルにすると聞きやすくなることがあります。

1 再生/FMモード を押す

押すごとに、FMモードが次のように切り換わります。

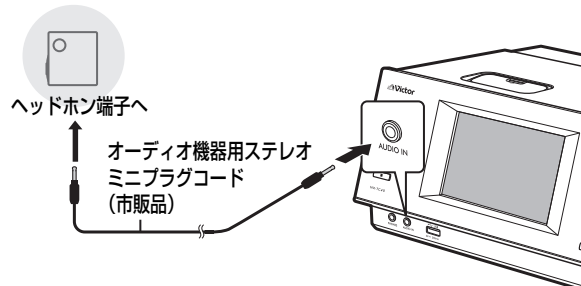
表示	設定
●オート	STEREO(ステレオ受信時)
モノラル	MONO(モノラル)

●:お買い上げ時の設定

お知らせ

メニューから「FMモード」を選んでもFMモードを切り換えることができます。

■外部機器をつないで聞く

本機につないだMDプレーヤーなどの音を聞くことができます。

1 AUDIO IN端子に外部機器をつなぐ

2 ソース（音源）を「AUDIO IN」に切り換える

リモコン： AUDIO IN を押す

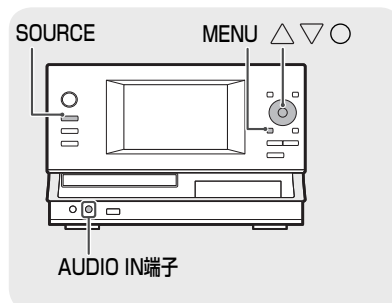
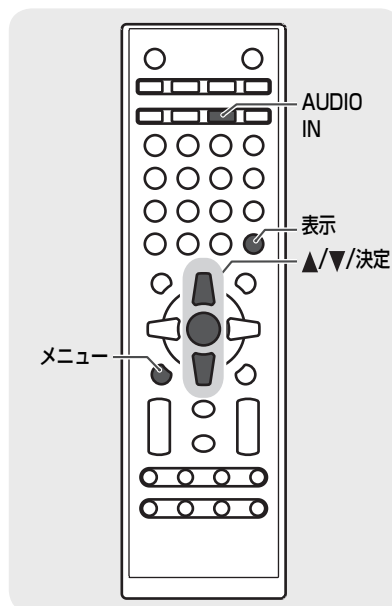
本体： SOURCE をくり返し押して「AUDIO IN」を選び、

を押す

SOURCE MENU △▽○

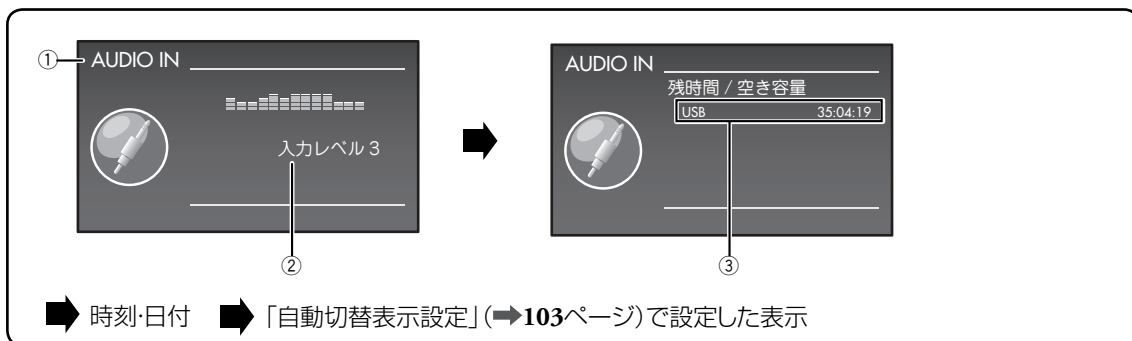
AUDIO IN端子

3 外部機器を再生する

- 詳しくは、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、本機とUSB接続できませんので、この方法で接続してください。
- 本機にマイクやレコードプレーヤーを直接接続することはできません。アンプ（市販品）をAUDIO IN 端子へ接続してから、それぞれの機器を接続してください。
  - マイク：マイクロフォンアンプまたはオーディオミキサー
  - レコードプレーヤー：フォノイコライザーアンプ

▶ 画面表示

表示 または 決定 を押すと、時刻表示やUSB機器の録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

①ソース(音源)名
②入力レベル(➡下記)
③USB機器の録音残り時間*

* USB機器を接続していないときは、録音残り時間は「-:- -」と表示されます。

▶ 音声入力レベルを調節する

つないだ機器側の出力レベルが大きいときは、本機の音声入力レベルを調節することができます。

1 メニューを表示して「入力レベル」を選び、 **を押す**

メニュー

2 適切なレベルを選び、 **を押す**

レベル 1	レベル 2で音が大きい、または音が歪んで聞こえるときに選びます。
レベル 2	レベル 3で音が大きい、または音が歪んで聞こえるときに選びます。
レベル 3	通常はこちらでご使用ください。(お買い上げ時の設定)

■ワイヤレスで音楽を楽しむ

BLUETOOTH（ブルートゥース）に対応したオーディオプレーヤーや携帯電話などをワイヤレス接続して、本機のスピーカーで再生することができます。

BLUETOOTH®とは・・・
電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解/改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意
本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業·科学·医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

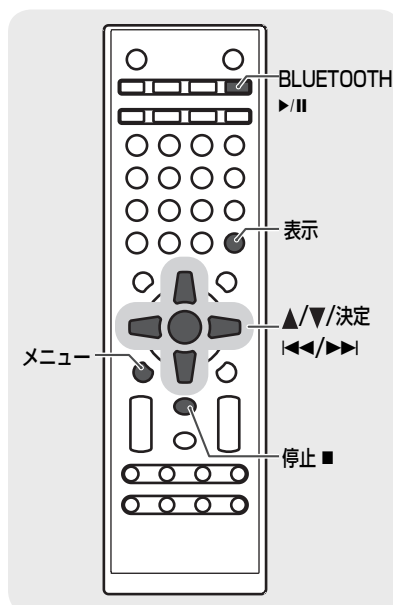
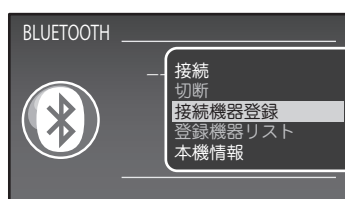
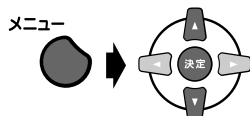
2.4	：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH	：FH-SS変調方式を表します。
1	：電波与干渉距離は10mです。
▭▭▭	：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

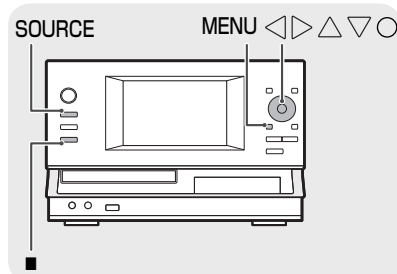
- 使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

機器を登録する

はじめて再生するときは、お持ちのBLUETOOTH対応機器を本機に登録(ペアリング)してください。
- 最大5台のBLUETOOTH対応機器を登録することができます。

1 本機のソース(音源)を「BLUETOOTH」にする

リモコン: BLUETOOTH ►/II を押す
本体: SOURCE をくり返し押して「BLUETOOTH」を選び、○を押す

2 メニューを表示して「接続機器登録」を選び、決定を押す

3 (接続機器を操作します)
BLUETOOTHの設定を「ON」にし、表示された機器名「NX-TC40」を選んで登録する

ペアリングが完了すると、本機ディスプレイに「登録しました」と表示されます。
- 登録処理が5分経過しても完了しない場合は、自動で中止されます。手順1からやり直してください。
- 最大登録数(5台)を超えて登録すると、接続履歴が古いものから上書きされます。
- 接続機器がBLUETOOTH2.1+EDRに対応している場合、接続機器と本機のディスプレイに6けたのPINコードが表示されることがあります。それらの数字が一致していることを確認してから登録処理を行なってください。
- 接続機器がBLUETOOTH2.1+EDRに対応していない場合、接続機器側でPINコード(パスキー)の入力を求められることがあります。その場合は、本機のPINコード「0000」を入力してください。
- 他にも設定が必要な場合があります。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- 本機に接続する機器は、以下に対応している必要があります。
  BLUETOOTHバージョン:
  - BLUETOOTH標準規格 Ver. 2.0+EDRまたは 2.1+EDR

  BLUETOOTHプロファイル:
  - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
  - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- 機器によっては正常に動作しない場合があります。

登録済みの機器を選んで再生する

すでに機器を登録している場合は、登録処理をすることなく接続することができます。

- **あらかじめ、接続機器のBLUETOOTHの設定を「ON」にしておいてください。**

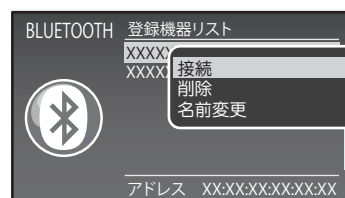
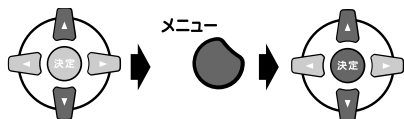
1 本機のソース（音源）を「BLUETOOTH」にする

リモコン： [BLUETOOTH ▶/II] を押す

本体： [SOURCE] をくり返し押して「BLUETOOTH」を選び、を押す

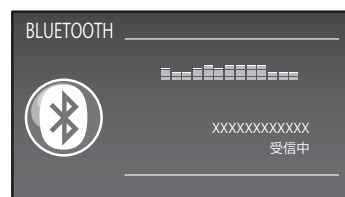
最後に選ばれていた接続機器に対して接続を試みます。そのままでよい場合は手順４へ、他の機器を選びたい場合は、接続を解除（➡49ページ）してから手順２へ進んでください。

2 メニューを表示して「登録機器リスト」を選び、[決定] を押す

3 機器を選んでから、メニューを表示して「接続」を選び、[決定] を押す

- しばらくしても接続処理が完了しない場合は、自動で中止されます。手順1からやり直してください。
  それでも接続できない場合は、機器を登録し直してください。
  （➡47ページ）

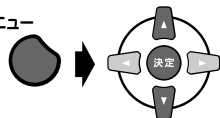
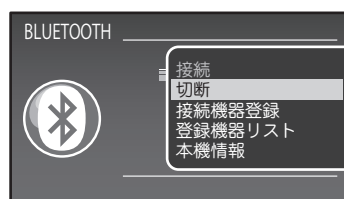
4 接続機器側で音楽を再生する

本機のスピーカーから音が出ます。

- 本機のリモコンを使って、基本的な操作を行うことができます。（本体のボタンも使えます。）
  - 再生／一時停止：[BLUETOOTH ▶/II]
  - 曲の選択：[|◀◀]／[▶▶|]
  - 停止：[停止 ■]
- 音量は本機側で調節してください。

お知らせ

接続機器によっては、本機から操作できないことがあります。その場合は、接続機器側で再生などの操作を行なってください。

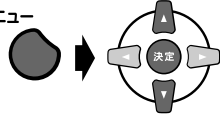
接続を解除する

1 メニューを表示して「切断」を選び、 を押す

「受信中」の表示が「待機中」に変わります。再度接続するには、メニューを表示して「接続」を選んでください。

お知らせ

以下の場合は、自動的に接続が解除されます。
ー本機のソース(音源)を「BLUETOOTH」以外に変えたとき。
ー本機の電源を切ったとき。
ー接続機器側で接続を解除したとき。(本機ディスプレイに「切断されました」と表示されます。)

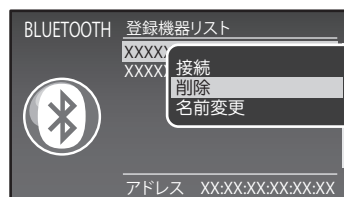
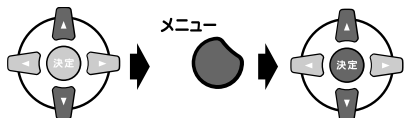
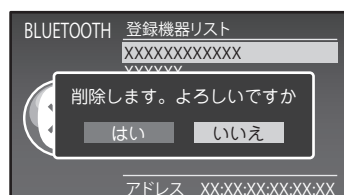
本機情報を表示する

本機のBLUETOOTHアドレス情報を表示することができます。

1 メニューを表示して「本機情報」を選び、 を押す

登録機器をリストから削除する

お知らせ

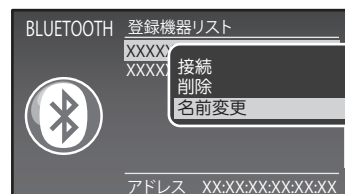
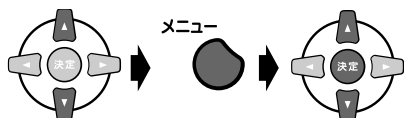
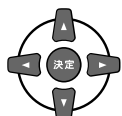
BLUETOOTH受信中はこの操作を行なうことはできません。あらかじめ接続を解除してください。(➡上記)

1 登録機器リストで機器を選んでから、メニューを表示して「削除」を選び、決定 を押す

2 「はい」を選び、決定 を押す

登録機器の名前を変更する

本機で表示される登録機器の名前を変更することができます。
• 登録機器側での名前は変更されません。

お知らせ

BLUETOOTH受信中はこの操作を行なうことはできません。あらかじめ接続を解除してください。(➡49ページ)

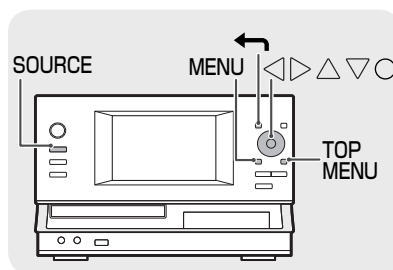
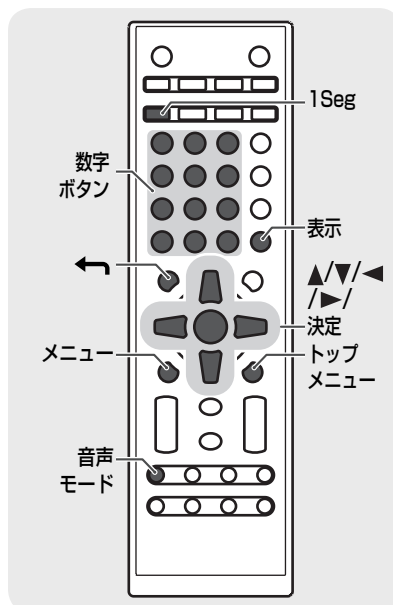
1 登録機器リストで機器を選んでから、メニューを表示して「名前変更」を選び、決定を押す

2 名前を入力し、「決定」を選んで決定を押す

• 文字入力の方法は、「文字入力のしかた」(➡89ページ)をご覧ください。

アンテナを接続する(➡11ページ)

■ワンセグとは

移動体向け地上デジタル放送のことです。
1チャンネル(6MHz)の帯域を13個の帯域(セグメント)に分け、そのうちの1セグメントを移動体向けに利用していることから「ワンセグ」と呼ばれます。

- ワンセグはテレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- ワンセグは受信エリアが限定されます。受信エリア内でも、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所などがある環境では受信できないことがあります。
- ワンセグの詳細については下記のホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp/
- ワンセグ放送を行なっていない放送局もあります。

お知らせ

- **本機でワンセグ放送を録画・録音することはできません。**
- **本機でワンセグテレビの画面の明るさや画質を調節することはできません。**
- 本機は、双方向サービス、データ放送、緊急警報放送には対応しておりません。
- 一部の放送局では、時間帯によって、1つのチャンネルで複数の番組を放送する「複数サービス」を行なっています。本機は複数サービスの視聴に対応しています。
- ワンセグは画面が小さい移動体向けの放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでなかったりすることがあります。

はじめて本機でワンセグテレビを見る

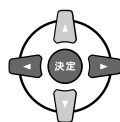
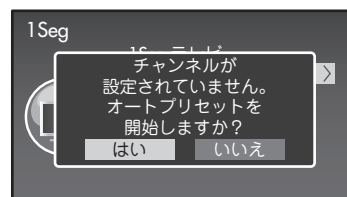
受信可能なチャンネルをプリセットします。(初回オートプリセット)

1 ソース(音源)を「1Seg」に切り換える

リモコン: [1Seg] を押す

本体: [SOURCE] をくり返し押して「1Seg」を選び、[○] を押す

オートプリセット開始のメッセージが表示されます。

2 「はい」を選び、[決定] を押す

チャンネルスキャンが始まります。
チャンネルスキャンが終わると、「オートプリセットが終了しました」と表示されて、受信可能なチャンネルがプリセットされます。
ワンセグテレビを見られるようになります。

お知らせ

受信状態によって、プリセットされるチャンネルが変わります。
アンテナを調節したときや、本機の位置を変えたときなど、受信状態が変わったときは、オートプリセットを行うことをおすすめします。(➡53ページ)

■ワンセグテレビを見る

1 ソース(音源)を「1Seg」に切り換える

1Seg

前回見ていたチャンネルが映ります。

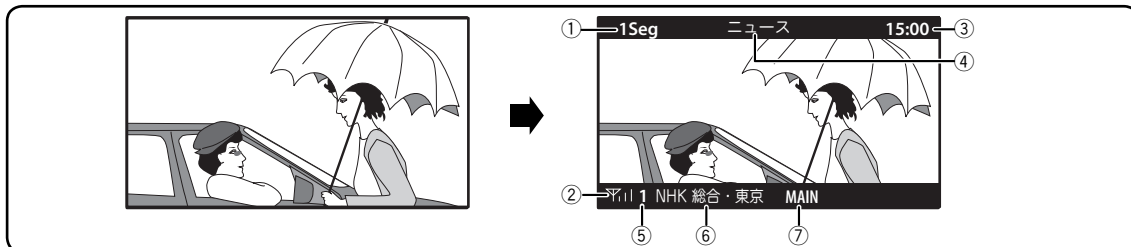
2 チャンネルを選ぶ

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10 0 ≧10

お知らせ

- [◄]/[►]/[▲]/[▼]でもチャンネルを選ぶことができます。
- 複数サービスを行なっているチャンネルの番組を選ぶには、[◄]/[►]/[▲]/[▼]を押します。数字ボタンでは、メインの番組のみを選ぶことができます。
- 受信状態や受信電波が悪く、ワンセグテレビが映らないときは「受信できません」と表示されます。
  受信できないときは、本機の位置やアンテナの角度を調節してください。それでも受信できないときは、外部アンテナを接続してください。(➡11ページ)
- 視聴予約をするには、「再生タイマーを使う」(➡97ページ)をご覧ください。

▶ 画面表示

決定 を押すと、受信情報を一時的に表示します。

①ソース(音源)名
②受信レベル
- :　受信できない状態
- / / :　アンテナの数が多いほど、受信状態が良好なことを示します。

③時刻*
④番組名
⑤チャンネル番号
⑥放送局名
⑦音声モード

* 放送局から送られてくる時刻が表示されます。

受信可能なチャンネルをプリセットする（オートプリセット）

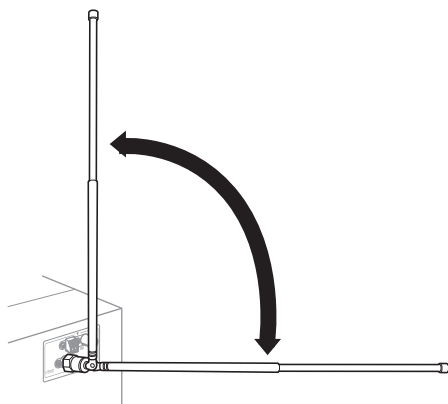
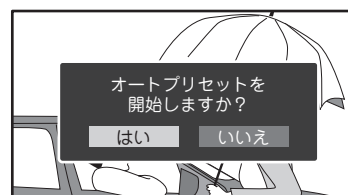
本機の位置を変えたり、アンテナを調節したりして受信状態が変わったときは、受信可能なチャンネルをプリセットしなおしてください。

1 視聴画面でメニューを表示して「オートプリセット」を選び、 を押す

確認画面が表示されます。

2 「はい」を選び、 決定 を押す

オートプリセットが始まり、受信可能なチャンネルがチャンネルリストに登録されます。

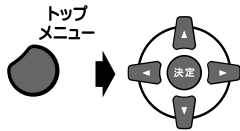
- ロッドアンテナ（付属品）を接続している場合は、アンテナの角度を調節して、数回オートプリセットを行い、受信状態が最良のポイントを見つけてください。

お知らせ

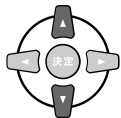
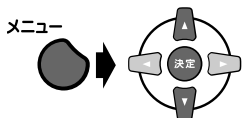
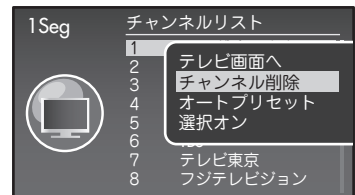
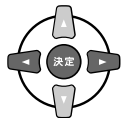
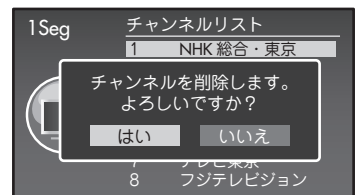
- 地域、受信環境、設置場所によっては受信できない場合があります。
- 安定した受信のため、外部アンテナ（市販品）の使用をおすすめします。（➡11ページ）
- 外部アンテナ使用時は、UHFアンテナをご使用ください。
- CATV（ケーブルテレビ）に接続の際は、CATV会社の送信方式が同一周波数パススルー方式である必要があります。詳細は、ご契約のCATV会社へお問い合わせください。

▶ プリセットしたチャンネルをチャンネルリストから削除する

1

①トップメニューを表示して「1Seg」を選び、決定 を押す

②「チャンネルリスト」を選び、決定 を押す

チャンネルリストが表示されます。

2 削除したいチャンネルを選ぶ

3 メニューを表示して「チャンネル削除」を選び、決定 を押す

確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定 を押す

選んだチャンネルがチャンネルリストから削除されます。

▶ 一度に複数のプリセットしたチャンネルをチャンネルリストから削除する

手順1のあとにメニューから「選択オン」を選び、削除したいチャンネルに 決定 を押してチェックマークをつけて、手順3に進みます。

お知らせ

- チェックマークのついたチャンネルが削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度 決定 を押します。
- すべてのチャンネルにチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

チャンネルリストからチャンネルを選ぶ

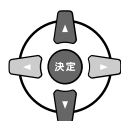
1

① **トップメニューを表示して「1Seg」を選び、** **を押す**

② **「チャンネルリスト」を選び、 を押す**

チャンネルリストが表示されます。

2

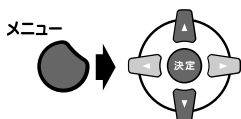
チャンネルを選び、 **を押す**

視聴画面に切り換わります。

お知らせ

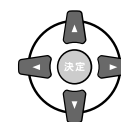
- 手順2でメニューから「テレビ画面へ」を選んでもチャンネルを切り換えることができます。
- 放送局や中継局が混在する地域では、複数の放送局が1つのチャンネルで受信される場合があります。その場合、チャンネル番号は「1-1・・・」「1-2・・・」と表示されます。
- 複数サービスを行なっている放送局も１つのチャンネルとして表示されます。

番組表から番組を探す

1

視聴中にメニューを表示して「番組表」を選び、 **を押す**

番組表が表示されます。

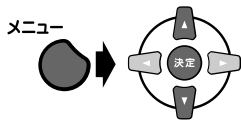
2

チャンネルと番組を選ぶ

[◀]/[▶]: **チャンネルを切り換えます。**

- 数字ボタンでもチャンネルを切り換えることができます。

[▲]/[▼]: **番組を選びます。**

3

メニューを表示して「視聴」を選び、 **を押す**

視聴画面に切り換わります。

- 選んだ番組が放送中ではないときは、「視聴」を選ぶことができません。

お知らせ

トップメニューから「1Seg」を選んで 決定 を押し、「番組表」を選んで 決定 を押しても番組表を表示することができます。

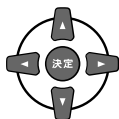
番組の内容を見る

1 番組表を表示する（➡55ページ）

2 チャンネルと番組を選び、を押す

[◀]/[▶]：**チャンネルを切り換えます。**
- 数字ボタンでもチャンネルを切り換えることができます。

[▲]/[▼]：**番組を選びます。**

1Seg 番組表
15:15 料理教室
15:45 とっておき News
16:00 気象予報
16:05 とびっきり社会
16:50 とっても料理
16:55 とっておき News
17:05 歴史教室
1 NHK 総合・東京

番組の内容が表示されます。
番組表に戻るには [⮨] または を押してください。

お知らせ

視聴中にメニューから「番組内容」を選んでも、番組内容を見ることができます。

■ワンセグテレビの設定を変える

音声を切り換える

1 視聴中に 音声モード を押す

押すごとに次のように切り換わります。

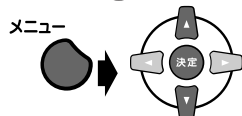
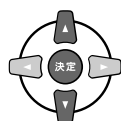
ディスプレイ表示	設定
● MAIN	主音声を選びます。
SUB	副音声を選びます。

●：お買い上げ時の設定

お知らせ

視聴中にメニューから「音声モード」を選んでも、音声を切り換えることができます。

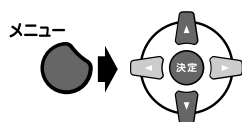
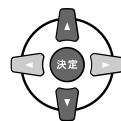
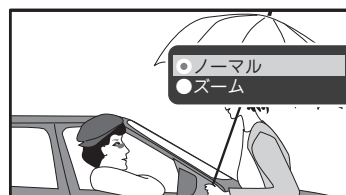
字幕または受信情報を表示する

1 視聴中にメニューを表示して「字幕・情報表示」を選び、決定を押す

2 表示したい内容を選び、決定を押す

オフ	通常の映像表示です。
情報表示	番組情報(番組名、チャンネル名)、現在時刻、受信状態()と音声モード(MAINまたはSUB)を表示します。(➡**52**ページ)
字幕表示	字幕を表示します。

お知らせ

「字幕・情報表示」の設定が「オフ」または「字幕表示」のとき、視聴中に 決定 を押すと、受信情報を一時的に表示することができます。(➡**52**ページ)

映像の表示サイズを変更する

1 視聴中にメニューを表示して「表示方法」を選び、決定を押す

2 表示サイズを選び、決定を押す

ノーマル	通常のサイズで表示します。
ズーム	映像を拡大します。

お知らせ

視聴中に を押しても、表示サイズを変更できます。

写真を見る

USB機器や本体メモリーにコピーした写真（JPEGファイル）を本機のディスプレイに表示してデジタルフォトフレームとして楽しんだり、壁紙に登録することができます。

- **本体メモリーへのコピーについては61ページをご覧ください。**
- 壁紙の登録については64ページをご覧ください。
- USB機器に入っている写真を見るときは27、28ページもご覧ください。

■写真を再生する

他のソース(音源)を聞きながら写真を見ることができます。

1 写真の入っているUSB機器を本機に接続する（➡30ページ）、または写真を本体メモリーにコピーしておく（➡61ページ）

2 ソースを「PHOTO」に切り換える

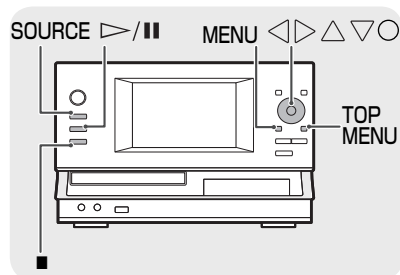
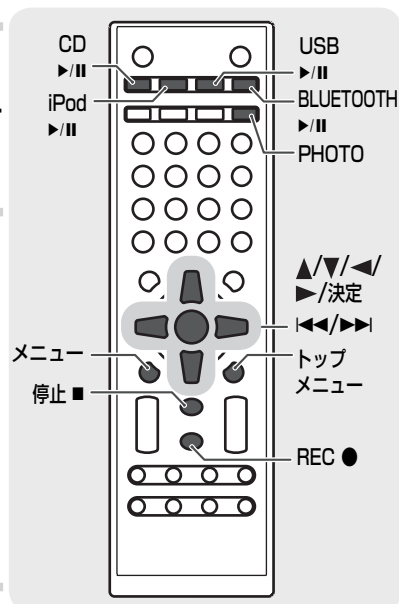
リモコン：PHOTO を押す

本体：SOURCE をくり返し押して「PHOTO」を選び、○ を押す

- メディアの選択画面（「本体メモリー」または「USB」）が表示されたときは、見たい写真が入っているメディアを選び、決定 を押します

3 フォルダ・写真を選び、決定 を押す

選んだ写真が表示されます。

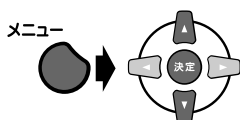
- 他の写真を見るときは、[▲]/[▼]を押します。

お知らせ

- 写真の入っているフォルダまたは写真の一覧を表示しているときに、表示 を押して一覧の表示形式を変更することができます。 表示 を押すごとに、表示形式が変わります。（ファイル名のみ、ファイル名とサムネイル画像、サムネイル画像のみ）
  - 一覧を表示しているときに、メニューから「ファイル表示形式」で表示したい形式（「ファイル名のみ」、「サムネイルあり」または「サムネイルのみ」）を選んでも、変更できます。
  - 「サムネイルあり」または「サムネイルのみ」に設定しているときは、サムネイル画像のない写真は、サムネイル画像の代わりに縮小された写真が表示されます。写真によっては縮小された写真が表示されないことがあります。

▶ 写真の表示中に他のソース(音源)の操作をする

写真を表示中に[CD ▶/❚❚]/[iPod ▶/❚❚]/[USB ▶/❚❚]/[BLUETOOTH ▶/❚❚]/[|◀◀]/[▶▶|]/[■]/数字ボタンで再生中のソース(音源)の操作をすることができます。

▶ 再生中のソース(音源)の再生画面に戻る

1 写真の表示中にメニューを表示して「再生画面に移動」を選び、決定 を押す

再生中のソース(音源)の再生画面を表示します。

▶ スライドショー再生をする

1 写真の表示中に PHOTO を押す

再生中のフォルダの中の写真を順番に表示します。

- スライドショーを停止するには、もう一度 PHOTO を押します。

お知らせ

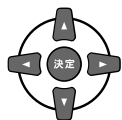
- スライドショーの開始/停止は、メニューから「スライドショー開始」/「スライドショー停止」を選んで 決定 を押しても行なうことができます。
- スライドショー再生中の写真の表示間隔を設定することができます。メニューから「スライドショー間隔」を選び、「速い」、「標準」、「遅い」から選んで 決定 を押します。

写真の表示方法を変える/情報を表示する

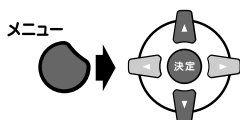
写真の回転、視覚効果の設定、表示サイズの変更、ファイル情報の表示をすることができます。

1 ソースを「PHOTO」に切り換える(➡58ページ)

- メディアの選択画面(「本体メモリー」または「USB」)が表示されたときは、見たい写真が入っているメディアを選び、決定 を押します。

2 フォルダ・写真を選び、決定 を押す

選んだ写真が表示されます。

- 他の写真を見るときは、[▲]/[▼]を押します。

3 メニューを表示して再生方法を選び、決定 を押す

さらに設定する項目があるときは[▲]/[▼]で選び、 決定 を押します。

- 設定できる項目については60ページをご覧ください。

準備 / 基本操作 / テレビ / 写真 / 録音 / 再生(応用) / 編集 / タイマー / 設定 / その他

▶ 写真切り換え時の視覚効果を設定する

59ページの手順3で「視覚効果」を選んで 決定 を押し、効果を選んで を押します。

▶ 写真の表示方法を切り換える

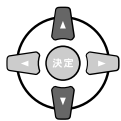
59ページの手順3で「表示方法」を選んで 決定 を押し、表示サイズを選んで 決定 を押します。

ノーマル　画面のサイズに合わせて写真全体を表示します。
ズーム　画面の黒帯がなくなるように写真を拡大します。

お知らせ

 を押しても、表示サイズを変更できます。

▶ 写真を回転する

1 [▲]/[▼]を2秒押し続ける

▲：右回りに90度回転します。
▼：左回りに90度回転します。

お知らせ

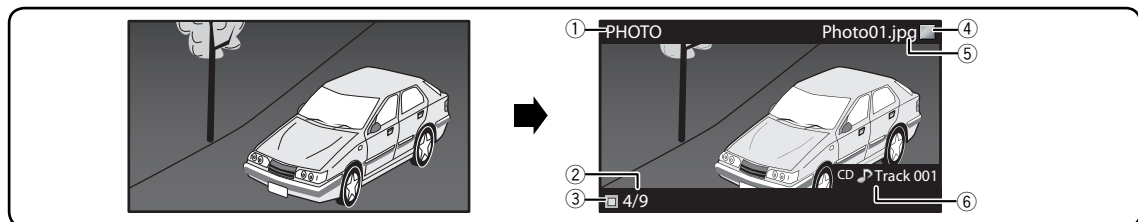
59ページの手順3で「回転」➔「左90度」または「右90度」を選んでも、写真を回転させることができます。

▶ 写真のファイル情報を表示する

59ページの手順3で「情報表示」を選んで 決定 を押して、情報の表示/非表示を選び、決定 を押します。

オフ　写真のみを表示します。
オン　ファイル名、ファイル番号、フォルダの中の総ファイル数を表示します。

▶ 画面表示

決定 を押すとファイル情報を一時的に表示します。

①ソース表示
②ファイル番号/ファイル総数
③スライドショーの動作アイコン(►：再生、■：停止)
④再生中の他のソース(音源)の動作アイコン(►：再生、■：停止、II：一時停止)
⑤ファイル名
⑥再生中の他のソース(音源)名と曲名(ファイル名)

■写真をコピーする

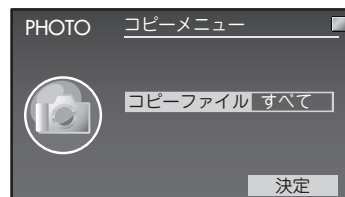
JPEGファイルを、USB機器から本体メモリー(128 MB)に、または本体メモリーからUSB機器にコピーすることができます。

1 コピーしたい写真を再生する(➡58ページ)

2 [REC ●]を押す

コピーメニューが表示されます。

3 コピーの方法を選び、[決定]を押す

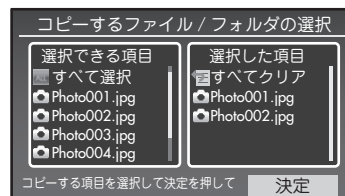
1ファイル	選んだ写真だけをコピーします。
選択	複数の写真を選んでコピーします。
すべて	選んだ写真を含むフォルダ内の写真をすべてコピーします。

4 [▼]を押して画面の「決定」を選び、[決定]を押す

コピーが始まります。
コピーが終わると、「コピーが終了しました」と表示されます。

手順3で「選択」を選んだときは、コピーする写真の選択画面が表示されます。

① **[▲]/[▼]でコピーする写真を選び、[決定]を押して「選択した項目」に追加します。**
② **写真の選択が終わったら[▶]で画面の「決定」を選び、[決定]を押してコピーを開始します。**

- 写真の選択を解除するときは「選択した項目」からコピーをやめる写真を選び、[決定]を押します。
- 選択したすべての写真のコピーをやめるには、「すべてクリア」を選び、[決定]を押します。

コピーするファイル / フォルダの選択
選択できる項目: すべて選択 / Photo001.jpg / Photo002.jpg / Photo003.jpg / Photo004.jpg
選択した項目: すべてクリア / Photo001.jpg / Photo002.jpg
コピーする項目を選択して決定を押して　決定

お知らせ

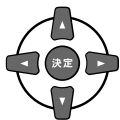
- 再生画面でメニューから「コピー」を選んでもコピーメニューを表示することができます。
- 手順4で[REC ●]を押してもコピーを開始することができます。
- USB機器または本体メモリーの空き容量については107ページをご覧ください。

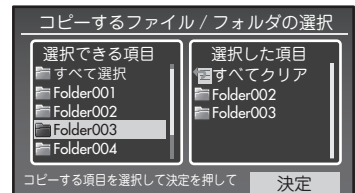
▶ フォルダごと写真をコピーする

1 コピーしたいフォルダの一覧を表示する(➡58ページ)

2 REC を押す

コピーするフォルダの選択画面が表示されます。

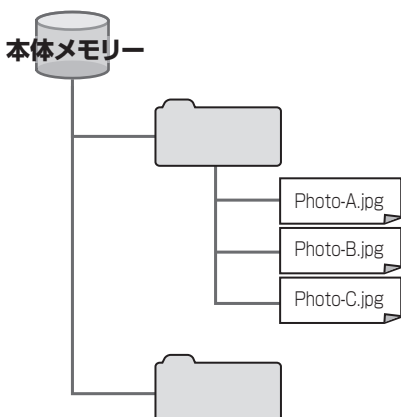
3 コピーするフォルダを選ぶ

① [▲]/[▼]でコピーするフォルダを選び、決定を押して「選択した項目」に追加します。
② フォルダの選択が終わったら[▶]で画面の「決定」を選び、決定を押してコピーを開始します。

- 写真の選択を解除するときは「選択した項目」からコピーをやめるフォルダを選び、決定を押します。
- 選択したすべてのフォルダのコピーをやめるには、「すべてクリア」を選び、決定を押します。

お知らせ

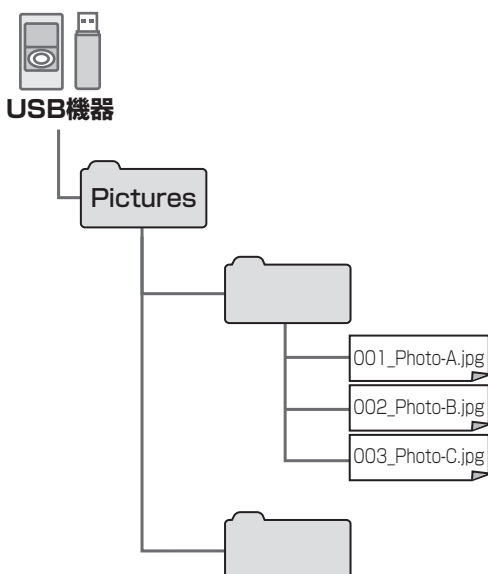
再生画面でメニューから「コピー」を選んでもコピーメニューを表示することができます。

コピーされた写真の管理について

▶ USB機器から本体メモリーにコピーしたとき

自動的にフォルダが作られ、その中に写真が保存されます。

- **フォルダ名について:**
  - 日時が設定されているとき:
    写真をコピーした日付と時刻がフォルダ名としてつけられます。
    例:2011年9月1日15時30分にコピーしたときは、「フォト_1109011530」というフォルダが作られます。
  - 日時が設定されていないとき:
    「フォト_日時なし」というフォルダが作られます。
- **ファイル名について:**
  コピー元のファイル名がそのまま反映されます。
  - コピー元のファイル名が「001_xxx.jpg」という形の場合、コピーされたファイルは「xxx.jpg」という形になります。
- **本体メモリーのデータ数の制限について:**
  - 最大再生対応ファイル数:5000
  - 1フォルダあたりの最大ファイル数:999
  - ファイルとフォルダの最大総数:20000
  - 最大フォルダ階層数:6

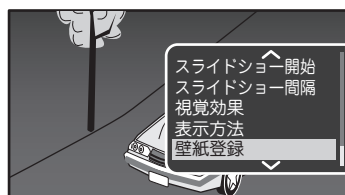
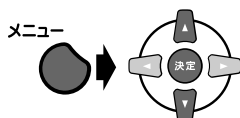
▶ 本体メモリーからUSB機器にコピーしたとき

「Pictures」フォルダの中に自動的にフォルダが作られ、その中に写真が保存されます。

- **フォルダ名について:**
  - 日時が設定されているとき:
    写真をコピーした日付と時刻がフォルダ名としてつけられます。
    例:2011年9月1日15時30分にコピーしたときは、「フォト_1109011530」というフォルダが作られます。
  - 日時が設定されていないとき:
    「フォト_日時なし」というフォルダが作られます。
- **ファイル名について:**
  「001_ファイル名.jpg」、「002_ファイル名.jpg」・・・と名前がつけられます。
- **USB機器のデータ数の制限について:**
  - 最大再生対応ファイル数:5000
  - 1フォルダあたりの最大ファイル数:999
  - ファイルとフォルダの最大総数:20000
  - 最大フォルダ階層数:7

■写真を壁紙や自動切替表示用として登録する

写真を壁紙に設定する

1 壁紙に設定したい写真を表示する（➡58ページ）

2 メニューを表示して「壁紙登録」を選び、 を押す

3 配色を選び「決定」を選んで、決定 を押す

[▲]/[▼]： 配色を選びます。
[◀]/[▶]：「決定」を選びます。

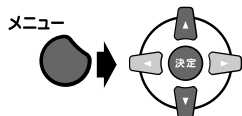
お知らせ

- 壁紙に登録できる写真は1枚のみです。
- お買い上げ時に登録されている壁紙に変更したいときは、**104**ページをご覧ください。

写真を自動切替表示用の写真として登録する（フォト登録）

お好みの写真を、一定の時間操作をしないときに表示される写真として登録することができます。

1 登録したい写真を表示する（➡58ページ）

2 メニューを表示して「フォト登録」を選び、 を押す

「登録しました」と表示されます。

お知らせ

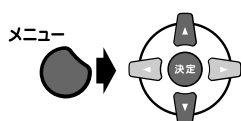
- フォト登録できる写真は1枚のみです。
- 自動切替表示設定の変更は**103**ページをご覧ください。

■お気に入りを使う

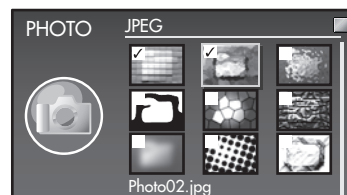
お気に入りに登録する

お気に入りに登録した写真は、本体メモリーの「お気に入りフォト」フォルダにコピーされます。

1 登録したい写真を表示する（➡58ページ）

2 メニューを表示して「お気に入り登録」を選び、決定を押す

「お気に入りに登録しました」と表示されたあと、再生画面に戻ります。

▶ 一度に複数の写真をお気に入りに登録する

トップメニューから「PHOTO」を選んで 決定 を押し、「本体メモリー」または「USB」を選んで 決定 を押し、お気に入りに登録したい写真を含むフォルダを選び、決定 を押します。
メニューから「選択オン」を選び、決定 を押します。
選択画面でお気に入りに登録したい写真に 決定 を押してチェックマークをつけて、手順2に進みます。

お知らせ

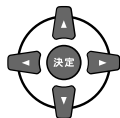
- チェックマークのついた写真がお気に入りに登録されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度 決定 を押します。
- 選んだフォルダ内のすべての写真にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。
- 写真をお気に入りに登録すると、一定の時間本機を操作しないときに登録した写真が表示されるように設定できます。（➡103ページ）

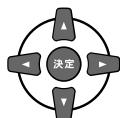
お気に入りの写真を見る

1 ソースを「PHOTO」に切り換える（➡58ページ）

（➡58ページ）

- メディアの選択画面（「本体メモリー」または「USB」）が表示されたときは、「本体メモリー」を選び、決定 を押します。

2 「お気に入りフォト」を選び、 を押す

お気に入りに登録した写真の一覧が表示されます。

3 見たい写真を選び、 を押す

選んだ写真が表示されます。

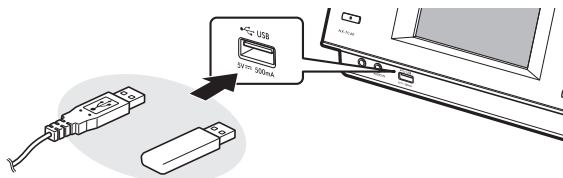
- 他の写真を見るときは、[▲]/[▼]を押します。

録音する

USB機器に録音することができます。

■録音の準備をする

録音先の準備をする

USB機器を本機のUSB端子に接続します。

お知らせ

パソコンなど他の機器で使用したUSB機器は、中のデータをパソコンや別のUSB機器に保存したあと、本機でフォーマットしてからのご利用をおすすめします。(➡108ページ)このとき、USB機器内のデータはすべて消去されます。

録音できるUSB機器について

▶ デジタルオーディオプレーヤー

MSC(USBマスストレージ規格)またはMTPに対応し、Microsoft® Windows Media® Playerで音楽ファイルを転送できるプレーヤー

- **日本ビクター製デジタルオーディオプレーヤー 対応機種**
（すでに生産を完了しています。）

種類	対応USB形式
XA-Vシリーズ、XA-C210/C110/C51、XA-C109/C59/XA-Mシリーズ	MTP/MSC
XA-S/XA-F/XA-E/XA-MPシリーズ	MSC

▶ USBフラッシュメモリー

MSC(USBマスストレージ規格)に対応している機器

お知らせ

- USB機器にはさまざまな種類と仕様のものがあるため、録音時の動作を完全に保証することはできません。
- 録音中はUSBケーブルまたは接続機器を抜かないでください。

ご注意

プロテクト機能付きの場合は、解除してから接続してください。

USB機器への録音について

▶ USB機器に録音したときの転送レート

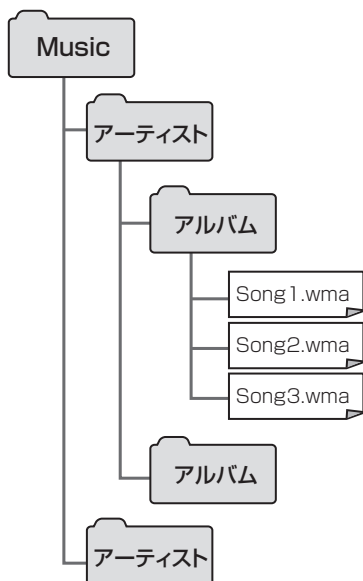
録音品質 / 圧縮方式	HQ	SP	LP
MP3	192kbps	128kbps	64kbps
WMA	128kbps	96kbps	64kbps

お知らせ

録音品質(HQ、SP、LP)は混在させて録音できます。

■USB機器に録音された曲の管理について

▶ フォルダ構造とフォルダの名前について

以下のような構造のフォルダがUSB機器の中に自動的に作られます。
アーティストフォルダ、アルバムフォルダは録音元ソースの情報に基づいて名前が付けられます。

・**CDから録音したときのフォルダ名:**

	グループ再生のとき	ノーマル再生のとき
アーティスト	CD	CD
アルバム	グループ名	Album001、Album002…

・**ラジオから録音したときのフォルダ名:**

	プリセット名があるとき	プリセット名がないとき
アーティスト	バンド(FMまたはAM)	バンド(FMまたはAM)
アルバム	プリセット名_日付*	バンド_周波数_日付*

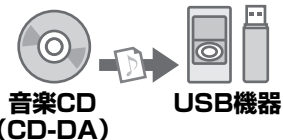
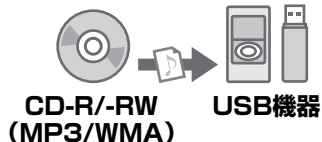
* 日付·時刻の設定がされていないときは、表示されません。

・**外部機器から録音したときのフォルダ名:**

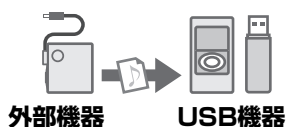
アーティスト	Audio_IN
アルバム	Audio_IN001、Audio_IN002…

お知らせ

USB機器に録音した曲を聞くときは、「録音元のソース(音源)から曲を探す」(➡35ページ)をご覧ください。

▶ ファイルの名前について

001_Track001.wma、002_Track002.wma…

- 曲情報なし：001_ファイル名.wma、002_ファイル名.wma…
- 曲情報あり：001_曲名.wma、002_曲名.wma…

- プリセット名なし：001_バンド_周波数_時刻(曜日)*_001.wma…
- プリセット名あり：001_プリセット名_時刻(曜日)*_001.wma…

* 日付・時刻の設定がされていないときは、表示されません。

001_Audio_IN001.wma、002_Audio_IN002.wma…

お知らせ

- 録音の圧縮方式をMP3にしているときは、「.wma」が「.mp3」となります。
- 「ファイル名」と記載しているところは、録音元と同じファイル名になります。
- USB機器に録音した曲を聞くときは、「録音元のソース（音源）から曲を探す」（➡35ページ）をご覧ください。

■CDから録音する

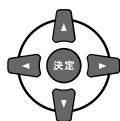
1 録音先のUSB機器を準備する（➡67ページ）

2 ソース（音源）を「CD」に切り換えて、停止する

- 1曲だけ録音したい場合は、録音したい曲を選んでください。（➡23ページ）

3 を押す

録音メニューが表示されます。

4 録音の設定をする

① **設定したい項目を選び、決定 を押す**
② **設定を選び、決定 を押す**

■**録音曲**

1曲：	選んだ1曲だけを録音します。
選曲：	複数の曲を選んで録音します。
全曲：	CD内の曲をすべて録音します。

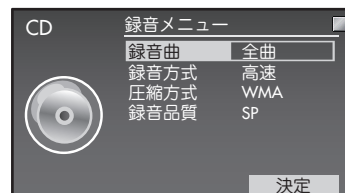
■**録音方式**

高速：	高速でデジタル録音します。（最大約4倍速）
標準：	通常の速さ（1倍速）でデジタル録音します。
アナログ：	通常の速さ（1倍速）でアナログ録音します。

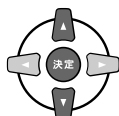
■**圧縮方式**

MP3：	MP3で録音します。
WMA：	WMAで録音します。

■**録音品質**

HQ：	高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。
SP：	標準的な音質で録音します。
LP：	録音できる曲数が多くなりますが、音質は劣ります。

お知らせ

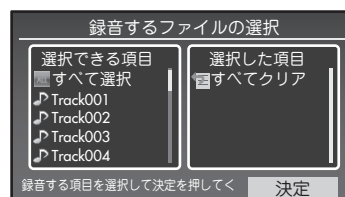
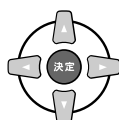
- 音楽CD以外を録音するときは、「アナログ」以外を選ぶことができません。
- 「標準」または「アナログ」を選んだときは、曲を聞きながら録音できます。

5 画面の「決定」を選び、決定 を押す

録音が始まります。

• [REC ●]を押して録音を開始することもできます。

手順4の「録音曲」で「選曲」を選んだときは、録音する曲の選択画面が表示されます。

① [▲]/[▼]で録音する曲を選び 決定 を押して「選択した項目」に追加します。(最大で999曲選択できます。)

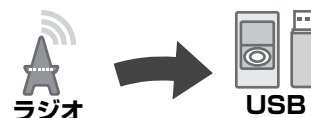
② 曲の選択が終わったら[▶]で画面の「決定」を選び、決定 を押して録音を始めます。

6 「録音が終了しました」と表示されたら、決定 を押す

ご注意

ランダム再生中は、選択している1曲のみ録音することができます。

お知らせ

- 再生画面でメニューから「録音設定」を選んでも録音の設定をすることができます。
- 録音設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 録音を途中でやめるには、[停止 ■]を押します。

■ラジオを録音する

ラジオ放送をUSB機器に録音します。

1 録音先のUSB機器を準備する（➡67ページ）

- MTP接続したUSB機器には録音できません。必ずMSCで接続してください。（➡29ページ）

2 ソース（音源）を「FM」または「AM」にする

FM/AM

3 録音したい放送局に周波数を合わせる（➡40ページ）

4 REC を押す

録音メニューが表示されます。

5 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、 を押す
② 設定を選び、 を押す

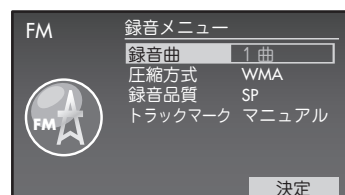
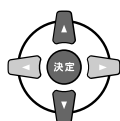
■圧縮方式

MP3：　MP3で録音します。
WMA：　WMAで録音します。

■録音品質

HQ：　高音質で録音します。SP、LPに比べて、録音できる時間は短くなります。
SP：　標準的な音質で録音します。
LP：　録音できる時間が長くなりますが、音質は劣ります。

■トラックマーク

マニュアル：　手動でトラックマークをつけます。（➡73ページ）
タイム：　5分間隔でトラックマークをつけます。
オート：　2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつけます。

6 画面の「決定」を選び、決定を押す

録音が始まります。
- [REC ●]を押しても録音を開始することができます。

- トラックマークの設定を「マニュアル」または「オート」にしているときは、[REC ●]を押した位置にトラックマークをつけることができます。「トラックマーク作成中です」と表示されます。

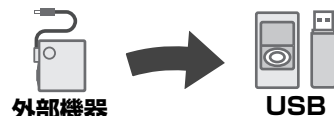
7 録音を止めたいところで停止を押す

録音が停止します。

「録音が終了しました」と表示されたら 決定 を押してください。

お知らせ

- 再生画面でメニューから「録音設定」を選んでも録音の設定をすることができます。
  – あらかじめメニューから「トラックマーク」を選んで、トラックマークの付けかたを設定しておいてください。
- 録音設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- トラックマークをつけると、そこから別の曲として録音されます。内容に合わせてトラックマークをつけておくと便利です。(再生時にトラック間に無音が発生します。)
- ラジオの受信状態や放送内容によっては、「トラックマーク」の「オート」が働かないことがあります。

■外部機器から録音する

MDプレーヤーや携帯電話などをAUDIO IN端子に接続して、USB機器に録音します。

- あらかじめ入力レベルを調節しておいてください。(➡45ページ)

1 録音先のUSB機器を準備する(➡67ページ)

- MTP接続したUSB機器には録音できません。必ずMSCで接続してください。(➡29ページ)

2 録音元の機器を接続する(➡44ページ)

3 ソース(音源)を「AUDIO IN」にする

AUDIO IN

4 REC ● を押す

録音メニューが表示されます。

5 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、決定 を押す
② 設定を選び、決定 を押す

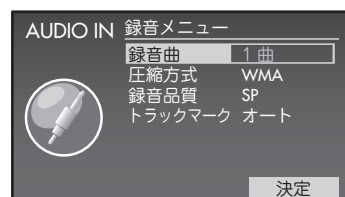
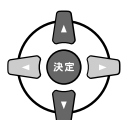
■圧縮方式

MP3: MP3で録音します。
WMA: WMAで録音します。

■録音品質

HQ: 高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる時間は短くなります。
SP: 標準的な音質で録音します。
LP: 録音できる時間が長くなりますが音質は劣ります。

■トラックマーク

マニュアル: 手動でトラックマークをつけます。(➡下記)
タイム: 5分間隔でトラックマークをつけます。
オート: 2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつけます。

6 画面の「決定」を選んで 決定 を押す

録音待機状態になります。

- [REC ●]を押しても録音待機状態にすることができます。

7 外部機器を再生する

音声が入力されると、録音が自動的に始まります。(サウンドシンクロ録音)

- トラックマークの設定を「マニュアル」または「オート」にしているときは、[REC ●]を押した位置にトラックマークをつけることができます。

8 音声の再生が終わったら、外部機器の再生を停止し、本機のを押す

録音が停止します。

「録音が終了しました」と表示されたら 決定 を押してください。

ご注意

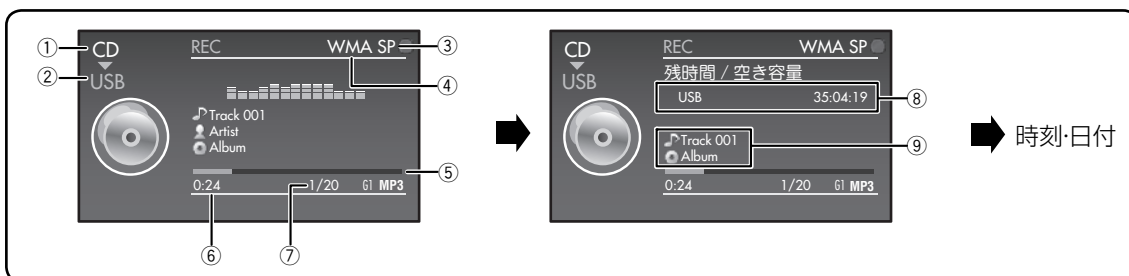
- 接続機器の音声が小さいと録音が開始できないことがあります。音量を確認し、入力レベルを調整（➡45ページ）してから録音してください。
- 接続機器の音声が小さくて自動で録音が始まらないときは、［REC ●］を押すと強制的に録音を開始することができます。（録音中に無音が30秒以上続いた場合、または音声が小さくて本機が音声を検出できない場合に、録音が自動停止します。）
- 自動で録音が始まった場合は、30秒以上の無音が続くと録音が自動停止します。

お知らせ

- 本機にマイクやレコードプレーヤーを直接接続することはできません。アンプ（市販品）をAUDIO IN 端子へ接続してから、それぞれの機器を接続してください。
  – マイク：マイクロフォンアンプまたはオーディオミキサー
  – レコードプレーヤー：フォノイコライザーアンプ
- 再生画面でメニューから「録音設定」を選んでも録音の設定をすることができます。
  – あらかじめメニューから「トラックマーク」を選んで、トラックマークの付けかたを設定しておいてください。
- 録音設定を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。
- トラックマークをつけると、そこから別の曲として録音されます。内容に合わせてトラックマークをつけておくと便利です。（再生時にトラック間に無音が発生します。）

■録音画面について

▶ 画面表示

表示 または 決定 を押すと、時刻表示やUSB機器の録音残り時間または空き容量などに表示を切り換えることができます。

①録音元ソース（音源）
②録音先ソース
③録音品質
④録音圧縮方式
⑤再生経過表示（音楽CDのみ）
⑥録音経過時間
⑦トラック番号/トラック総数
⑧USB機器の録音残り時間または空き容量*
⑨タイトル名/アルバム名

* USB機器の録音残り時間は、そのときの録音に使われる録音品質に応じて変わります。

■音質を調節する

重低音を調節する(AHB PRO)

AHB PRO(アクティブハイパーバスプロ)をオンにすると、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

1 AHB PRO を押す

押すごとに次のように切り換わります。

表示	設定
AHB PRO　オフ	通常の再生です。
● AHB PRO　オン	重低音が強調されます。

●:お買い上げ時の設定

お知らせ

- AHB PROは録音音声に影響しません。
- [設定]を押して「サウンド」➔「AHB PRO」からも設定できます。

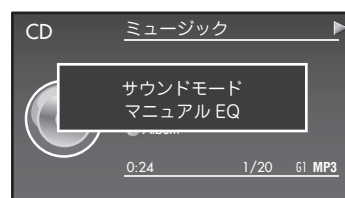
音に効果を持たせる(サウンドモード)

▶ 音楽に合わせてモードを選ぶ

1 サウンドモード を押す

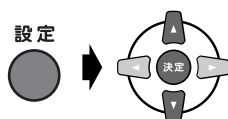
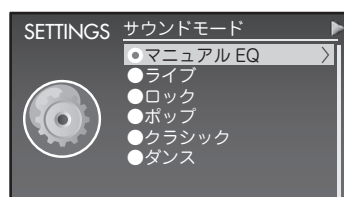
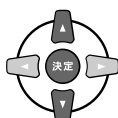
押すごとに次のように切り換わります。

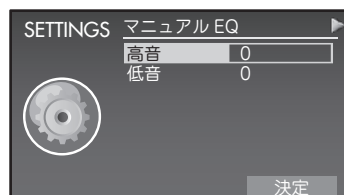
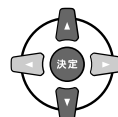
表示	設定
マニュアルEQ	お好みで設定したサウンドでお楽しみいただけます。(➡77ページ)
●ライブ	臨場感あふれる音を聞きたいときに
ロック	躍動感のある音を楽しみたいときに
ポップ	元気な音楽を楽しみたいときに
クラシック	落ち着いた雰囲気で楽しみたいときに
ダンス	軽快な音楽を楽しみたいときに

●:お買い上げ時の設定

お知らせ

- サウンドモードは録音音声に影響しません。
- [設定]を押して「サウンド」➔「サウンドモード」からもサウンドモードを設定できます。

▶ イコライザーをカスタマイズする

1 **[設定]を押して「サウンド」→「サウンドモード」→「マニュアルEQ」を選び、決定 を押す**

イコライザーの設定画面が表示されます。

2 **イコライザーの設定をする**

① **設定したい項目を選び、決定 を押す**
② **設定を選び、決定 を押す**

■**高音**：－5から+5の範囲で高音レベルの設定をします。
■**低音**：－5から+5の範囲で低音レベルの設定をします。

3 **「決定」を選び、決定 を押す**

サウンドモード選択画面が表示されます。

お知らせ

イコライザーの設定は録音音声に影響しません。

■リピート再生する

曲をくり返し再生します。

(音楽ファイルのみ)

1 停止中または再生中に リピート を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

表示	設定	ディスプレイ表示
リピートモード オフ	リピート再生を解除します。	表示なし
リピートモード 1曲	1曲だけをくり返し再生します。	
リピートモード すべて	• 現在選択中のアーティスト/アルバム/ジャンルなどに含まれるすべての曲をくり返し再生します。 • CDの全曲をくり返し再生します。	
リピートモード A-B	設定した再生区間をくり返し再生します。(USB機器のみ)	

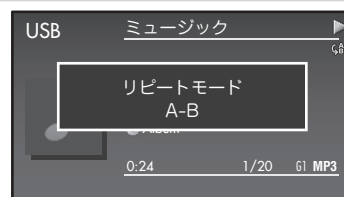
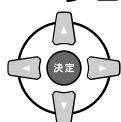
お知らせ

- iPodのリピート再生については25ページをご覧ください。
- USB機器のビデオファイルのリピート再生については37ページをご覧ください。
- メニューの「リピートモード」からもリピート再生を設定できます。
- 次の操作をすると、リピート再生は解除されます。
  - CDを取り出す
  - USB機器を取りはずす
  - 電源を切る

▶ A-Bリピートの再生区間を設定する

(音楽ファイルのみ)

1 A-Bリピートしたい曲を再生する

2 リピート をくり返し押して、「リピートモード A-B」を選び、決定 を押す

3 A-Bリピートを開始したい場所で 決定 を押す

表示が点灯し、開始点Aが設定されます。

4 A-Bリピートを終了したい場所で 決定 を押す

表示に変わり、終了点Bが設定され、設定した区間がくり返し再生されます。

▶ A-Bリピート区間を変更する

A-Bリピート中に 決定 を押して表示を に変え、手順3、4の操作を行ないます。

▶ A-Bリピートを解除する

[リピート]をくり返し押して、「リピートモード オフ」を選びます。

お知らせ

- 曲をまたいでA-Bリピートを設定することはできません。
- ソース(音源)がUSBで、本機とUSB機器をMTP接続しているときは、A-Bリピートは設定できません。本機とUSB機器の接続モードをMSCにすると、設定できます。(「USB機器の接続モードを変更する」➡29ページ)
- A-Bリピート再生中に [I◀◀][▶▶I] で曲をスキップすると、A-Bリピートが解除されます。
- 開始点Aと終了点Bは、2秒以上あけてください。

■ランダム再生する

(音楽ファイルのみ)

ランダム(無作為)な順序で再生することができます。

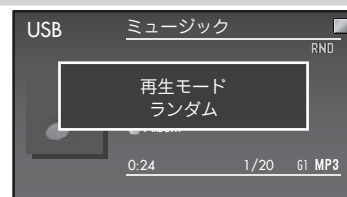
1 ランダム再生したいソース(音源)に切り換えて、停止する

2 再生/FMモード をくり返し押して、「再生モード ランダム」を選ぶ

RND表示が点灯します。

3 ソース(音源)を再生する

CD ▶/II USB ▶/II

準備 基本操作 テレビ 写真 録音 再生(応用) 編集 タイマー 設定 その他

▶ ランダム再生を解除する

停止中に[再生/FMモード]をくり返し押して、「再生モード ノーマル」を選びます。(RND 表示が消灯します。)

- 電源を切ったとき、CDを取り出したとき、USB機器を取りはずしたときも、解除されます。

お知らせ

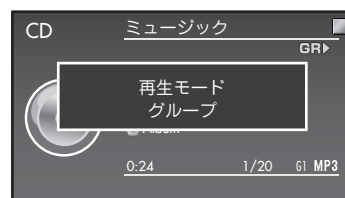
- iPodのランダム再生(シャッフル)については25ページをご覧ください。
- ランダム再生中は、再生画面のトラック番号表示部に現在再生中の曲がランダム再生の何番目かを表示します。(CDの場合は再生中の曲の曲番号を表示します。)
- メニューから「再生モード」➔「ランダム」を選んでも、ランダム再生を設定できます。

■グループ単位で再生する

MP3/WMAを記録したCD-R/-RWディスクの場合、お好みのグループだけを再生できます。

1 ソース(音源)を「CD」に切り換えて、停止する

2 [再生/FMモード] をくり返し押して、「再生モード グループ」を選ぶ

GR►表示が点灯します。

3 [グループスキップ ⏮ ⏭] をくり返し押して、再生したいグループを選ぶ

4 CDを再生する

[CD ►/II]

▶ グループ再生を解除する

停止中に[再生/FMモード]をくり返し押して、「再生モード ノーマル」を選びます。(GR►表示が消灯します。)

- 電源を切ったとき、CDを取り出したときも、解除されます。

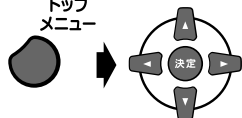
お知らせ

- 選んだグループ内のすべての曲を再生し終わると、再生は自動的に停止します。
- メニューから「再生モード」で「グループ」を選んでも、グループ再生を設定できます。

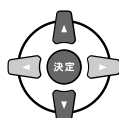
▶ グループリストからグループを選ぶ

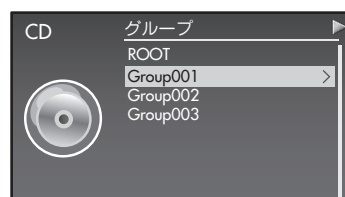
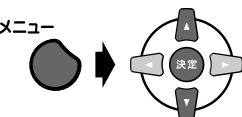
1

① トップメニューを表示して「CD」を選び、決定 を押す

② 「グループ」を選び、決定 を押す

グループの一覧が表示されます。

2

再生したいグループを選ぶ

グループ内のトラックの一覧が表示されます。

3

メニューを表示して「再生」を選び、 **を押す**

選んだグループの再生が始まります。

お知らせ

グループがないときは、「グループ」を選ぶことはできません。

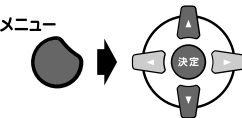
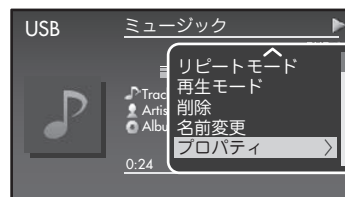
■再生中の曲や写真の ファイル情報を見る

USB機器や本体メモリーのファイルの詳細情報を見ることができます。

1

情報を見たい曲または写真を選ぶ（➡31〜36、58ページ）

2

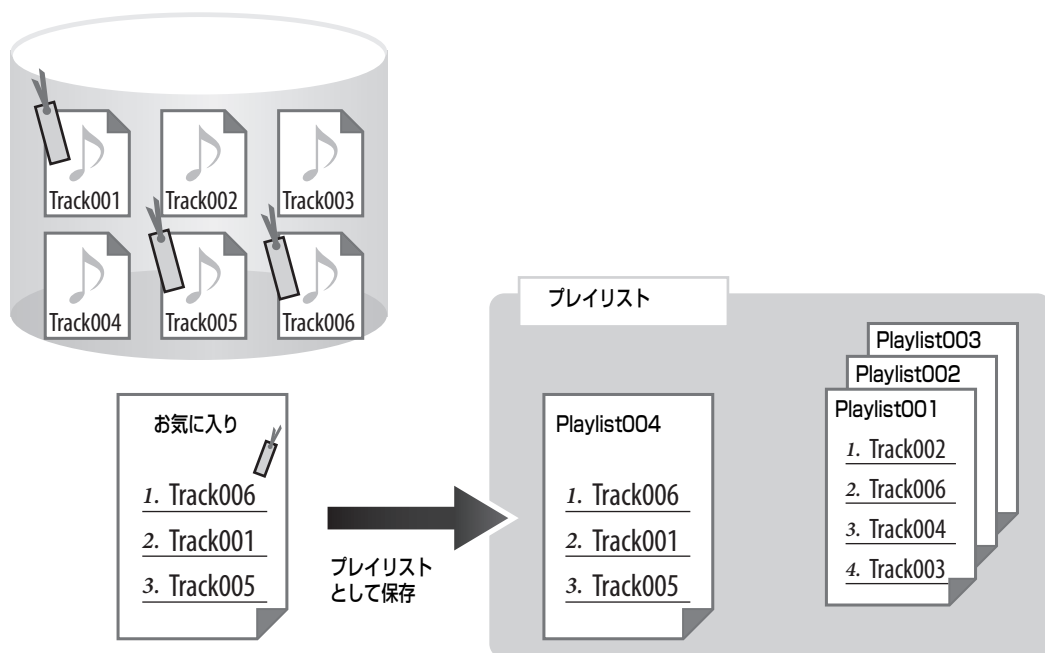
メニューを表示して「プロパティ」を選び **を押す**

再生中の曲または写真の情報が表示されます。

アイコン	表示内容	アイコン	表示内容	アイコン	表示内容
	曲名		トラック番号		再生時間
	アーティスト名		リリース年		ジャケット画像
	アルバム名		ファイル名		ファイルサイズ
	ジャンル名		ファイルの種類		解像度

■お気に入り/プレイリストを使う

プレイリストとは、好きな曲を集めてリストにしたものです。パーティーで楽しむためのプレイリスト、夜に聞きたいプレイリストなど、お好みの状況にあったプレイリストを作ることができます。

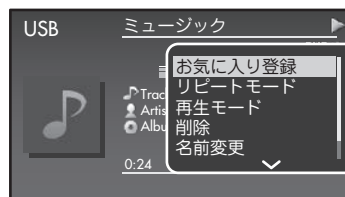
- プレイリストを作成するには、まず曲を「お気に入り」に登録します。お気に入りとして登録された曲の一覧がプレイリストとして保存されます。

お知らせ

ビデオファイルをお気に入り登録、プレイリスト保存することはできません。

- お気に入りとプレイリストは、USB機器で登録・作成できます。
- お気に入りやプレイリストを編集しても、曲自体が移動したり削除されたりすることはありません。
- 同じ曲を複数のプレイリストに登録することもできます。
- MSC接続の場合、USB機器3台分までのお気に入り・プレイリストを記憶します。（➡39ページ「USB機器の記憶について」）
- MTP接続の場合、USB機器を抜いたり、スタンバイモードの設定が「通常」の状態で電源を切ったりすると、お気に入り登録・プレイリスト保存した内容が消えてしまいます。

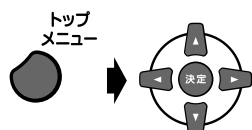
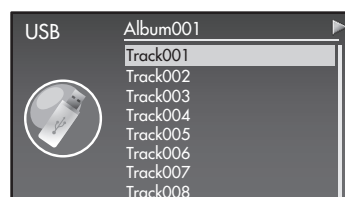
曲をお気に入りに登録する

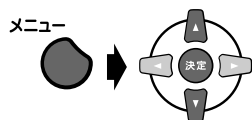
1　お気に入りに登録したい曲の再生画面でメニューを表示して「お気に入り登録」を選び、決定を押す

「お気に入りに登録しました」と表示されたあと、再生画面に戻ります。

▶ 一度に複数の曲をお気に入りに登録する

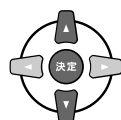
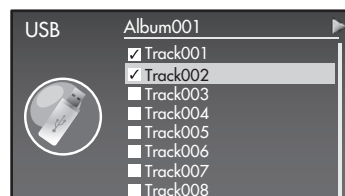
1

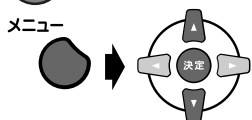
① トップメニューを表示して「USB」を選び、 を押す

② 「ミュージック」を選んで 決定 を押し、お気に入りに登録したい曲を含む項目またはフォルダを選んで 決定 を押す

曲の一覧が表示されます。

2

メニューを表示して「選択オン」を選び、 を押す

メニュー

3

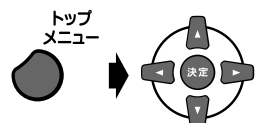
お気に入りに登録したい曲を選び、 を押す

- チェックマークのついた曲がお気に入りに登録されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度 決定 を押します。
- 選んだ項目またはフォルダ内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついてないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

4

メニューを表示して「お気に入り登録」を選び、 を押す

「お気に入りに登録しました」と表示されたあと、曲の一覧に戻ります。

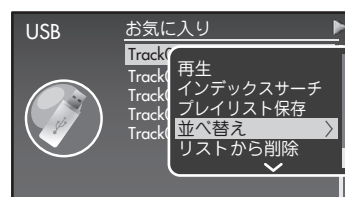
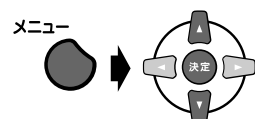
お気に入りの曲順を変更する

1

① トップメニューを表示して「USB」を選び、を押す

② 「ミュージック」➔「プレイリスト」➔「お気に入り」を選び、を押す

お気に入りの内容が表示されます。

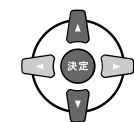
2

メニューを表示して「並べ替え」を選び、を押す

3

移動したい曲を選び、[◀]を押して 決定 を押す

- 複数の曲を選ぶこともできます。
- 選択を解除するときは[▶]を押します。

4

挿入位置を選び、を押す

「編集中」➡「変更しました」と表示されます。

挿入位置

お知らせ

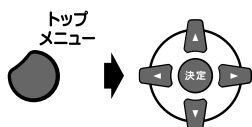
プレイリストとして保存したあとで曲順を変更することはできません。

プレイリストを保存する

お気に入りに登録した曲のリストを、プレイリストとして保存します。

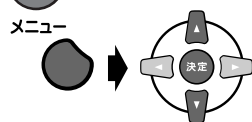
1

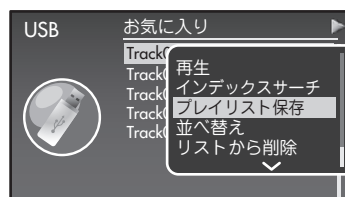
① トップメニューを表示して「USB」を選び、 を押す

② 「ミュージック」➔「プレイリスト」➔「お気に入り」を選び、 を押す

トップメニュー

お気に入りの内容が表示されます。

2

メニューを表示して「プレイリスト保存」を選び、 を押す

メニュー

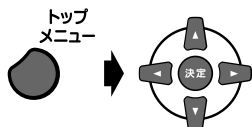
「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- プレイリストとして保存することのできる曲数は、最大5000曲です。
- プレイリストは、作成した順に「Playlist001」、「Playlist002」…という名前で保存されます。
- プレイリストは名前を変更することができます。(➡87ページ)

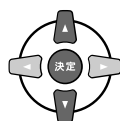
お気に入り/プレイリストを再生する

1

① トップメニューを表示して「USB」を選び、 を押す

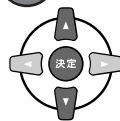
② 「ミュージック」➔「プレイリスト」を選び、 を押す

▼お気に入り再生:

2

「お気に入り」を選び、 を押す

お気に入りに登録した曲の一覧が表示されます。
もう一度 決定 を押すと、再生が始まります。

▼プレイリスト再生:

2

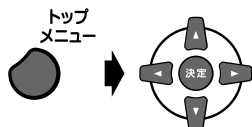
再生したいプレイリストを選び、 を押す

選んだプレイリストの曲の一覧が表示されます。
もう一度 決定 を押すと、再生が始まります。

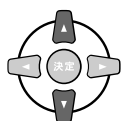
曲をお気に入り/プレイリストから削除する

- お気に入りやプレイリストから削除しても、曲自体は削除されません。

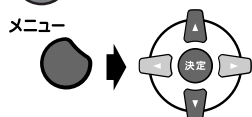
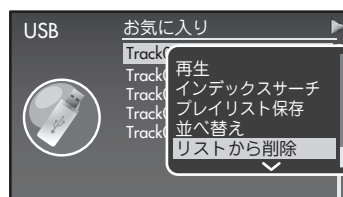
1

① トップメニューを表示して「USB」を選び、決定 を押す

② 「ミュージック」→「プレイリスト」からプレイリストまたは「お気に入り」を選び、決定 を押す

2

削除したいお気に入りまたはプレイリストの曲を選ぶ

例：お気に入りに登録した
Track001を選んだ場合

3

メニューを表示して「リストから削除」を選び、決定 を押す

選んだ曲が削除されます。

▶ 一度に複数の曲をお気に入り/プレイリストから削除する

手順1のあとにメニューから「選択オン」を選び、決定 を押します。
選択画面で削除したい曲に 決定 を押してチェックマークをつけて、手順3に進みます。

お知らせ

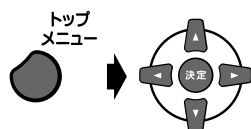
- チェックマークのついた曲がお気に入り/プレイリストから削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度 決定 を押します。
- 選んだお気に入り/プレイリスト内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

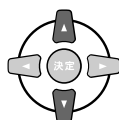
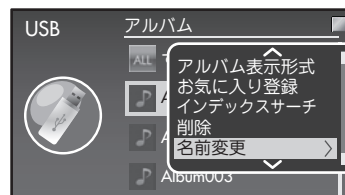
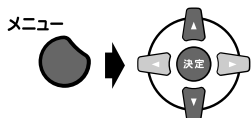
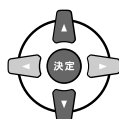
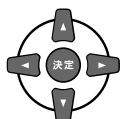
■USB機器の曲情報を変更する

フォルダ名、ファイル名、タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名、プレイリスト名を変更することができます。

例：ミュージックの「Album001」の名前を変更するとき

1 ① トップメニューを表示して「USB」を選び、 を押す

② 「ミュージック」→「アルバム」を選び、 を押す

アルバムの一覧が表示されます。

2 名前を変えたいアルバムを選ぶ

3 メニューを表示して「名前変更」を選び、決定 を押す

4 「アルバム」を選び、決定 を押す

5 名前を変更する

- 文字の入力については「文字入力のしかた」(➡**89**ページ)をご覧ください。

6 画面の「決定」を選び、 を押す

名前が変更されます。

お知らせ

- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- ファイル名またはフォルダ名の「/」「:」「*」「”」や、名前の先頭にある「.」は「_」に置き換えられて表示されます。
- WAVファイルのタイトル、アーティスト、アルバム、ジャンル名を変更することはできません。

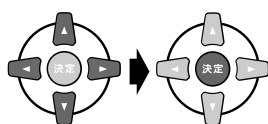
▶ ある曲の曲情報を変更する

手順2のあとで を押して、編集したい曲を選びます。
手順4で変更したい項目を選んでください。

▶ あるアルバムに含まれるすべての曲の曲情報を変更する

手順4で「アーティスト」または「ジャンル」を選んでください。選択したアルバムに含まれるすべての曲のアーティスト情報またはジャンル情報が変更されます。

文字入力のしかた

1 文字または項目を選び、 を押す

▶ 入力する文字の種類を切り換えるには

アルファベット:　「ABC･abc」を選ぶ
カタカナ:　「カタカナ」を選ぶ
各種記号･数字:　「記号･数字」を選ぶ

▶ 入力位置を移動するには

「←」または「→」を選ぶ

▶ 文字を削除または追加(挿入)するには

一文字消去:　消したい文字の左側に「←」または「→」でカーソルを移動し、「削除」を選ぶ
全文字消去:　「全削除」を選ぶ
文字の追加(挿入):「→」で文字を追加(挿入)する位置までカーソルを移動して文字を入力する

▶ 入力できる文字

- アルファベット(大文字･小文字)
- カタカナ
- 記号(! " # ＄ % & ' ( ) * + , − . = _ @ / : ; < > ?)･数字
- 空白(スペース)

お知らせ

- 入力できる文字は半角です。全角文字、ひらがな、漢字は入力できません。
- 最大文字入力数は次の通りです。最大文字入力数を超える曲情報は、本機では表示･編集できません。曲情報を入力した機器などで編集してください。
  – ラジオのプリセット名、USB機器の曲情報:64文字
  – BLUETOOTHの登録機器名:32文字

■USB機器のファイルを削除する

USB機器のフォルダやファイルを削除できます。

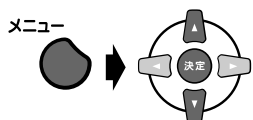
ご注意

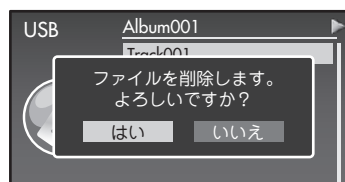
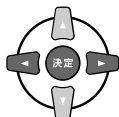
削除した曲を元に戻すことはできません。
よく確認してから削除してください。

曲を削除する

1 ① トップメニューを表示して「USB」を選び、決定 を押す

② 「ミュージック」を選んで 決定 を押し、削除する曲を選ぶ
（➡32〜36ページ）

2 メニューを表示して「削除」を選び、 を押す

削除確認画面が表示されます。

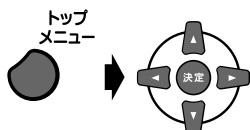
3 「はい」を選び、 を押す

お知らせ

- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 削除したい曲の再生中にメニューを表示して「削除」を選んでも、削除できます。

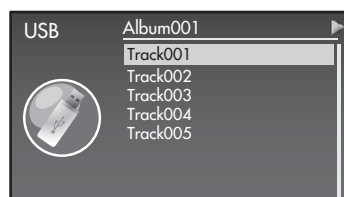
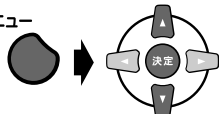
▶ 一度に複数の曲（ファイル）を削除する

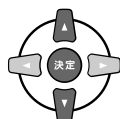
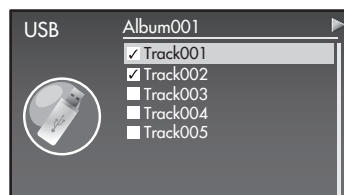
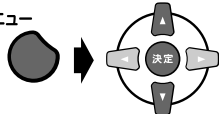
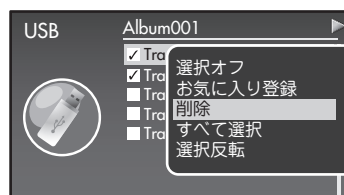
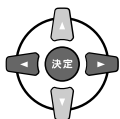
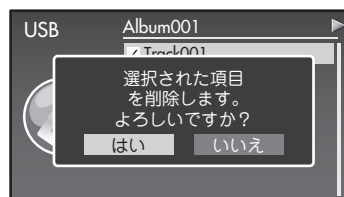
例：「ミュージック」の「Album001」の曲を削除する場合

1 ① トップメニューを表示して「USB」を選び、 を押す

② 「ミュージック」➔「アルバム」を選び、 を押す

アルバムの一覧が表示されます。

2 「Album001」を選び、 を押す

「Album001」に含まれる曲の一覧が表示されます。

3 メニューを表示して「選択オン」を選び、 を押す

曲の前にチェックボックスが表示されます。

4 削除したい曲を選び、 を押す

- チェックマークのついた曲がUSB機器から削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度 を押します。
- 選んだ項目またはフォルダ内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついてないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

5 メニューを表示して「削除」を選び、 を押す

削除確認画面が表示されます。

6 「はい」を選び、 を押す

「削除中」➡「削除しました」と表示されます。

お知らせ

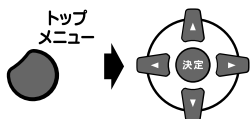
途中でやめるには、[キャンセル]を押します。

フォルダごと曲を削除する

例：USB機器の「ミュージック」➔「フォルダ」➔「Music」➔「CD」の中の「Album001」フォルダを削除する場合

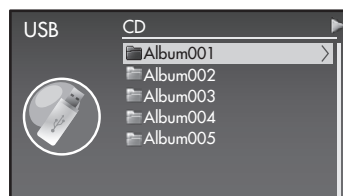
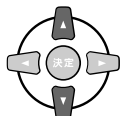
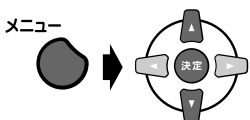
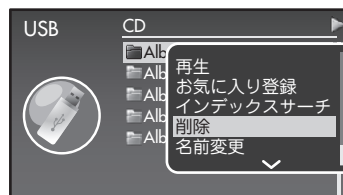
1

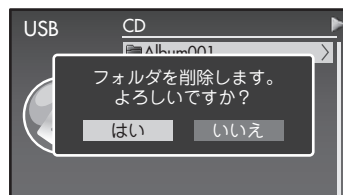
① トップメニューを表示して「USB」を選び、決定 を押す

② 「ミュージック」➔「フォルダ」➔「Music」➔「CD」を選び、決定 を押す

「CD」の中のフォルダの一覧が表示されます。

2

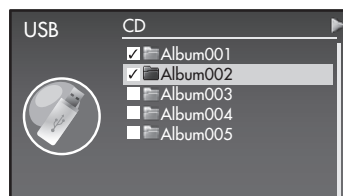
「Album001」を選ぶ

3

メニューを表示して「削除」を選び、決定 を押す

削除確認画面が表示されます。

4

「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ

途中でやめるには、[キャンセル]を押します。

▶ 一度に複数のフォルダを削除するには

手順1のあとでメニューから「選択オン」を選び、決定 を押します。
選択画面で削除したいフォルダに 決定 を押してチェックマークをつけて、手順3に進みます。

お知らせ

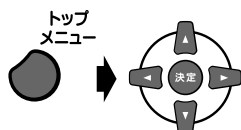
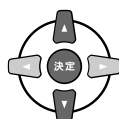
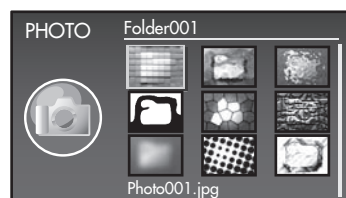
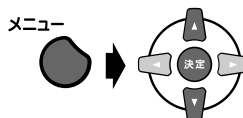
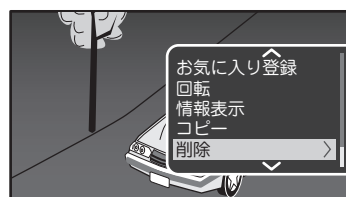
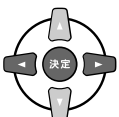
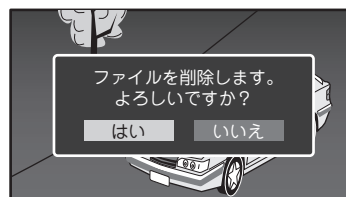
- チェックマークのついたフォルダがUSB機器から削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度 決定 を押します。
- 選んだ項目内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

■写真を削除する

本体メモリーやUSB機器の写真を削除することができます。

1

① トップメニューを表示して「PHOTO」を選び、決定 を押す

② 「本体メモリー」または「USB」を選び、決定 を押す

2 フォルダ・写真を選び、決定 を押す

写真が表示されます。

3 メニューを表示して「削除」を選び、決定 を押す

確認画面が表示されます。

4 「はい」を選んで 決定 を押す

ファイルが削除されます。

▶ フォルダごと削除する

手順2で削除するフォルダを選んで手順3に進みます。

▶ 一度に複数の写真を削除する

手順2で削除したい写真を含むフォルダを選び、決定 を押します。

メニューから「選択オン」を選び、決定 を押します。

選択画面で削除したい写真に 決定 を押してチェックマークをつけて、手順3に進みます。

お知らせ

- チェックマークのついた写真が削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度 決定 を押します。
- 選んだフォルダ内のすべての写真にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

タイマーを使う

本機には、スリープタイマー、録音タイマー、再生タイマーの3種類のタイマーがあります。
スリープタイマー1件、録音タイマーと再生タイマー合わせて8件を設定できます。

準備

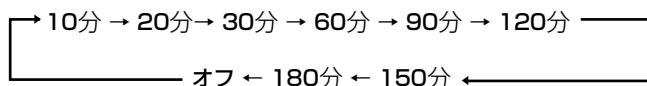
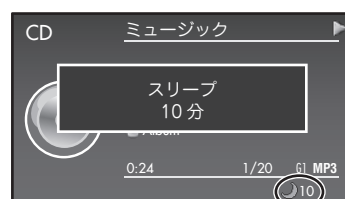
タイマーの設定をする前に時計を合わせておいてください(➡**19**ページ)。

■スリープタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます。おやすみのときに便利です。

1 [スリープ]を押す

押すごとに、設定時間が以下のように切り換わります。

10分 → 20分→ 30分 → 60分 → 90分 → 120分 → 150分 → 180分 → オフ → 10分

設定したい時間を表示させるだけで設定は完了です。

スリープタイマーの残り時間

お知らせ

- スリープタイマーを設定すると、ディスプレイが暗くなります。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「スリープ」からもスリープタイマーを設定できます。

▶ 設定した時間を変更する

[スリープ]をくり返し押して時間を選び直します。

▶ 残り時間を確認する

スリープタイマーが設定された状態で、[スリープ]を1回押します。

■録音タイマーを使う

指定した日時に自動的に電源が入り、ラジオ放送やAUDIO IN端子に接続した機器の音声をUSB機器に録音できます。録音タイマー、再生タイマー合わせて最大8件まで設定できます。
タイマーは電源が切れているときのみ動作します。設定後は本機の電源を切ってください。

お知らせ

- 外部機器の音声を録音する場合は、タイマー機能付きの機器を使用してください。
- **タイマー開始時刻の４分前までに、タイマーの設定を終了して電源を切ってください。**
- 録音できる時間は、最長23時間56分です。
- **複数のタイマーを使う場合は、先に動作するタイマーの終了時刻と次に動作するタイマーの開始時間を、4分以上空けて設定してください。間隔が4分未満のとき、または重複しているときは、「他のタイマーとの間隔を4分以上あけてください」と表示されます。**
- 電源プラグをはずしたときや停電のときは、タイマーの設定項目内容は保持されますが、時計設定はお買い上げ時の状態に戻ります。時計を設定し直してください。
- 「1Seg自動同期」が「オフ」のときは本機の時計は月に1分程度ずれるため、ときどき時計を合わせ直してください。(➡**20**ページ)特に、録音タイマーを設定する前は正確な時刻に合わせることをお勧めします。

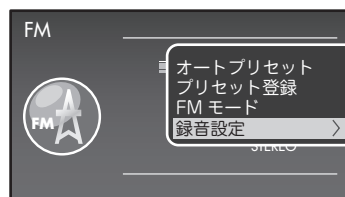
1 タイマーの準備をする

▼録音したいソース(音源)を準備する

FM/AM　放送局をプリセットしておく(➡**41**ページ)
AUDIO IN　AUDIO IN端子(➡**44**ページ)に再生機器を接続し、その機器の説明書に従う

▼録音の設定をする

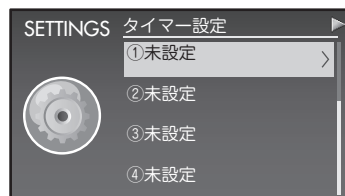
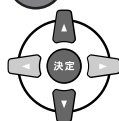
再生画面で[メニュー]を押し、「録音設定」を選んで 決定 を押します。
設定項目については以下をご覧ください。

- ラジオを録音する(➡**72**ページ)
- 外部機器から録音する(➡**74**ページ)

▼録音先の準備をする

- 録音用のUSB機器を本機のUSB端子に接続してください。
  - MTP接続したUSB機器には録音できません。必ずMSCで接続してください。(➡**29**ページ)
- 録音の空き時間を確認してください。(➡**107**ページ)

2 [タイマー]を押す

タイマー設定画面が表示されます。

3 「①」～「⑧」のいずれかのタイマー番号を選び、決定 を押す

次のページにつづく

4 録音タイマーの設定をする

① 設定したい項目を選び、 を押す
② 設定を選び、 を押す

SETTINGS タイマー①
状態 オン
ソース AUDIO IN→USB
回数 / 曜日 1回 日曜日
時刻 00:00-00:00
チャンネル 01
音量 01
決定

■ **状態**:「オン」を選びます。
■ **ソース**:録音元と録音先のソース(音源)を選びます。

AUDIO IN/AM/FM/1Seg/USB/iPod/CD:再生タイマーを設定するときに選びます。
(➡97ページ)

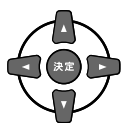
AUDIO IN→USB:外部機器の音声をUSB機器に録音します。

AM→USB:AMをUSB機器に録音します。

FM→USB:FMをUSB機器に録音します。

■ **回数/曜日**:くり返しの回数(「1回」、「毎日」または「毎週」)を選び を押し、動作させたい曜日を選びます。
■ **時刻**:開始時刻と終了時刻を設定します。
- [◀]/[▶]で入力したい位置にカーソルを合わせ、[▲]/[▼]で時刻を合わせます。

■ **チャンネル**:ラジオを録音するときにプリセット番号を選びます。
■ **音量**:設定できません(「01」に固定)。音声を聞きたいときは、録音中に音量を調節してください。

5 設定内容を確認して「決定」を選び、 を押す

タイマーが設定され、REC⏻が該当するタイマー番号の前に表示されます。

6 電源を切る

本体のスタンバイランプがオレンジ色に点灯します。

お知らせ

- 時刻·日付が設定されていない場合は、タイマーの設定ができません。時計合わせを行なってからタイマーを設定してください。(➡19ページ)
- タイマー設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも録音タイマーを設定できます。
- 1つ前の画面に戻るには[↩]を押します。
- 録音タイマーが「オン」のとき、各ソース(音源)の再生画面の下部に REC⏻ 表示が点灯します。
- トラックマークをつけると、そこから別の曲として録音され、再生時にトラック間に無音が発生します。内容に合わせてトラックマークをつけておくと、再生するときに便利です。
- ラジオを録音するとき、受信状態や放送内容によっては、「トラックマーク」の「オート」が働かないことがあります。

タイマー録音した曲を再生する

録音タイマーでUSB機器に録音した曲は、トップメニューから「USB」を選んで を押し、「ミュージック」➔「フォルダ」➔「Music」➔「FM」/「AM」/「Audio_IN」から探すと便利です。

■再生タイマーを使う

指定した日時に自動的に電源が入り、ワンセグテレビ、CDやラジオが再生されます。再生タイマー、録音タイマー合わせて最大8件まで設定できます。

タイマーは電源が切れているときのみ動作します。設定後は本機の電源を切ってください。

お知らせ

- 外部機器の音声を再生する場合は、タイマー機能付き機器を使用してください。
- 再生タイマーが開始されると、音量が徐々に大きくなり、設定した音量になります。
- **タイマー開始時刻の４分前までに、タイマーの設定を終了して電源を切ってください。**
- **複数のタイマーを使う場合は、先に動作するタイマーの終了時刻と後に動作するタイマーの開始時間を、4分以上空けて設定してください。間隔が4分未満のとき、または重複しているときは、「他のタイマーとの間隔を4分以上あけてください」と表示されます。**
- 電源プラグをはずしたときや停電のときは、タイマーの設定項目内容は保持されますが、時計設定はお買い上げ時の状態に戻ります。時計を設定し直してください。
- 「1Seg自動同期」が「オフ」のときは本機の時計は月に1分程度ずれるため、ときどき時計を合わせ直してください。(➡**20**ページ)

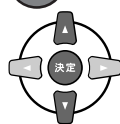
1 タイマーの準備をする

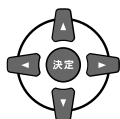
再生したいソース（音源）を準備します。

CD	CDを入れる
USB	USB機器を接続し、お気に入りまたはプレイリストを登録しておく（➡**82**、**85**ページ）
iPod	iPodを接続し、再生したい曲の頭で一時停止する
FM/AM	放送局をプリセットしておく（➡**41**ページ）
AUDIO IN	AUDIO IN端子（➡**44**ページ）に再生機器を接続し、その機器の説明書に従う
1Seg	オートプリセットをしておく（➡**51**、**53**ページ）

2 タイマー を押す

タイマー設定画面が表示されます。

3 「①」～「⑧」のいずれかのタイマー番号を選び、決定 を押す

次のページにつづく

4 再生タイマーの設定をする

① 設定したい項目を選び、決定 を押す
② 設定を選び、決定 を押す

■ **状態**:「オン」を選びます。

■ **ソース**

AUDIO IN/AM/FM/1Seg/USB/iPod/CD:再生したいソース(音源)を選びます。

- AUDIO IN➔USB/AM➔USB/FM➔USB:録音タイマーを設定するときに選びます。(➡**95**ページ)

■ **回数/曜日**:くり返しの回数(「1回」、「毎日」または「毎週」)を選んで 決定 を押し、動作させたい曜日を選びます。

■ **時刻**:開始時刻と終了時刻を設定します。

- [◀]/[▶]で修正したい位置にカーソルを合わせ、[▲]/[▼]で時刻を合わせます。

■ **チャンネル**

ソース(音源)が「FM」または「AM」のときに、プリセット番号を選びます。
ソース(音源)が「1Seg」のときに、チャンネルを選びます。

■ **Group/Track**

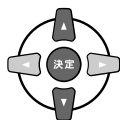
ソース(音源)が「CD」のときに、再生したいグループ番号/トラック番号(1〜99)を選びます。

- グループを指定しない場合は「00」を選びます。

■ **再生リスト**

ソース(音源)が「USB」のときに、再生したいプレイリストまたはお気に入りを選びます。

■ **音量**:再生音量を設定します(01〜40)。

5 設定内容を確認して、画面の「決定」を選び、 を押す

タイマーが設定され、⏻ が該当するタイマー番号の前に表示されます。

6 電源を切る

本体のスタンバイランプがオレンジ色に点灯します。

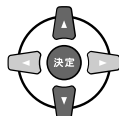
お知らせ

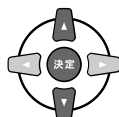
- 時刻・日付が設定されていない場合は、タイマーの設定ができません。時計合わせを行なってからタイマーを設定してください。(➡**19**ページ)
- タイマー設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも再生タイマーを設定できます。
- ワンセグテレビの番組表を表示中にメニューから「タイマー視聴」を選んでもワンセグテレビの再生タイマーを設定できます。
- 手順4で複数サービスを行なっているチャンネルを選んだ場合は、メインの番組が設定されます。
- 1つ前の画面に戻るには[⮐]を押します。
- CDにないグループを選んだときは、グループの設定が無効になります。
- CDにないトラックを選んだときは、1曲目から再生されます。
- USB機器にお気に入りとプレイリストがどちらも登録されていない場合の曲順は、以下の手順で確認できます。
  トップメニューを表示して「USB」を選んで 決定 を押し、「ミュージック」➔「トラック」を選んで 決定 を押す。
- 再生タイマーが「オン」のとき、各ソース(音源)の再生画面の下部に⏻表示が点灯します。

録音/再生タイマーを解除する

1 タイマー ボタンを押す

タイマー設定画面が表示されます。

2 解除したいタイマー番号を選び、決定 を押す

3 「状態」を「オフ」に設定し、決定 を押す

4 画面の「決定」を選び、決定 を押す

REC（録音タイマーの場合）または （再生タイマーの場合）が消えます。

お知らせ

- 「オフ」にしても設定内容は削除されません。
- 操作を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも設定できます。

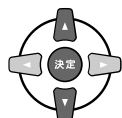
録音/再生タイマーの設定を確認する

1

を押す

タイマー設定画面が表示されます。

2 確認したいタイマー番号を選び、

を押す

設定の内容が表示されます。

お知らせ

- 確認を終了するには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも確認できます。

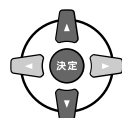
録音/再生タイマーの設定を変更する

1

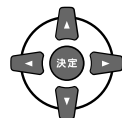
を押す

タイマー設定画面が表示されます。

2 変更したいタイマー番号を選び、

を押す

3 変更したい設定を編集する

4 画面の「決定」を選び、

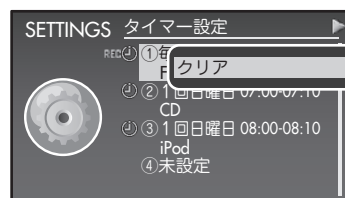
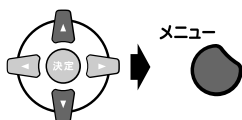
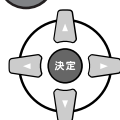
を押す

お知らせ

くわしくは、各項目の設定方法をご覧ください。(➔**96**、**98**ページ)

▶ 録音/再生タイマーの設定内容を消去する

1 タイマー ボタンを押す

タイマー設定画面が表示されます。

2 設定内容を消去したいタイマー番号を選び、[メニュー]を押す

3 決定 を押す

お知らせ

- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも設定できます。

設定を変える

ディスプレイの壁紙や配色をお好みで変えられるほか、CDの取り出しを制限したり、USB機器の内容をすべて消したりすることができます。
目的に合わせて、該当ページをご覧ください。

- ディスプレイの明るさや壁紙･配色などを変えたい（➡下記および**103**、**104**ページ）
- 省エネ設定をしたい（➡**105**ページ）
- CDを取り出せないようロックしたい（➡**106**ページ）
- USB機器の空き容量や録音可能時間を知りたい（➡**107**ページ）
- 設定した内容を初期化したい（➡**107**ページ）
- USB機器や本体メモリーの内容をすべて消したい（➡**108**ページ）

■ディスプレイの表示設定

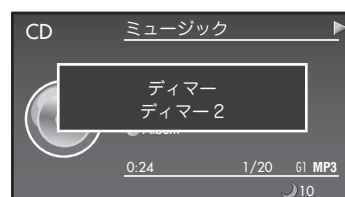
画面や操作パネルの明るさや配色、背景などを変えることができます。

画面/操作パネルの明るさを変える（ディマー機能）

1 ディマー を押す

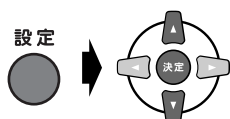
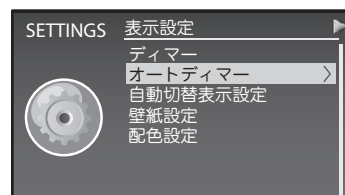
押すごとに、明るさが切り換わります。

設定	明るさ
●オフ	通常の明るさです。
ディマー1	やや暗くなります。
ディマー2	さらに暗くなります。

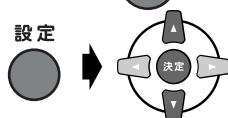
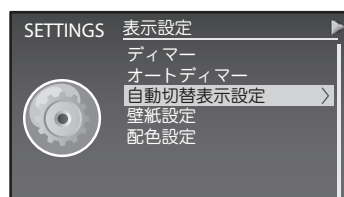
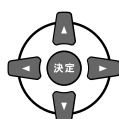
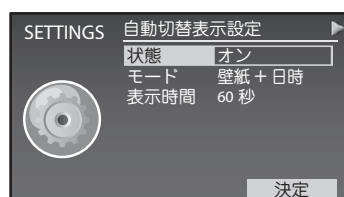
●：お買い上げ時の設定

お知らせ

[設定]を押して「表示設定」➔「ディマー」からも明るさを変更できます。

自動的に画面を暗くする（オートディマー）

1 **[設定]を押して「表示設定」➔「オートディマー」を選び、 決定 を押す**

オフ、15秒、30秒、60秒、120秒
ディマーの設定が「オフ」か「ディマー1」のとき、本機を操作しない状態がここで設定した時間続くと、「ディマー2」の状態になります。

しばらく操作しないときの画面表示を変更する（自動切替表示設定）

一定の時間本機の操作をしないでいると、自動的にお好みの画面に切り換わるように設定することができます。

1 [設定]を押して「表示設定」➔「自動切替表示設定」を選び、決定を押す

自動切替表示設定画面が表示されます。

2 表示の自動切り換えの設定をする

① 設定したい項目を選び、決定を押す
② 設定を選び、決定を押す

■ 状態

オン：本機を操作しない状態が一定時間続くと、自動で画面表示を切り換えます。

オフ：自動切替表示設定をオフにします。

■ モード

壁紙＋日時：壁紙に登録した写真と現在の日付･時刻を表示します。（➡64ページ）

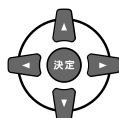
壁紙：壁紙を表示します。（➡64ページ）

お気に入りフォト：お気に入り登録した写真を表示します。複数枚登録されている場合はスライドショー再生します。（➡65ページ）

フォト＋日時：フォト登録した写真と現在の日付･時刻を表示します。（➡64ページ）

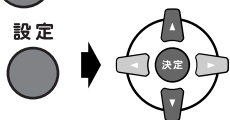
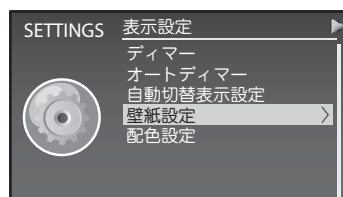
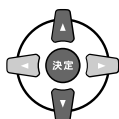
フォト：フォト登録した写真を表示します。（➡64ページ）

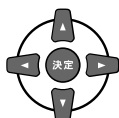
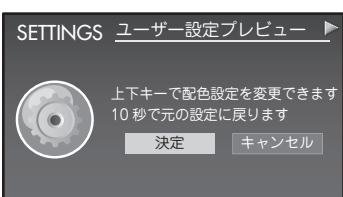
■ **表示時間**：画面が切り換わるまでの時間を選びます。（15秒～120秒）

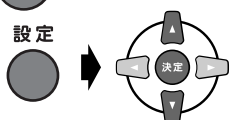
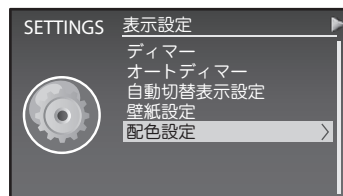
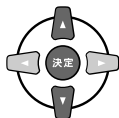
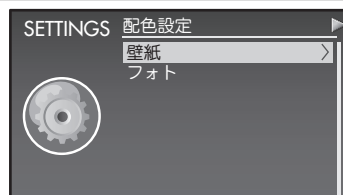
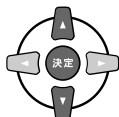
3 設定内容を確認して、画面の「決定」を選び、決定を押す

お知らせ

写真を登録していないときに、「お気に入りフォト」、「フォト+日時」、「フォト」を選ぶと、「フォトファイルが登録されていません」と表示されます。写真を登録してから設定してください。

壁紙を変更する

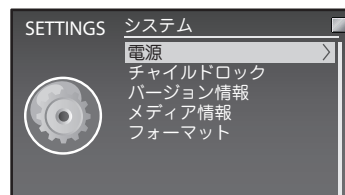
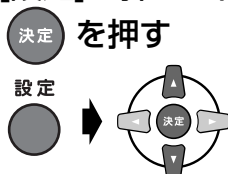
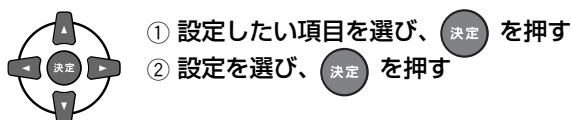
1 [設定]を押して「表示設定」➔「壁紙設定」を選び、
を押す

壁紙設定画面が表示されます。

2 壁紙を選び、決定を押す

7種類の壁紙と、壁紙登録した写真(➡**64**ページ)の中から選ぶことができます。

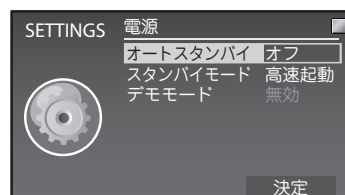
3 配色を選んでから画面の「決定」を選び、決定を押す

[▲]/[▼]： 配色を選びます。
[◀]/[▶]：「決定」を選びます。

文字やアイコンの配色を変更する

1 [設定]を押して「表示設定」➔「配色設定」を選び、
を押す

配色設定画面が表示されます。

2 「壁紙」または「フォト」を選び、
を押す

壁紙 壁紙を表示しているときの配色を変更します。
フォト 「自動切替表示設定」(➡**103**ページ)の「フォト＋日時」に設定しているときの切替表示の配色を変更します。

3 配色を選び、決定を押す

2種類の配色(「明るい」または「暗い」)から選ぶことができます。

■省エネ設定

省電力のための設定をすることができます。

1 [設定]を押して「システム」→「電源」を選び、決定を押す

2 省エネの設定をする

① 設定したい項目を選び、決定を押す

② 設定を選び、決定を押す

■ オートスタンバイ

オン：ソース（音源）が「CD」、「USB」、または「AUDIO IN」で、再生･録音の停止状態や無音状態が３分続いたとき、「BLUETOOTH」で待機状態が3分続いたとき、または「iPod」で、iPodが差し込まれていない状態が3分続いたとき、電源が自動で切れます。

- 写真の表示中は、オートスタンバイは機能しません。

オフ：オートスタンバイをオフにします。

■ スタンバイモード

通常：スタンバイ時の電力の消費をおさえることができます。

高速起動：電源を入れたときに、短い時間で起動します。

■ デモモード

有効：デモ機能が有効になります。

無効：デモ機能が無効になります。

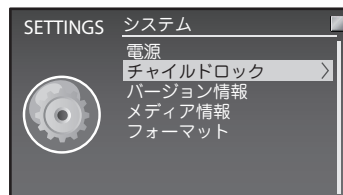
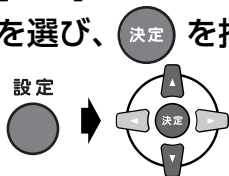
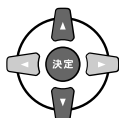
3 設定内容を確認して画面の「決定」を選び、決定を押す

お知らせ

- 「オートスタンバイ」の設定が「オン」のとき、再生/録音の終了後や無音状態になると、ディスプレイのA.STBY表示が点滅します。
- 「オートスタンバイ」の設定が「オン」のとき、再生/録音中に音量を「０」にしても、オートスタンバイは動作しません。

■CDの取り出しをロックする（チャイルドロック）

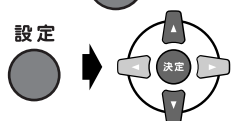
CDを取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

1 **[設定]を押して「システム」➔「チャイルドロック」を選び、決定を押す**

2 **「オン」を選び、決定を押す**

▶ チャイルドロックを解除する

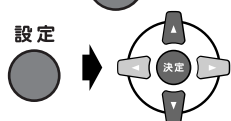
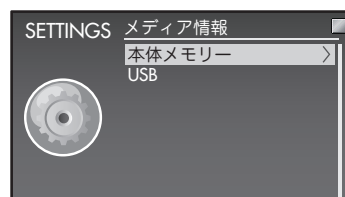
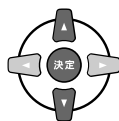
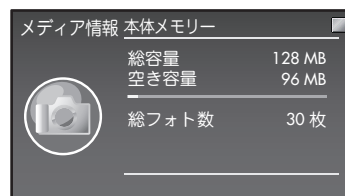
上記の手順2で「オフ」を選び、 を押します。

■本機の情報を表示する

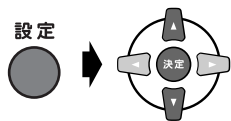
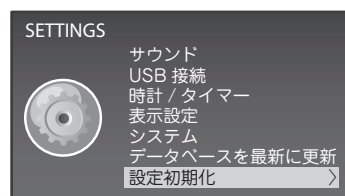
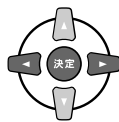
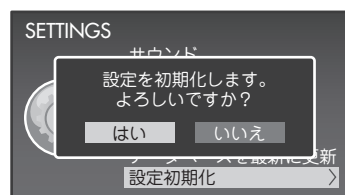
▶ バージョン情報を見る

1 [設定]を押して「システム」→「バージョン情報」を選び、決定 を押す

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

▶ メディア情報を見る

1 [設定]を押して「システム」→「メディア情報」を選び、決定 を押す

メディア選択画面が表示されます。

2 情報を見たいメディアを選び、決定 を押す

空き時間や曲数などが表示されます。

■設定を初期化する

本機で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 [設定]を押して「設定初期化」を選び、 を押す

確認画面が表示されます。

2 「はい」を選んで 決定 を押す

「設定を初期化しました　スタンバイランプが点灯したのを確認してから電源コードを抜いてください」と表示されます。スタンバイランプが点灯してから電源コードを抜いてください。

お知らせ

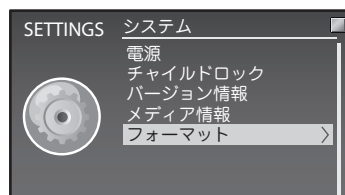
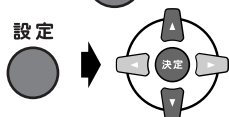
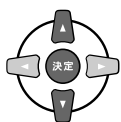
「デモモード」(➡105ページ)の設定は初期化されません。

■本体メモリー/USB機器を初期化する（フォーマット）

本体およびUSB機器内のデータをすべて消します。

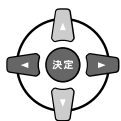
ご注意

消去したデータを元に戻すことはできません。よく確認してから削除してください。

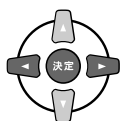
1 [設定]を押して「システム」→「フォーマット」を選び、決定を押す

2 フォーマットしたいメディアを選び、決定を押す

本体メモリー　本体メモリーの写真データをすべて消去します。

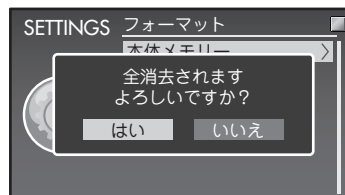
USB　USB機器のデータをすべて消去します。

「フォーマットしますか?」と表示されます。

3 「はい」を選び、決定を押す

確認画面が表示されます。

- 「いいえ」を選ぶと、フォーマットせずに1つ前の画面に戻ります。

4 「はい」を選び、決定を押す

本体メモリー、またはUSB機器の内容が、すべて消去されます。

- 「いいえ」を選ぶと、フォーマットせずに1つ前の画面に戻ります。

■トップメニュー/メニュー項目一覧

トップメニュー項目

▶ SETTINGS

メニュー			詳細(選択可能な項目)	参照ページ
サウンド	AHB PRO		オフ、オン	76
	サウンドモード		マニュアルEQ、ライブ、ロック、ポップ、クラシック、ダンス	76
USB接続	接続モード		オート、MSC	29
	高速読み込みモード		オフ、オン	29
時計/タイマー	時計設定	日付･時刻設定	日付、時刻の設定	20
		1Seg自動同期	オフ、オン	19
		時刻 12/24 h	12h、24h	20
	タイマー設定		タイマーの設定	95, 97
	スリープ		オフ、10分、20分、30分、60分、90分、120分、150分、180分	94
表示設定	ディマー		オフ、ディマー1、ディマー2	102
	オートディマー		オフ、15秒、30秒、60秒、120秒	102
	自動切替表示設定	状態	オフ、オン	103
		モード	壁紙＋日時、壁紙、お気に入りフォト、フォト＋日時、フォト	103
		表示時間	15秒、30秒、60秒、120秒	103
	壁紙設定		Type 1、Type 2、Type 3、Type 4、Type 5、Type 6、Type 7、ユーザー壁紙	104
	配色設定	壁紙	明るい、暗い	104
		フォト		

メニュー			詳細(選択可能な項目)	参照ページ
システム	電源	オートスタンバイ	オフ、オン	105
		スタンバイモード	通常、高速起動	105
		デモモード	有効、無効	105
	チャイルドロック		オフ、オン	106
	バージョン情報		本機のファームウェアのバージョンを表示	107
	メディア情報	本体メモリー	メディアの空き容量を表示	107
		USB		107
	フォーマット	本体メモリー	メディアを初期化	108
		USB		108
データベースを最新に更新			インデックスを更新	39
設定初期化			すべての設定を初期化	107

メニュー項目

▶ CD

メニュー			詳細(選択可能な項目)	参照ページ
リピートモード			オフ、1曲、すべて	78
再生モード			ノーマル、ランダム、グループ	79, 80
録音設定	録音方式		デジタル高速、デジタル標準、アナログ	70
	USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	70
		録音品質	HQ、SP、LP	70

ラジオ（FM、AM）

メニュー			詳細（選択可能な項目）	参照ページ
オートプリセット			放送局を自動的にプリセット	41
プリセット登録			プリセットに登録	42
プリセット名変更			プリセット名の変更	43
ＦＭモード（FMのみ）			オート、モノラル	43
録音設定	トラックマーク		**マニュアル**： 手動でトラックマークをつける **タイム**： 5分間隔でトラックマークをつける **オート**： 2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつける	72
	USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	72
		録音品質	HQ、SP、LP	72

1Seg

メニュー	詳細（選択可能な項目）	参照ページ
オートプリセット	チャンネルを自動的にプリセット	53
字幕・情報表示	オフ、情報表示、字幕表示	57
表示方法	ノーマル、ズーム	57
音声モード	主音声、副音声	56
番組内容	番組内容の表示	56
番組表	番組表の表示	55
テレビ画面へ	テレビ画面を表示する	55
チャンネル削除	チャンネルリストから削除	54

1Seg（番組表）

メニュー	詳細（選択可能な項目）	参照ページ
視聴	選択した番組を見る	55
タイマー視聴	視聴タイマーを設定	97
番組内容	番組内容の表示	56

▶ USB（音楽ファイル）

メニュー		詳細（選択可能な項目）	参照ページ
お気に入り登録		お気に入りに登録	82
リピートモード		**オフ、1曲、すべて、A-B**	78
再生モード		**ノーマル、ランダム**	79
削除		ファイル･フォルダの削除	90~92
リストから削除		お気に入り･プレイリストから削除	86
名前変更	ファイル	名前の編集	87
	タイトル		87
	アーティスト		87
	アルバム		87
	ジャンル		87
プロパティ		ファイルの詳細情報を表示 **ジャケット画像**（ジャケット画像の拡大表示）： **壁紙登録、フォト登録**	81
並べ替え		お気に入りの曲順を変更	84
プレイリスト保存		お気に入りをプレイリストとして保存	85
アルバム表示形式		**アルバム名のみ、ジャケットあり、ジャケットのみ**	32

▶ USB（ビデオファイル）

メニュー		詳細（選択可能な項目）	参照ページ
リピートモード		**オフ、オン**	37
連続再生		**オフ、オン**	37
表示方法		**ノーマル、ズーム**	38
削除		ファイル･フォルダの削除	90~92
プロパティ		ファイルの詳細情報を表示	81
再生	初めから再生	選んだファイルを最初から再生	36
	最近再生したビデオ	前回最後に再生したファイルを再生	36
ファイル表示形式		**ファイル名のみ、サムネイルあり、サムネイルのみ**	36

▶ BLUETOOTH

メニュー	詳細（選択可能な項目）	参照ページ
接続	現在の機器に接続	49
切断	接続されている機器を切断	49
接続機器登録	接続する機器を登録	47
登録機器リスト	登録されている機器のリストを表示	48
本機情報	本機のBLUETOOTHアドレス情報を表示	49

▶ BLUETOOTH（登録機器リスト）

メニュー	詳細（選択可能な項目）	参照ページ
接続	登録機器に接続	48
削除	登録を削除	49
名前変更	接続機器の登録名を変更	50

▶ AUDIO IN

メニュー			詳細（選択可能な項目）	参照ページ
入力レベル			**レベル1、レベル2、レベル3** 外部機器からの音声入力レベルの調節	45
録音設定	**トラックマーク**		**マニュアル**： 手動でトラックマークをつける **タイム**： 5分間隔でトラックマークをつける **オート**： 2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつける	74
	USB録音	**圧縮方式**	**MP3、WMA**	74
		録音品質	**HQ、SP、LP**	74

▶ PHOTO(リスト表示)

メニュー	詳細(選択可能な項目)	参照ページ
ファイル表示形式	**ファイル名のみ、サムネイルあり、サムネイルのみ**	58
スライドショー開始	スライドショーの開始	59
スライドショー停止	スライドショーの停止	59
壁紙登録	壁紙に登録	64
フォト登録	フォトに登録	64
お気に入り登録	お気に入りに登録	65
コピー	ファイルをコピー	61
削除	ファイル･フォルダの削除	93
プロパティ	ファイルの詳細情報を表示	81
選択オン	複数の写真、フォルダを選択	65

▶ PHOTO(閲覧中)

メニュー	詳細(選択可能な項目)	参照ページ
再生画面に移動	再生中のソース(音源)の画面へ	59
スライドショー開始	スライドショーの開始	59
スライドショー停止	スライドショーの停止	59
スライドショー間隔	**速い、標準、遅い**	59
視覚効果	**なし、ランダム、ワイプ1、ワイプ2、ワイプ3、スライド1、スライド2、スライド3、プッシュ1、プッシュ2、プッシュ3、オープン1、オープン2、オープン3、フェード、クロス、ブラインド1、ブラインド2**	60
表示方法	**ノーマル、ズーム**	60
壁紙登録	壁紙に登録	64
フォト登録	フォトに登録	64
お気に入り登録	お気に入りに登録	65
回転	**左90度、右90度**	60
情報表示	**オフ、オン**	60
コピー	ファイルをコピー	61
削除	ファイル･フォルダの削除	93
プロパティ	ファイルの詳細情報を表示	81

■故障かな？と思ったら

修理に出す前にもう一度お確かめください

- ビクターホームページ（http://www.victor.co.jp/）から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

	症状	原因	対処方法	参照ページ
共通	音が出ない。	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜いてください。	13
		音量が最小になっている。	音量を調節してください。	17
		消音になっている。	消音を解除してください。	17
CD	演奏が始まらない。	CDが裏返しに入っている。	文字がある面を上にしてCDを入れ直してください。	22
		レンズに露がついている。	電源を入れたまま、乾くまで待ってください。（約1～2時間）	—
	音飛びする。	CDにキズがある。	CDを交換してください。	—
ラジオ	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	アンテナが調整されていない。	アンテナを調整し直すか本機の設置場所を変えてください。	12
ワンセグテレビ	放送が受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナの接続を確認してください。	11
		電波状況が悪い。	付属のロッドアンテナを使用している場合は、本機の設置場所を変えてください。それでも受信できない場合は、外部アンテナを接続してください。	11
		ワンセグが放送されていない。	地域によってはワンセグが放送されていないことがあります。この場合は、ワンセグを受信することはできません。	51
	映像が画面の中に入りきらない。	「表示方法」が「ズーム」に設定されている。	表示 をくり返し押すか、[メニュー]を押して「表示方法」を「ノーマル」に設定してください。	57
	チャンネルが見つからない。	チャンネルリストにプリセットされていない。	オートプリセットを行なってください。	53
録音	音が出ない。	高速録音をしている。	高速録音のときは、音は出ません。	—

	症状	原因	対処方法	参照ページ
USB	読み込みに時間がかかる。	USB機器に本機で再生できないファイルが多数入っている。	本機で再生できないファイルを削除してください。	39
	内容が正しく表示されない。	本機がUSB機器を正しく記憶していない。	[設定]を押して「データベースを最新に更新」を選んで 決定 を押してください。	39
	本機がスタンバイ状態の時、USB機器が充電されない。	「スタンバイモード」の設定が「通常」になっている。	「スタンバイモード」の設定を「高速起動」にしてください。	105
写真	写真が画面に入りきらない。	「表示方法」が「ズーム」に設定されている。	表示 をくり返し押すか、[メニュー]を押して「表示方法」を「ノーマル」に設定してください。	60
	写真の向きが正しく表示されない。	—	[▲][▼]を2秒押しつづけるか、[メニュー]を押して「回転」を「左90度」または「右90度」に設定してください。	60
iPod	本機がスタンバイ状態のとき、iPodが充電されない。	「スタンバイモード」の設定が「通常」になっている。	「スタンバイモード」の設定を「高速起動」にしてください。	105
	動作が不安定である。	—	iPodをはずしてリセットを行なったあと、接続し直してください。	25
タイマー	再生/録音タイマーがスタートしない。	電源が入っている。	電源を切ってください。	16
		現在時刻と年月日が合っていない。	時計を設定し直してください。	19
		タイマーが設定されていない(スタンバイランプが赤く点灯している)。	タイマーを設定し直してください。	95, 97
リモコン	リモコンで操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	新しい乾電池(単4形)に2本とも交換してください。	13
		リモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たっている。	強い光の当たらない場所で操作してください。	—
BLUETOOTH	音が途切れる。 雑音が多い。	BLUETOOTH通信可能距離を超えている。 間に障害物がある。 他機器の影響を受けている。	接続機器を本機に近づけたり、障害物を避けたりしてください。	—

▶ 上記の対処を行なっても正しく動作しないときは

- 本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、本体の[STANDBY ⏻/I]ボタンを約10秒押しつづけて電源を切り、電源プラグを抜いてください。そのあと、1分ほど待ってから電源プラグを差し込み、電源を入れ直してください。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

■メッセージが表示されたときは

▶ 共通

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
チャイルドロックされています	CDの取り出しができないように設定されている	チャイルドロックを解除してください。	106
データベースを再構築しました	データベースが壊れていたので、再構築を行なった	再生順が変更されています。	—
システム領域異常。フォーマットします	ファイルシステムが壊れている	強制フォーマットになりますので、データがすべて消去されます。	—
データ領域異常。フォーマットします			
メモリ領域異常。フォーマットします			
タイマー開始5分前です。タイマー処理を開始する場合は電源をオフして下さい	タイマーの動作時刻が近づいている	タイマーは電源オフのときのみ動作します。電源を切ってください。	16
再生タイマー準備中	タイマー動作の準備中	–	—
録音タイマー準備中			

▶ タイマー

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
タイマーが重複しています	他のタイマーと設定時間が重複している	他のタイマーとの間隔を４分以上あけてください。	95, 97
他のタイマーとの間隔を4分以上あけてください	他のタイマーとの間隔が４分未満に設定されている	他のタイマーとの間隔を４分以上あけてください。	95, 97
空き容量が足りません	録音タイマーの録音先の容量が足りない	録音先のUSB機器の不要な内容を削除してください。	90~93
タイマー設定を上書きします。よろしいですか？	番組表から再生タイマーを設定するときに、設定済みのタイマー番号を選択した	設定済みのタイマーを削除したくない場合は、別の空いているタイマー番号を選択してください。	95, 97

▶ iPod

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
iPodの認証に失敗しました	iPodが正しく接続されていない	iPodをはずしてリセットを行なったあと、接続し直してください。	25

▶ CD

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
再生できないディスクです	再生できないディスクを読み込んだ、またはトラック数が0のディスクを入れた	ディスクを取り替えてください。	—
再生できません	本機で再生できないファイルである、またはファイルが壊れている	このファイルは再生できません。自動で次のファイルへスキップします。	—
このディスクは利用できません	グループがないディスクでグループを選択しようとした	曲を選択してください。	**23**

▶ USB機器／写真

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
MTPモードでは設定できません	USBモードがMTPのとき、A-Bリピートを設定しようとした	A-Bリピートを使うには、MSCで接続してください。	**29**
このUSB機器は認識できません **このUSB機器は本機では再生できません**	認識できないUSB機器を接続した	このUSB機器は使用できません。	—
データ数が制限を越えました	フォルダとファイルの合計数が制限をこえた	不要なファイル、フォルダを削除してください。	**90~93**
ファイル数が制限を越えました	ファイル数が制限を越えた	不要なファイルを削除してください。	**90~93**
プロテクトされています	USB機器にプロテクトがかかっている	USB機器のプロテクトを解除してください。	—
空き容量が足りません	内蔵メモリーまたはUSB機器の容量がいっぱいになった	不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。	**90~93**
再生できません	本機で再生できないファイルである、またはファイルが壊れている	このファイルは再生できません。自動で次のファイルへスキップします。	—
最大登録数を超えました	プレイリストの最大登録数（トラック数による）を越えた	プレイリストの曲を削除してください。	**86**
著作権保護されたトラックは再生できません	著作権保護された音楽ファイルをMSC接続中に再生しようとした	MTPで接続してください。	**29**
同名が存在します	すでにある名前に変更しようとしている	まだ使用していない名前に変更してください。	**87**
変更できません **コピーできません**	ファイルシステムに異常がある可能性があります	電源を入れ直し、再度実行してください。再度メッセージが表示される場合は、フォーマットしてください。	**108**

▶ ワンセグテレビ

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
受信できません	現在選択されているチャンネルが受信できない	• アンテナが正しく接続されているか確認してください。 • 本機の設置場所を変えてみてください。	11
受信可能なチャンネルはありませんでした。	ワンセグテレビを受信できない		
プリセットチャンネルを削除しました タイマー予約をしている場合は予約内容を確認してください	プリセットチャンネルが削除された	削除したチャンネルをタイマー設定していた場合、そのタイマーは動作しません。必要な場合は、再度タイマーを設定してください。	97
プリセットされているチャンネルと異なるチャンネルを受信しています。 オートプリセットを開始しますか？	プリセットされていないチャンネルが受信できる	オートプリセットをしてください。	53

▶ 録音

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
SCMSエラー アナログで録音してください	著作権保護されたCD-R/CD-RWをデジタル録音しようとした	アナログで録音してください。	70
データ数が制限を越えました	フォルダとファイルの合計数が制限をこえた	• 録音先のUSB機器の不要なファイル、フォルダを削除してください。 • 録音する曲数を減らしてください。	70, 90~92
トラック数が制限を越えました	ファイル数が制限を越えた	• 録音先のUSB機器の不要なファイルを削除してください。 • 録音する曲数を減らしてください。	70, 90~92
空き容量が足りません	録音先の容量が足りない	録音先のUSB機器の不要なファイルを削除してください。	90~93
録音できません	ファイルシステムに異常がある可能性があります	電源を入れ直し、再度実行してください。再度メッセージが表示される場合は、フォーマットしてください。	108

▶ BLUETOOTH

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
既に接続しています	受信中に「接続」が選択された	ー	—
登録された機器がありません	登録機器がない（ペアリングしていない）状態で「接続」または「登録機器リスト」が選択された	機器を登録（ペアリング）してください。	47
受信中の機器がありません	受信中でないときに「切断」が選択された	ー	—
切断されました	接続機器側で接続が解除された	ー	—
接続できませんでした	登録機器がない、または接続機器側で本機が登録されていない状態で接続しようとした	機器を登録（ペアリング）してください。	47
	接続機器のBLUETOOTH機能が無効になっているときに接続しようとした	接続機器のBLUETOOTHの設定を「ON」にしてください。	—

■搭載ソフトウェアに関する情報

McObject エンドユーザー使用許諾書

本機NX-TC40-B/NX-TC40-Wには、McObject社のデータベースソフト(以下本ソフトといいます)が搭載されています。本ソフトの使用条件等は以下のとおりです。

1. 著作権
本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、McObject LLC("McObject")またはそのライセンサーに帰属するものです。日本ビクター(以下弊社)はMcObjectとのライセンス契約に基づき本ソフトを配布する正当な権限を有しています。本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2. 権利の許諾
お客様は、本契約の条項に従って、本機上でのみ本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

3. 制限事項
お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法で認められる場合はこの限りではありません。
お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合または適法で認められる場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

4. 非保証
本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、本ソフトの満足度、性能、正確性または成果(無過失を含みます)等、本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。また本ソフトによりお客様がお楽しみになっていることを妨げられたり、または侵害された場合も、一切の保証はありません。

5. 責任の制限
McObject、弊社および本ソフトの作成·提供に係ったいかなる者も、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する間接、特別または付随的損害(逸失利益を含みます)(損害発生につきMcObject、弊社らが予見し、または予見し得た場合を含みます)について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社、McObjectおよびそれらの役員、従業員ならびに代理人を免責し、保証するものとします。

6. 契約期間
本契約は、お客様によって本機上の本ソフトが使用開始された日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。
お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、万一、本契約が終了したときには、お客様は本ソフトの使用を中止しなければならず、さらには本機に組み込まれた本ソフトをお持ちになることはできません。

7. 輸出管理
お客様は、本ソフトに適用される輸出管理についてのあらゆる法令規則を遵守することに同意するものとします。

8. その他
(1) 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
(2) 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
(3) 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

本機には以下のソフトウェアが使用されています。
- Free Type ライブラリ

■保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書
所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書

持込修理

品名	オーディオ商品		製造番号	
型名	NX-TC40 -B/-W			
お客様	お名前	ふりがな 様		
	ご住所	□□□-□□□□　電話（　　）　-		
お買い上げ年月日 年　月　日		保証期間	お買い上げ日から 本体　1年間	
お買い上げ店	住所・店名・電話			

お客様へのお願い
1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1.保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2.保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。
3.次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
(1) 本書のご提示がない場合。
(2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
(3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
(5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
(6) 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
(7) 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輌、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
(8) 消耗品(電池など)の消耗。
(9) (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
(10) (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
(11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウエア、ファームウエアが原因となって損傷が発生した場合。
4.この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター(株)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または**124**ページのビクターサービス窓口にお問い合わせください。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

■ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.T. 旭川S.T. 北見S.T. 釧路S.T. 函館S.T.	お問い合わせは札幌S.C.にて承ります。	
東北			
青森	青森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
	八戸S.T.	お問合せは青森S.S.にて承ります。	
岩手	水沢S.T.	お問合せは仙台S.C.にて承ります。	
秋田	秋田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F
	大館S.T. 横手S.T.	お問合せは秋田S.S.にて承ります。	
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.T. 酒田S.T.	お問合せは仙台S.C.にて承ります。	
福島	郡山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	長野S.S.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
	松本S.T.	お問合せは長野S.S.にて承ります。	
群馬	前橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター(株)前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼玉	大宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉	千葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	木更津S.T.	お問合せは千葉S.C.にて承ります。	
茨城	水戸S.T.	お問合せは柏S.C.にて承ります。	
神奈川	横浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル1F
	平塚S.T.	お問合せは横浜S.C.にて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
お客様サポートセンター		(045)939-7320	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル2F
山梨	甲府S.T.	お問合せは八王子S.C.にて承ります。	
東京	東東京S.C.	(03)6381-8400	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F
	大田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2967-3 (株)ケンウッド八王子事業所A棟1階
東海・北陸			
岐阜	岐阜S.T.	お問合せは名古屋S.C.および金沢S.S.にて承ります。	
静岡	静岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
	沼津S.T. 浜松S.T.	お問合せは静岡S.S.にて承ります。	

都府県名	窓口名	TEL	所在地
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23宝ビル101号室
	豊橋S.T.	お問合せは名古屋S.C.にて承ります。	
三重	三重S.T.	お問合せは名古屋S.C.にて承ります。	
石川	金沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
富山 福井	富山S.T. 福井S.T.	お問合せは金沢S.S.にて承ります。	
近畿			
京都 滋賀	京都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪	大阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
	堺S.T.	お問合せは大阪SCにて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
近畿エンジニアリングセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
和歌山	和歌山S.T. 田辺S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
奈良	奈良S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
兵庫	神戸S.T. 姫路S.T. 福知山S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
中国・四国			
岡山	岡山S.S.	(086)243-1566	岡山市北区野田五丁目17-19
広島	広島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
	福山S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
山口 島根 鳥取	松江S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
香川 高知	高松S.S.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
愛媛	松山S.T. 宇和島S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
徳島	徳島S.T.	お問合せは高松S.S.にて承ります。	
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
	久留米S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
長崎 大分	長崎S.T. 大分S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
熊本	熊本S.S.	(096)383-7750	熊本市水前寺六丁目46-21 星光交易ビル1F
宮崎	宮崎S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)268-0030	鹿児島市小松原1-5-17
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目11-12 コモンズビル1F

(0411)

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※略号について　S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーション、S.T.はサテライト（出張修理拠点）の略称です。

●出張修理のご依頼およびビクター製品についてのご相談窓口

出張修理のご依頼、お買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

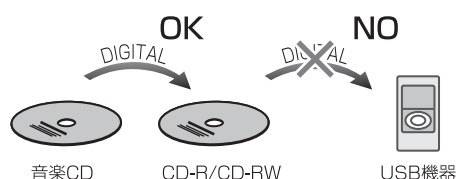
JVCケンウッド カスタマーサポートセンター	(0120)2727-87（フリーダイヤル）	携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は下記の番号へおかけ願います。		
		(045)450-8950	〒221-8528	横浜市神奈川区守屋町3丁目12

（注）発信者番号通知が非通知でフリーダイヤルへおかけの場合は、はじめに『186』を付けて、『186-0120-2727-87』とダイヤルしてください。

■制約について

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル　コピー　マネージメント　システム

CDのクリアな音を他のデジタル機器(USB機器など)にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメントシステム)といいます。シリアル･コピー･マネージメント･システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

たとえば、この規定により一度デジタル録音されたCDからは、USB機器へデジタル録音することはできません。

CD-R/CD-RWはアナログ信号に変換後、録音されます。

お知らせ

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先

社団法人　私的録音補償金管理協会

☎03-3261-3444(代)

■商標と著作権について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- “Made for iPod”、“Made for iPhone”とは、それぞれiPod、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリーをiPod、iPhoneで使用すると、無線性能に影響することがありますので、ご注意ください。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、日本ビクター株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

■主な仕様 本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります

▶ CDレシーバー （CA-NXTC40-B/CA-NXTC40-W）

アンプ部	
音声実用最大出力（JEITA）	15 W + 15 W
入力端子〈アナログ〉	AUDIO IN x 1 500 mV/47 kΩ：LEVEL1 250 mV/47 kΩ：LEVEL2 125 mV/47 kΩ：LEVEL3
出力端子〈アナログ〉	スピーカー x1系統、15 W/4 Ω 適合インピーダンス4 Ω～16 Ω PHONES（φ3.5 mmステレオミニ x 1）、5 mW/32 Ω 適合インピーダンス 16 Ω～1 kΩ

ワンセグチューナー部	
受信チャンネル	ワンセグUHF13ch～62ch
受信アンテナ入力	75Ω不平衡型

チューナー部	
受信周波数	FM：76.0 MHz～90.0 MHz （0.1 MHzステップ） AM：531 kHz～1,629 kHz （9 kHzステップ）
アンテナ	FM：　75Ω不平衡型 AM：　ループアンテナ

CDプレーヤー部	
形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル･ステレオ

USB部	
USB端子	USB Ver.2.0フルスピード
接続モード	MTP/MSC
ファイルシステム	FAT16/FAT32 （NTFSには対応していません）
音声圧縮録音方式	MP3、WMA
USB出力電源	DC 5 V⎓ 500 mA

タイマー部	
タイマー形式	8プログラム動作 （1回のみ/毎日/毎週切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150、180分 （オートディマー機能）
時刻表示	12/24時間表示

本体メモリー（PHOTO）部	
形式	フラッシュメモリー
容量	128MB
映像圧縮記録方式	JPEG

iPod 部	
iPod 出力電源	DC 5 V ⎓ 1 A
接続方式	デジタル

BLUETOOTH 部	
規格	BLUETOOTH Ver. 2.1 + EDR
対応BLUETOOTHプロファイル	A2DP*1（受信：SCMS-T対応） AVRCP
対応オーディオコーデック	SBC
使用周波数帯域	2.4 GHz帯
変調方式	FH-SS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
送信出力	Class 2（2.5 mW）
最大通信距離	見通し距離約10 m （使用環境によって異なります）

共通部	
ディスプレイ	4.3型ワイド液晶ディスプレイ(480 x 272画素)
電源電圧	AC100 V(50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	電源「入」時　35 W 電源「待機」時　18 W (スタンバイモード:高速起動USB、iPod給電機能オン) 電源「待機」時　0.50 W以下 (スタンバイモード:通常USB、iPod給電機能オフ)
最大外形寸法	幅275 mm x 高さ143 mm x 奥行き234 mm
質量	約2.3 kg

▶ スピーカー(1本あたり)

(SP-NXTC40-B/SP-NXTC40-W)

形式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用: 11 cmコーンスピーカー x 1 高音用: 4 cmコーンスピーカー x 1
最大入力	15 W(JIS)
定格インピーダンス	4 Ω
再生周波数帯域	60 Hz~20 kHz
出力音圧レベル	84 dB/W•m
最大外形寸法	幅143 mm x 高さ225 mm x 奥行き209 mm
質量	約1.5 kg

▶ コンパクトコンポーネントシステム

(NX-TC40-B/NX-TC40-W)

総合	
最大外形寸法	幅561 mm x 高さ225 mm x 奥行き234 mm
質量	約5.3 kg

再生対応フォーマット[*1]		
CD		
MP3:		8 kbps~320 kbps、8 kHz~48 kHz、VBR[*2]
WMA:		32 kbps~320 kbps、32 kHz~48 kHz、VBR[*2]
USB		
MP3:		8 kbps~320 kbps、8 kHz~48 kHz、VBR[*2]
WMA:		8 kbps~320 kbps、8 kHz~48 kHz、VBR[*2]
WAV:		16 bit、リニアPCM 8 kHz~48 kHz
WMV:	映像	プロファイル:WMV9 シンプル・メインプロファイル 画像サイズ:QVGA(320 x 240ピクセル)以下*[3] フレームレート:最大30fps ビットレート:最大512kbps
	音声	プロファイル:WMA9 ビットレート:最大128kbps
JPEG		ベースライン 解像度:最大16メガピクセル

[*1] サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。

[*2] VBR:Variable Bit Rate(可変ビットレート)の略。

[*3] 表示画面サイズWQVGA(480 x 272ピクセル)のWMVを使用する場合には、フレームレートを20fps以下に落としてください。

■索引

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

修理に持ち込まれた商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いいたしますが、事前にバックアップを取っておかれることをお勧めします。修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってフラッシュメモリの初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに ✓ マークをお願いします。　□同意する　□同意しない

日付：　年　月　日

ご署名：

修理や点検を依頼されるときは、この同意書にご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **JVCケンウッドカスタマーサポートセンター**
124ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル **0120－2727－87** 携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は **電話（045）450－8950** **FAX（045）450－2308** 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、123ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0711DUMMDWJMM

NX-TC40　コンパクトコンポーネントシステム　取扱説明書／保証書